With me?

ここではないどこかへ

艶々 Tsuyatsuya

You look lonely.
Are you happy?
You may find your happiness here.

…Are you going with me?

YOUNG KING COMICS

YOUNG KING COMICS

You look lonely.
Are you happy?
You may find your
happiness here.
…Are you going
with me?

with me?

ここではないどこかへ

艶々

Tsuyatsuya

C O N T E N T S

第一泊
北海道原野
3

第二泊
東北夜行列車
27

第三泊
淡水の離島
55

第四泊
富山県秘湯【前編】
79

第五泊
富山県秘湯【後編】
103

第六泊
兵庫県淡路島
133

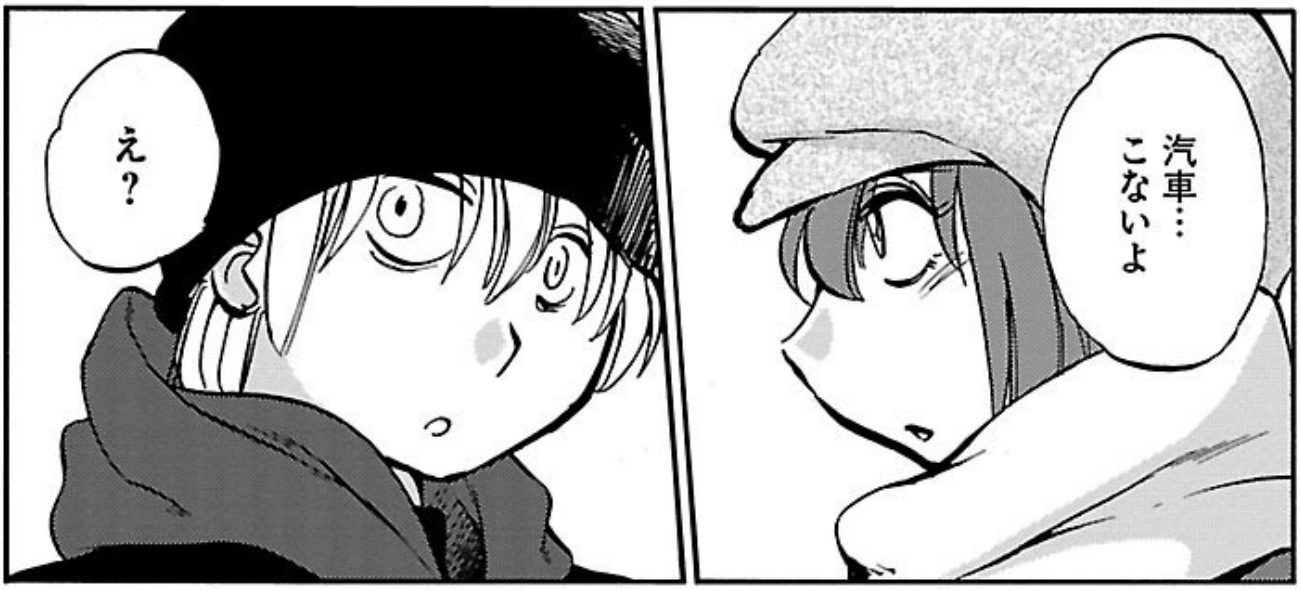
第七泊
岐阜県郡上八幡
159

第八泊
山口県関門海峡
183

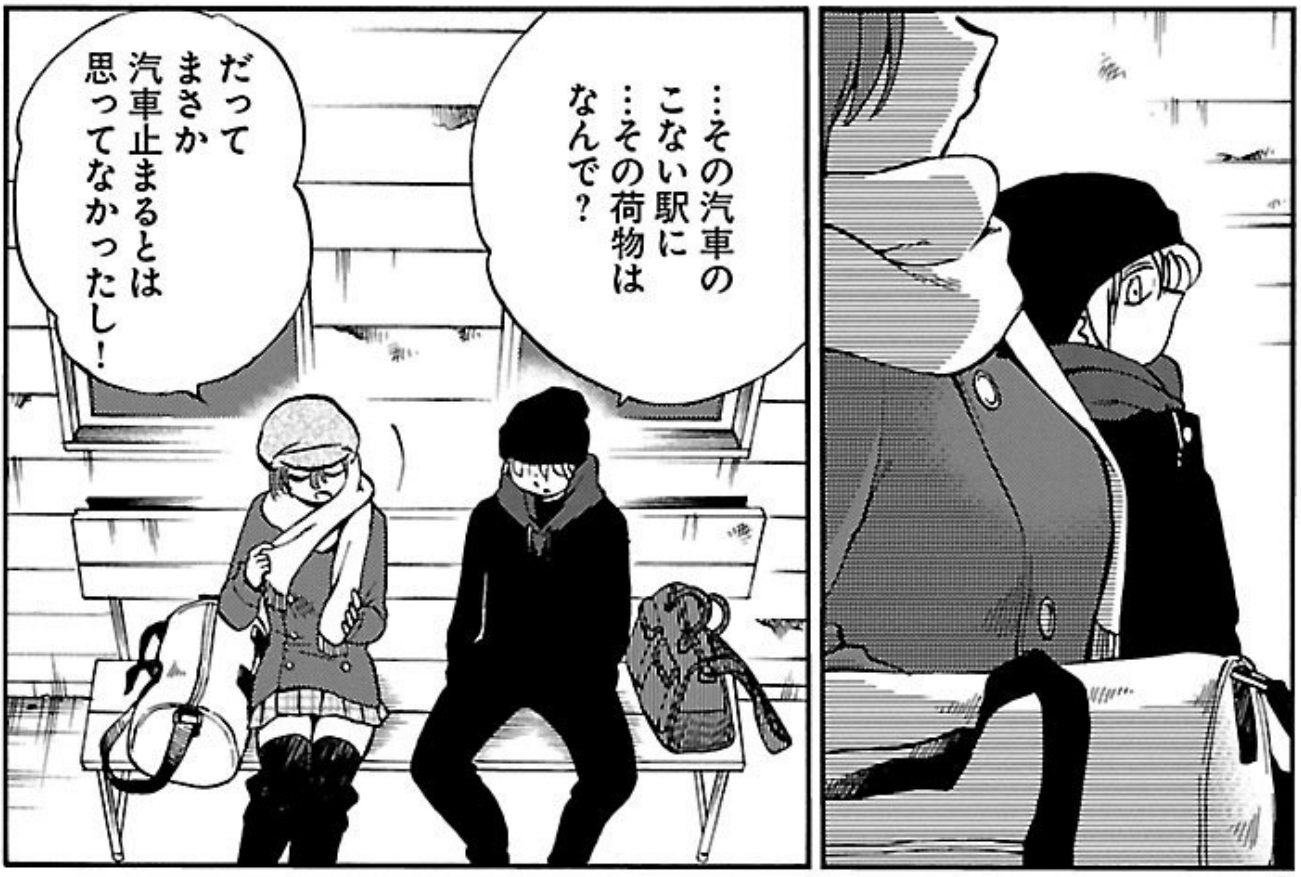
第一泊 北海道原野

ナナナ…
汽車…こないな…
もうとっくに時間なのに…

ザッ
ザッ
JR
ガラ
ガラ
！
ドスッ


汽車…こないよ
え？

二つ先の入れ替え駅でポイント故障だって
今日はそれでもう運休みたい
マジか…


…その汽車のこない駅に…その荷物はなんで？
だってまさか汽車止まるとは思ってなかったし！

でも…どのみち今日一緒に出るつもりだったから

タイミング…外したくなくて…さ

…家出るんだやっぱし

ん

あんたがうちに来たのがいいキッカケだったんだ

もともとそのつもりだったし

…きみんとこのお父さん達に申し訳ないわ…

あんなよくしてくれたのに…

ムスメの家出をそそのかしてる…

なーんもだ！

だいたい…身も知らぬ家に厄介になって

一週間も居るとか長すぎっしょ

おかげで情が移っちゃったし

……キスしかしてねえのに？

……田舎娘のうちみたいのには充分だべさ

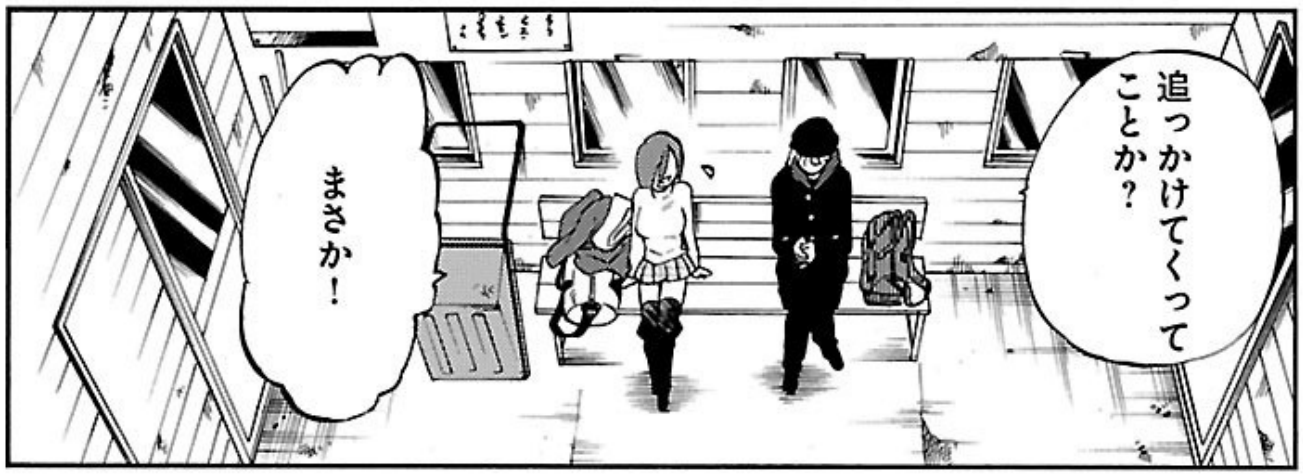
……確かに一週間は居すぎたな…

居心地よすぎて…

なんもなんも！

兄貴らも父ちゃんも喜んでたし！久しぶりに酒飲める相手できてさあ

まあ…うち あのとおり 兄妹たくさん いっからさ
6人よ 6人
一人くらい 減ったって 特に問題なんて ないしさ

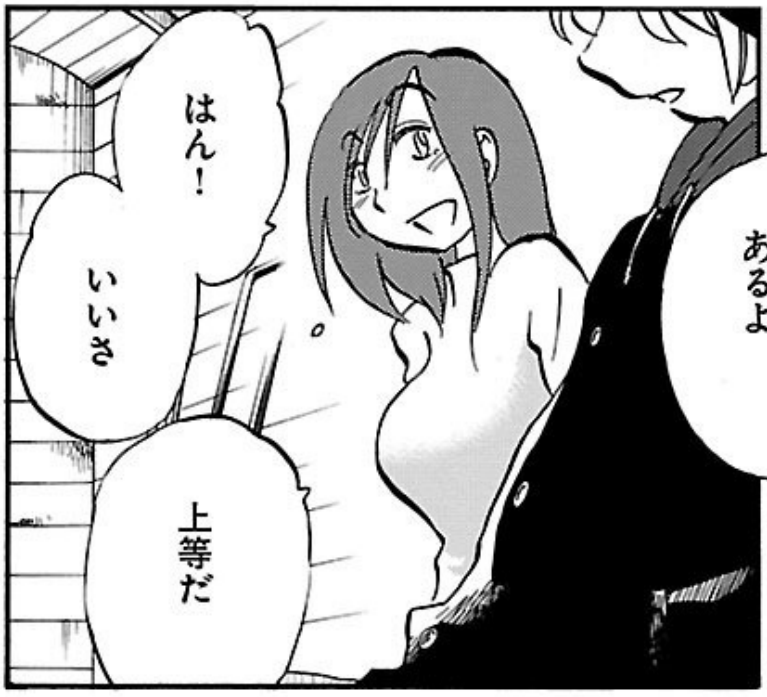

追っかけてくってことか？
まさか！

ただ…みーんな東京だ都会だって行くじゃない

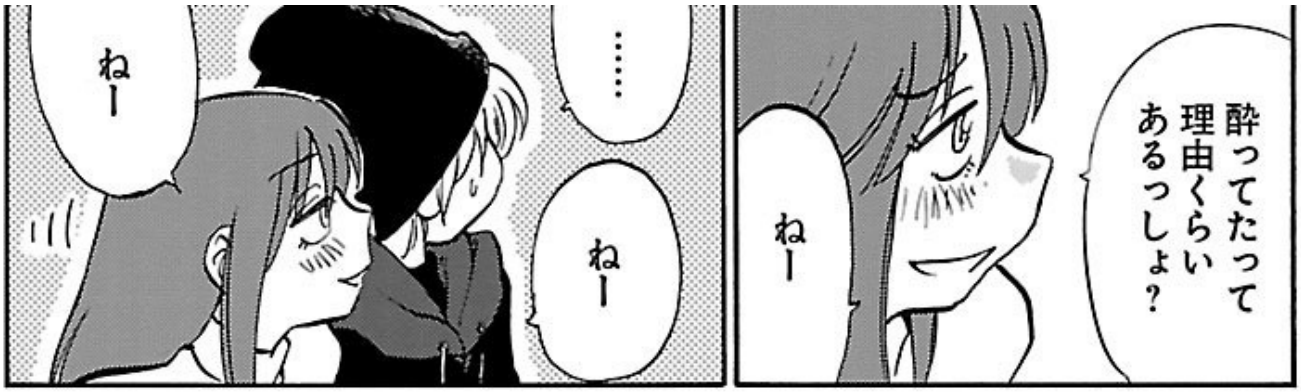
したら行ってみたくなるじゃない

どんなにか楽しいんだべ…って

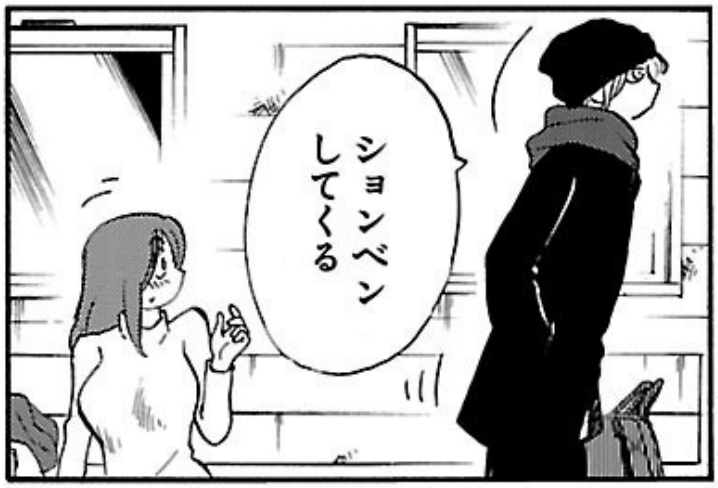
……
都会は楽しいかもしれないけど
怖いとこもあるよ

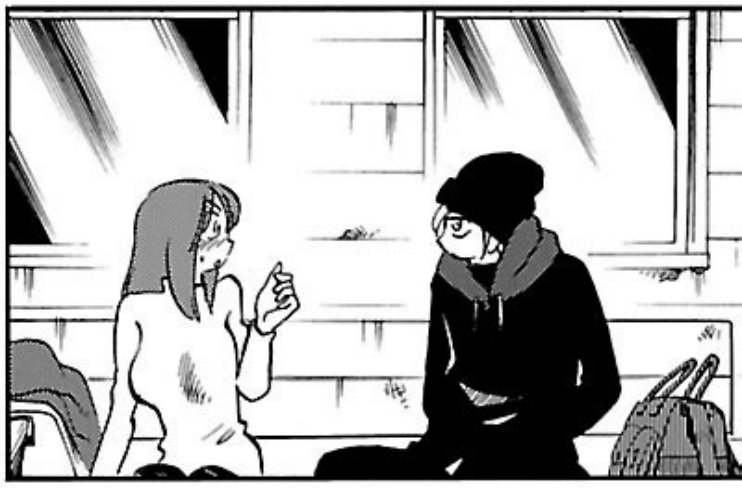

はん！
いいさ
上等だ

たぶらかされんのも一回くらい味わっとかねえと
女としてさ
誰だよさっき〝情が移った〟なんていったのオレ関係ねーじゃんか
あそれはホントだよー
またまたー
だって！キスされて気にならないわけないべ？
ないべ？
いや…だから…それは…悪かった
ローカでいきなりあんな…さー
……
ねぇなしてキスしたの？ねぇ
……
酔っぱらってたからだよ
えー

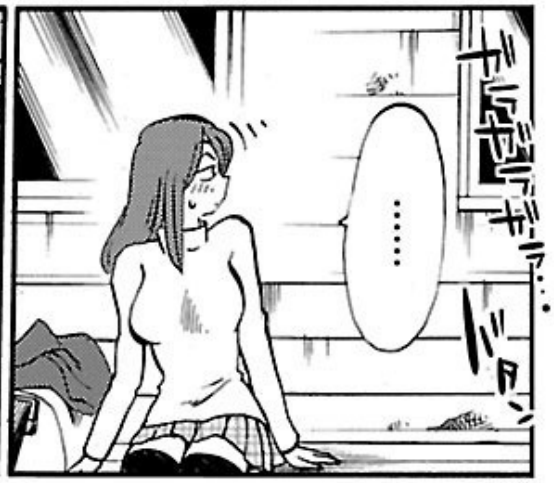

酔ってたって理由くらいあるっしょ？
ねー
……
ねー
ねー

かわいかったからだっ
くわっ


ションベンしてくる



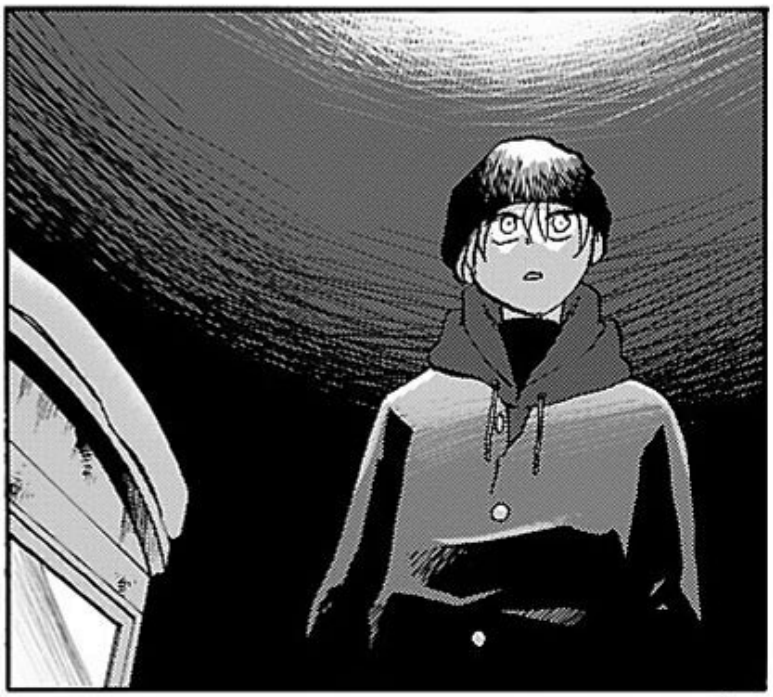
……都会のオトコつえー
あーなんかびっくり


……
ガラガラ…
ドタン

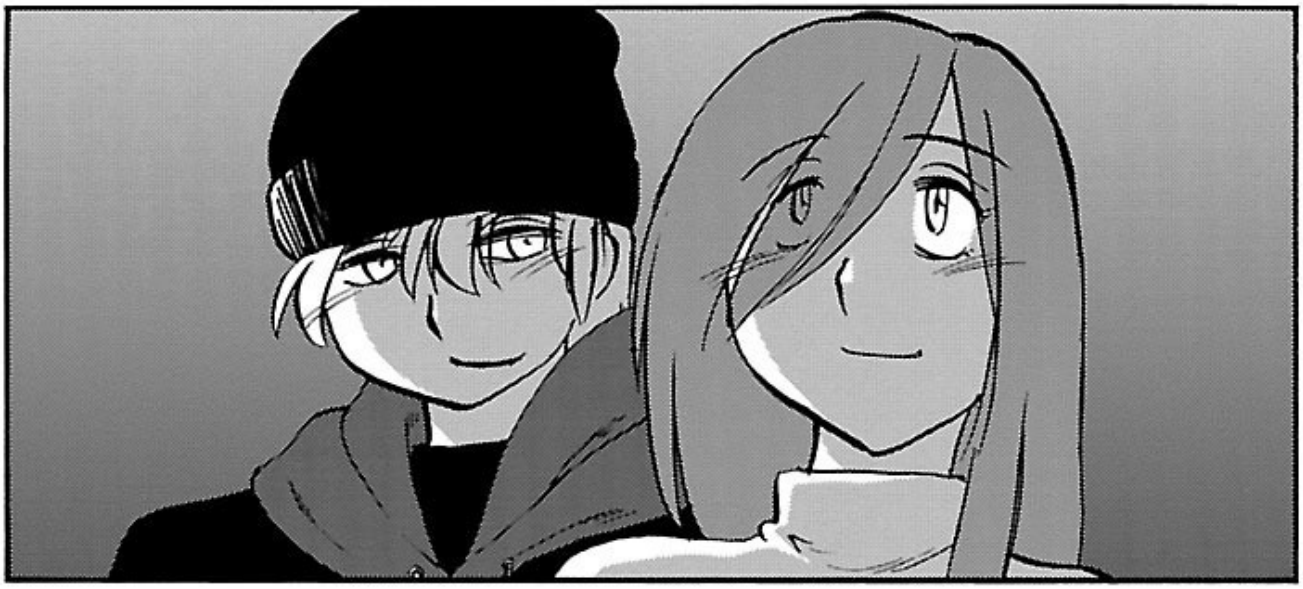
……

!

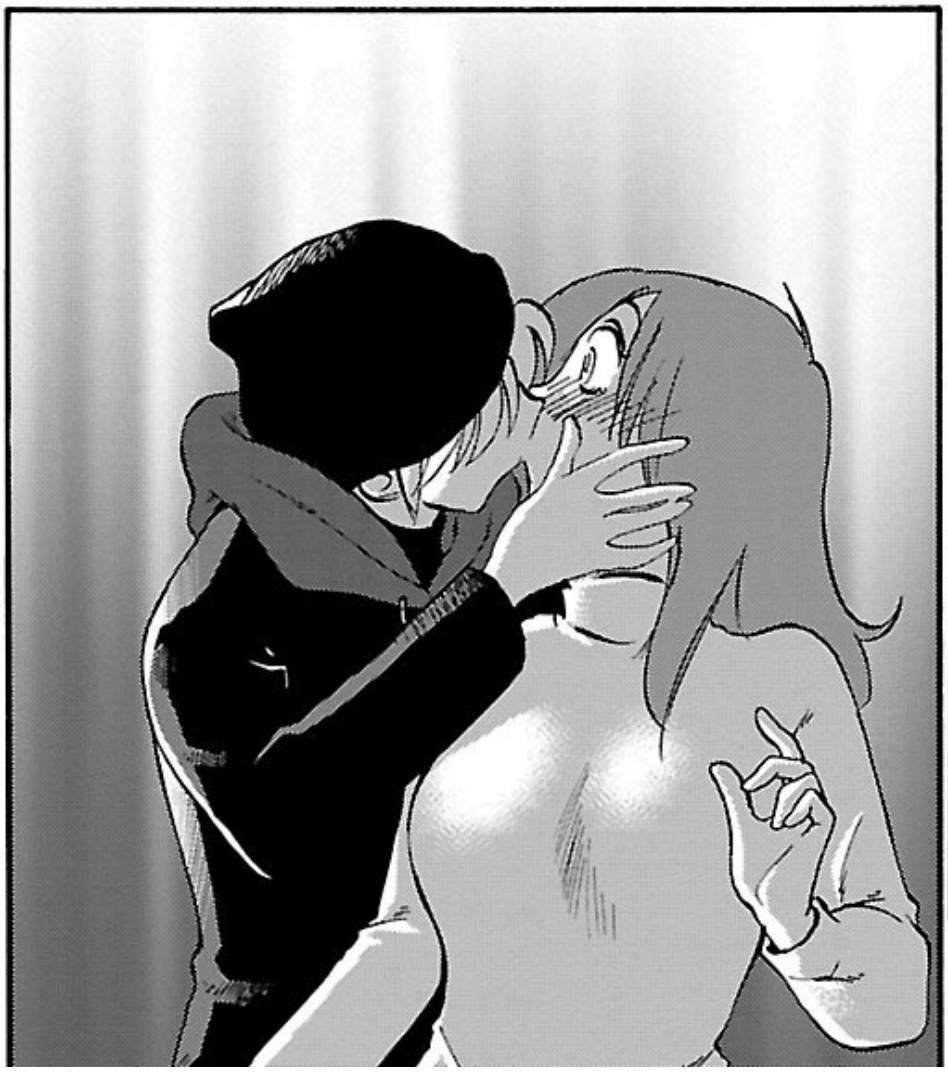
サク
サク



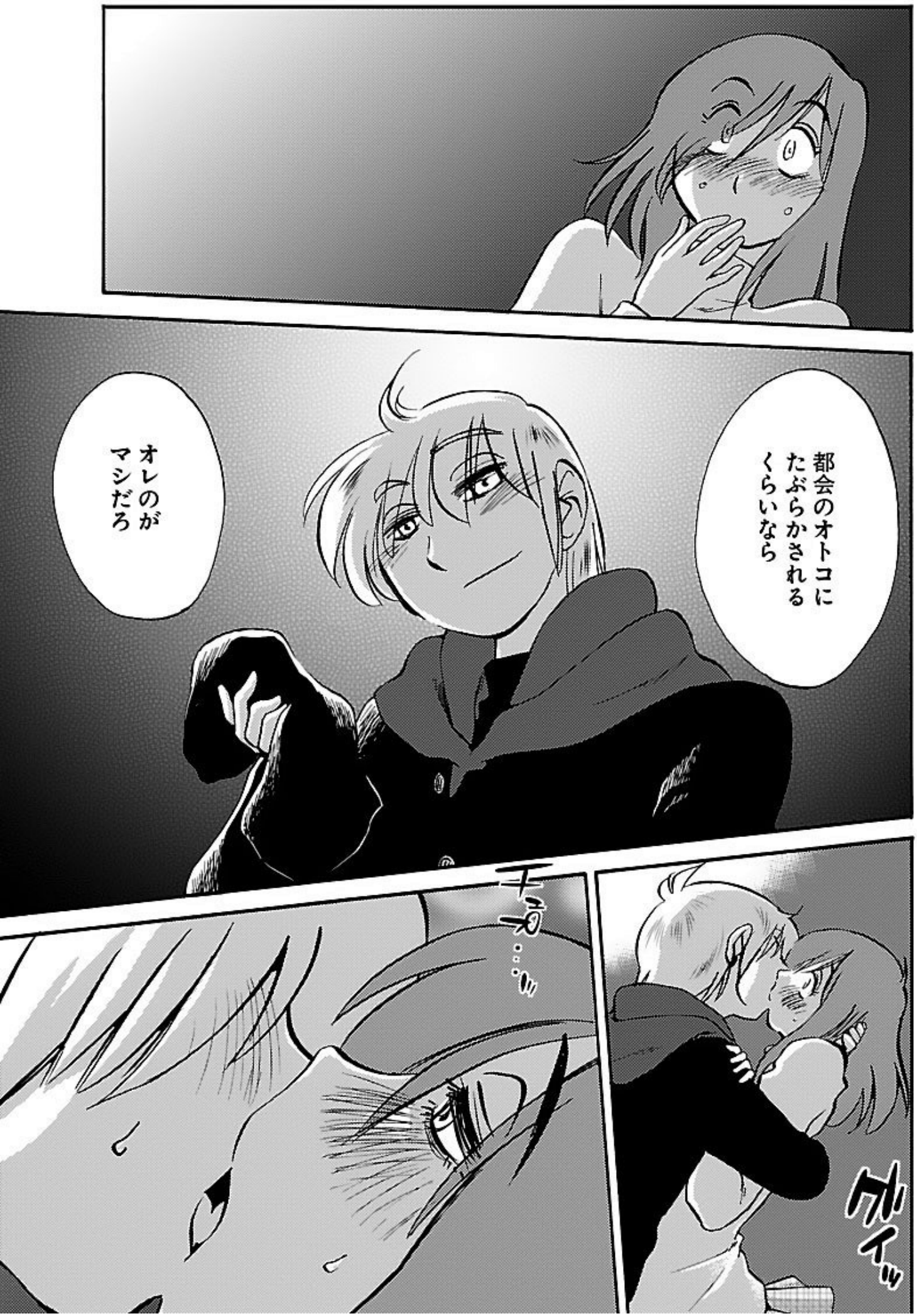
なにしてんの？
すいよー
いや
きれいだなー
うわホントだ！
雪が白く光ってる…
あーなんだろねー
お月様なまらきれいー…
こんな景色見慣れてんじゃないのか？
んーまあねー
でもやっぱいいもんはいいんだわ
なんべん見てもさ
泣きそうになるっしょ



その素直な目に
やられんだよな



え？


都会のオトコにたぶらかされるくらいなら
オレのがマシだろ
ドキ…っ
ガイッ

おまえ
自分で思ってるよりさ
かわいいんだよ？

かわいくて
たまんねーんだ
は
…チュッ
チャ
は
あ
あ
は
…そんな…こと…っ
ちっとも
いわなかった…
くせに…

ズッ
あ
あん
だから…
キスしたろ…？
ガタッ
ズッ
あ
はっ
手ェ出しちまう前に…
出て行こうと思ったんだけど…な
ズッ
ヨロッ

ああん
は…田舎のムスメが…生意気に…ッ
腰の振り方知ってやがる
ズッ
は
ズッ
へへ…だって
ギュッ

田舎のカップルは…さ…

は

行くとこやることないから…

は

チュ

エッチな事ばっかりしてたんだ…

●

なあ
どうせ
行くなら…
オレと
一緒に行くか？

……
ううん
やめとく

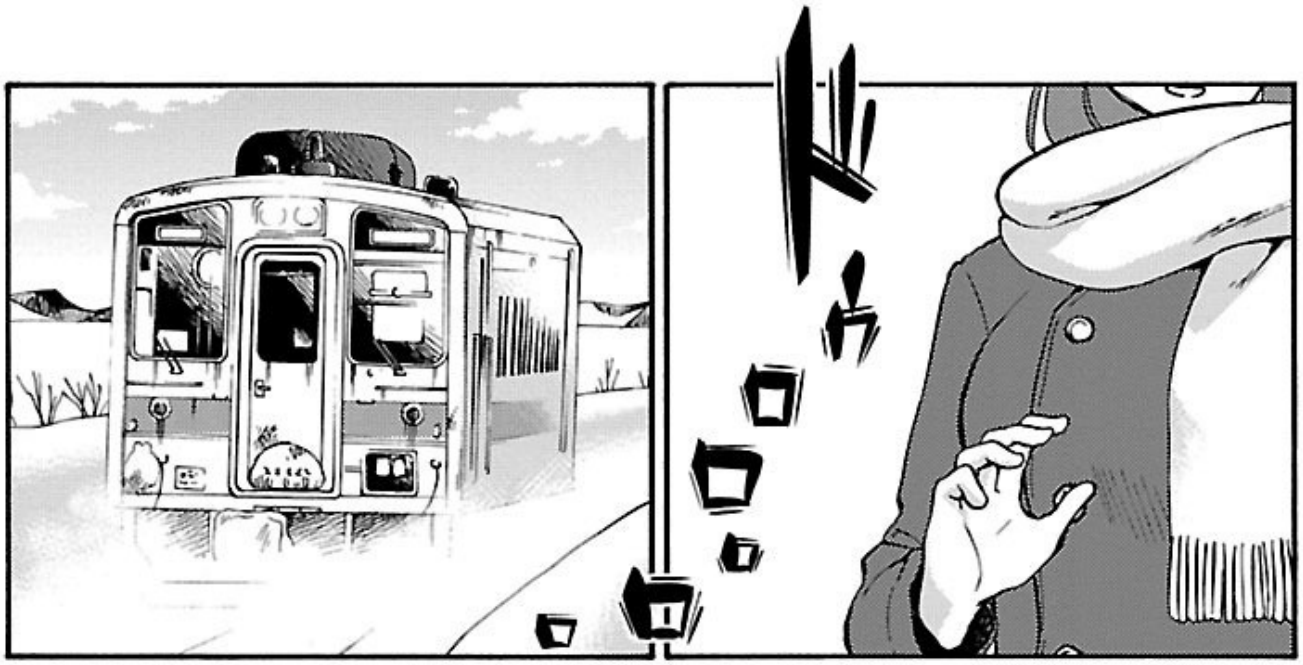
うちに
帰るよ

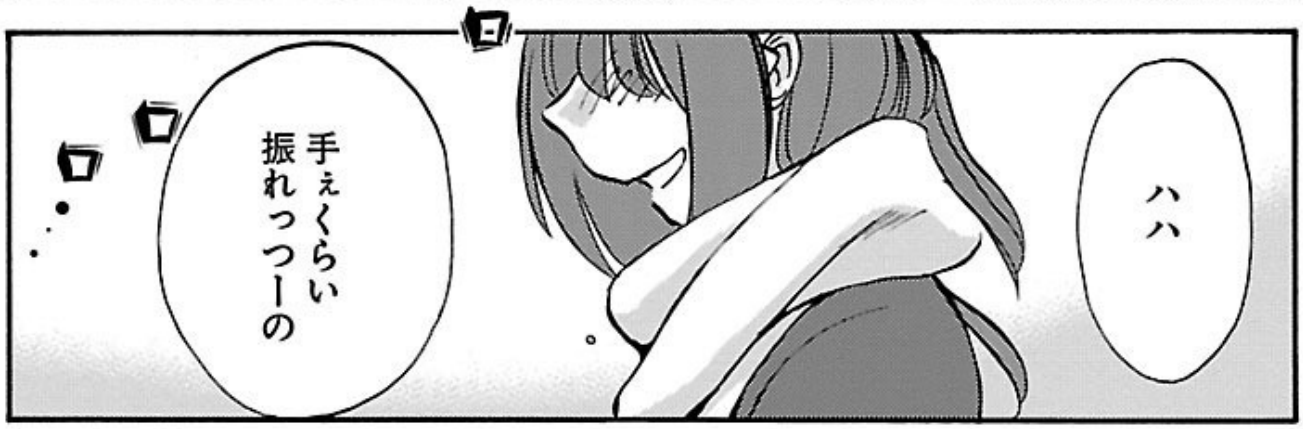
…そうか

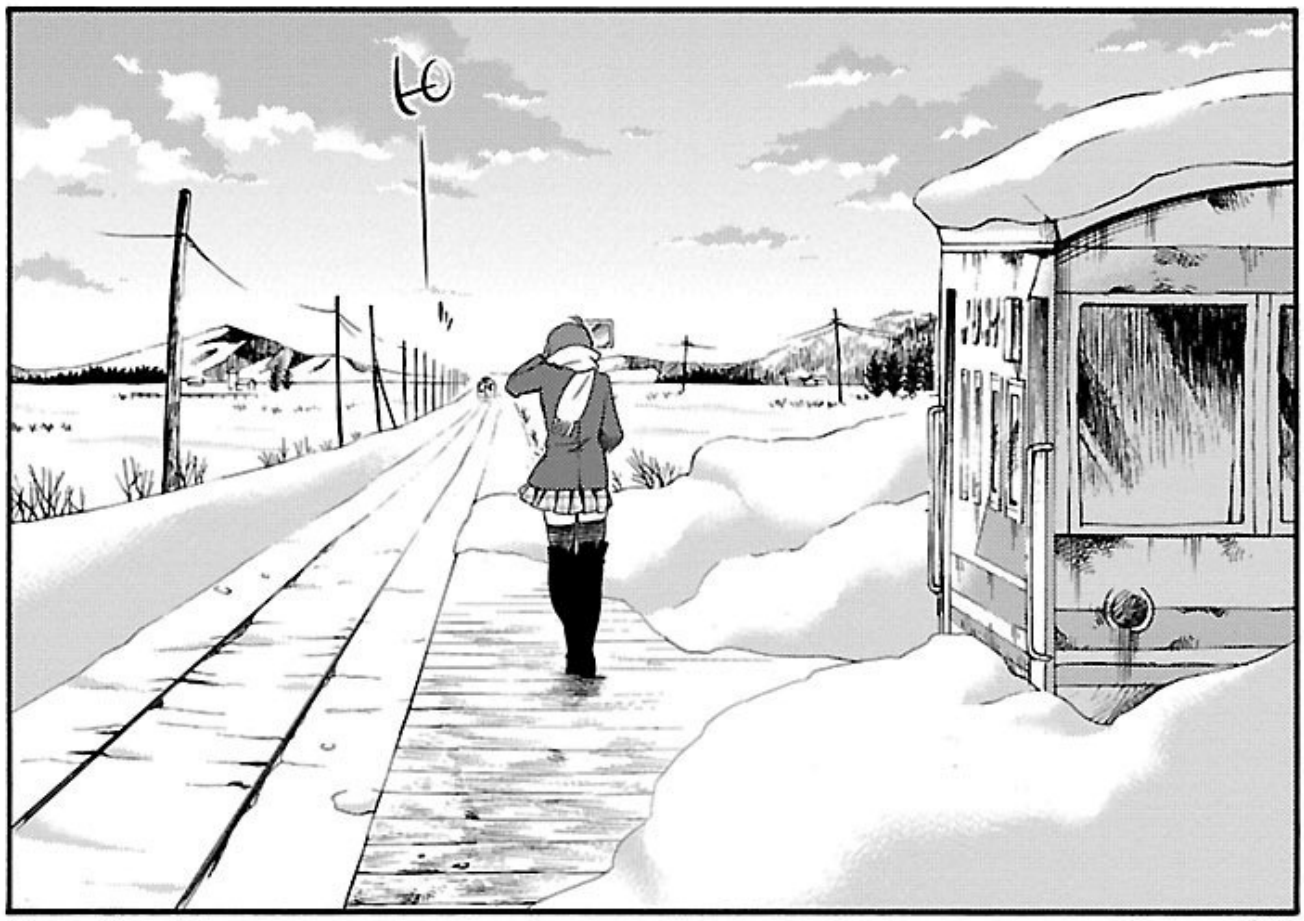
ワンマン

だってさ
あたしの事もてあそんだだけっしょ？
禁煙
NO SMOKING

……
――そうだな
やっぱし
これだから都会のオトコは
おっかないおっかない
東京帰るの？
いやもう少しぶらつくよ
そっか
したらね

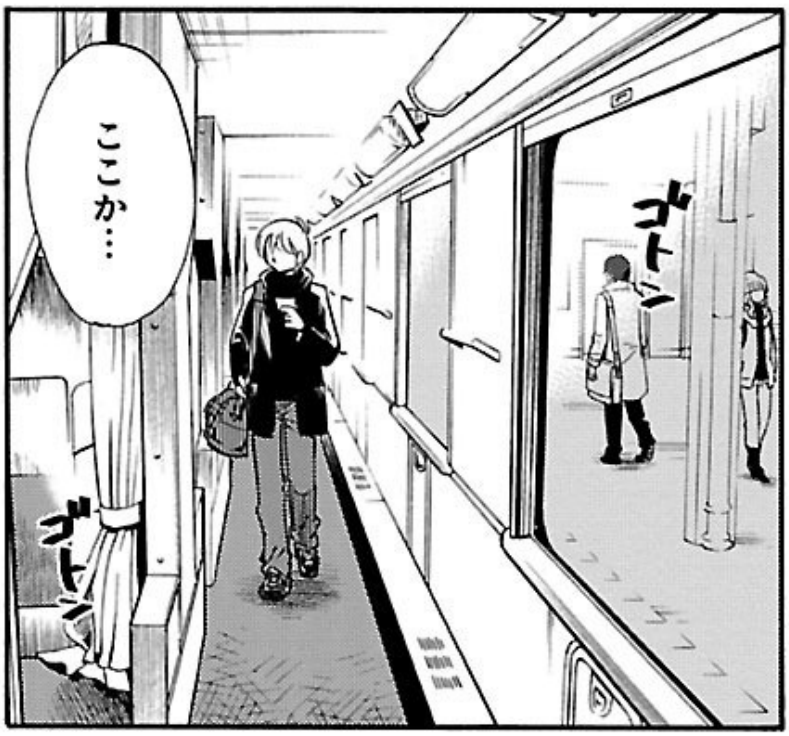




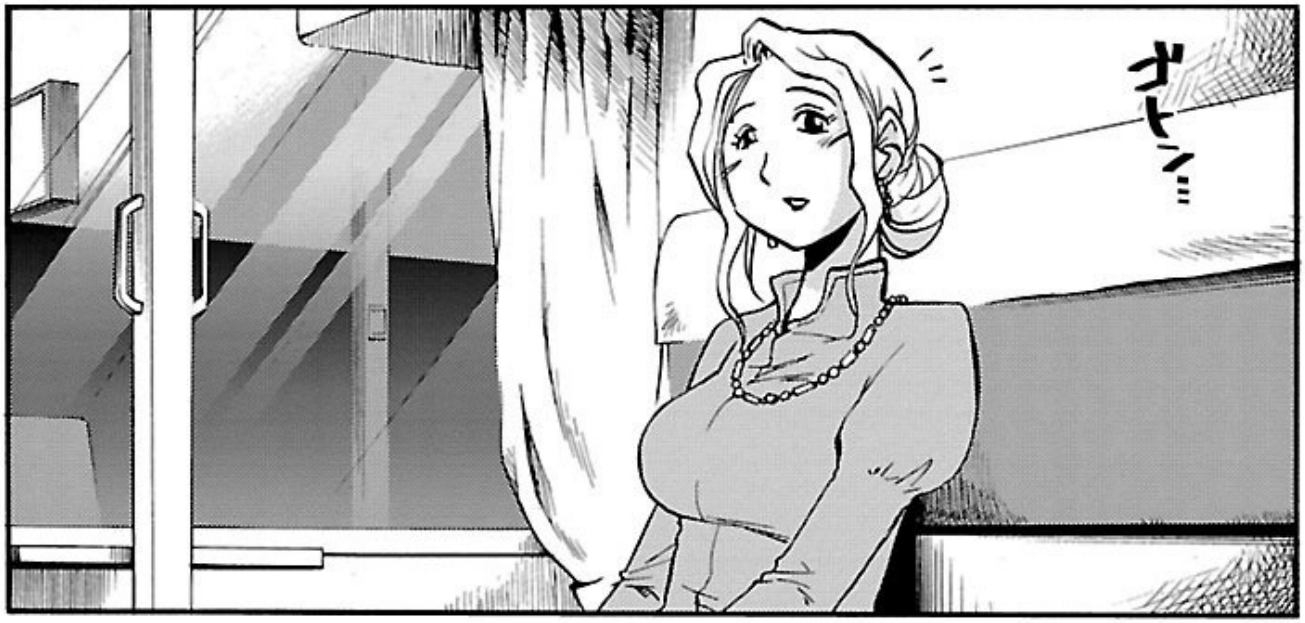


第一泊／完

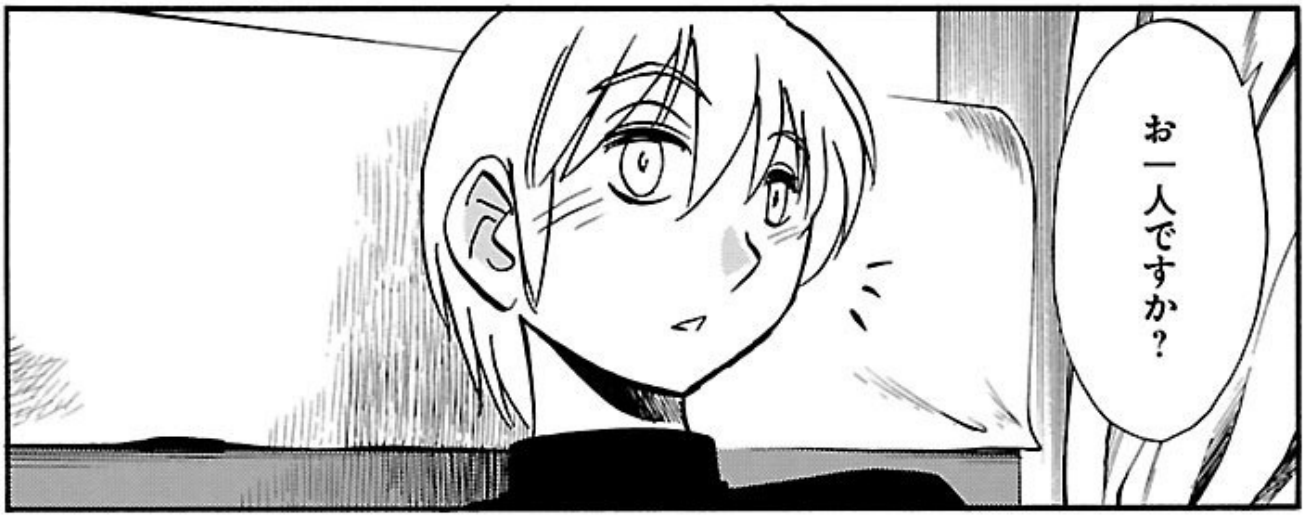
第二泊 東北夜行列車


ここか…
ゴトン
ゴトン

B寝台


ゴトン…

失礼します
タタン
タタン
タタン


お一人ですか？

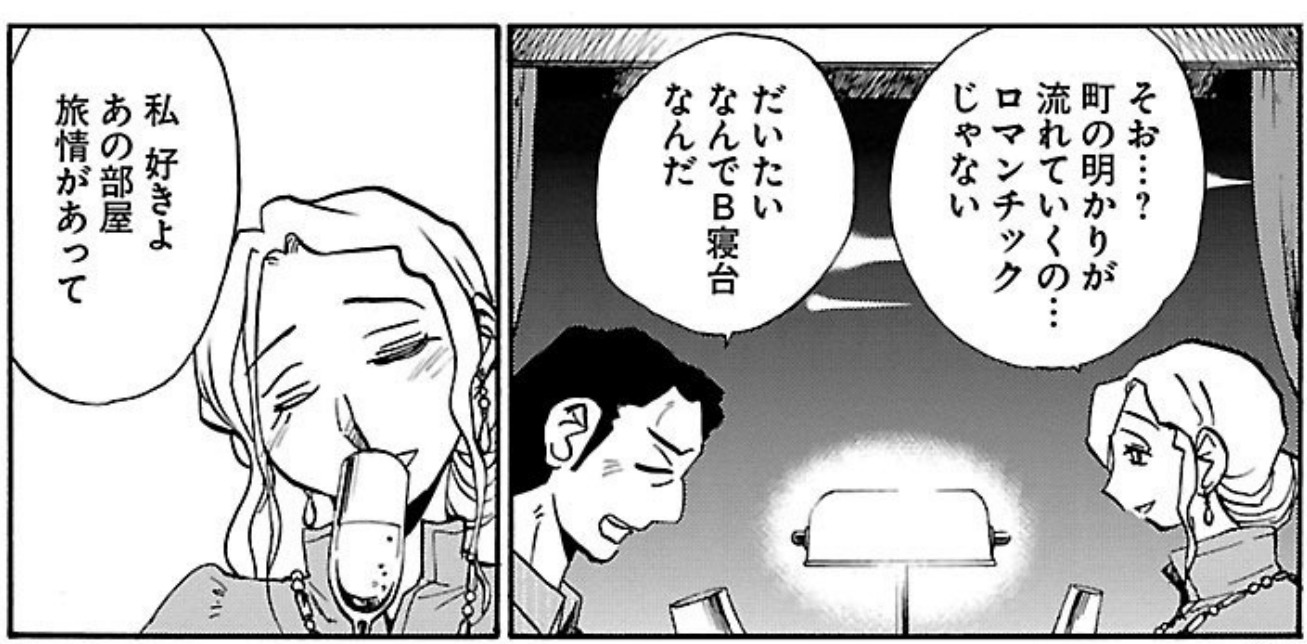
——ええ
あなたは？
主人と
二人ですの

いいですね
夫婦で御旅行
ですか
ええ
実は
初めてなんですよ
主人と二人旅なんて

ますます いいですね
初旅行に 汽車の旅なんて
ガタン
ふふ そうかしら
ガタン
ええ 羨ましいですよ
美しい奥さんと 水入らずで 旅行なんて
ヒヤ
ゴトン
ふう… やれやれだ
ゴトン
MENU
Dining Car

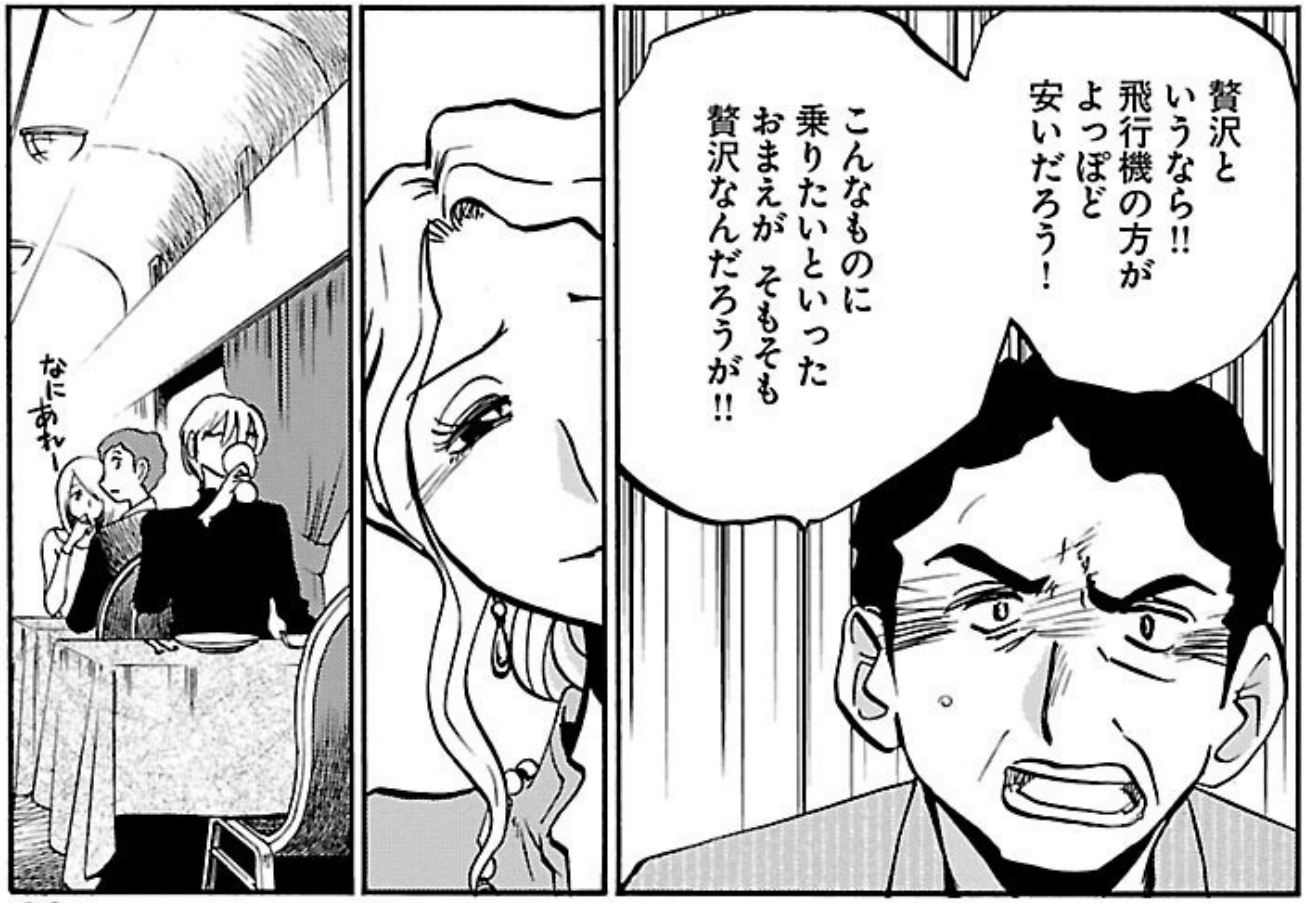
食堂車なんて いいもんでも ないな
そうかしら？ 楽しいじゃない
どこが！
車窓を楽しむも なにも…ただ 真っ暗なだけの 窓を眺めて どうしろってんだ

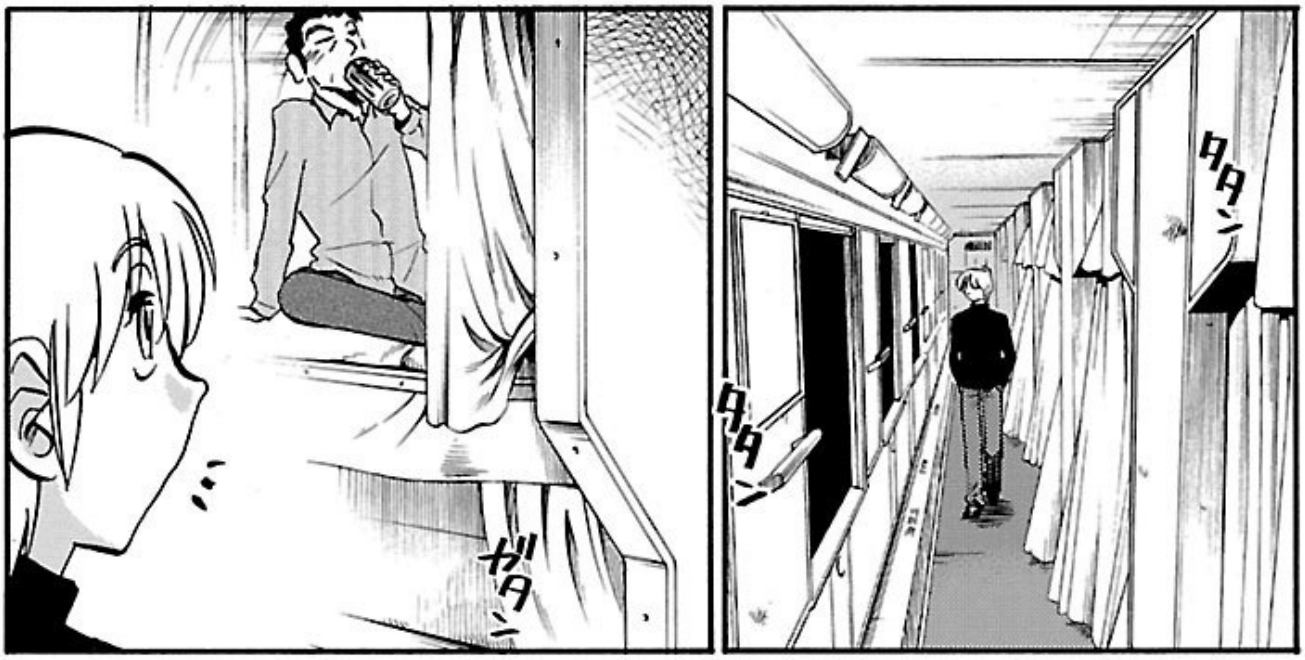
料理は たしかに マシだが…
この揺れの 中ではね…
酒で酔ってるのか 汽車で酔ってるのかも わからんくらいだ


そお…？ 町の明かりが 流れていくの… ロマンチック じゃない
だいたい なんでB寝台 なんだ
私 好きよ あの部屋 旅情があって

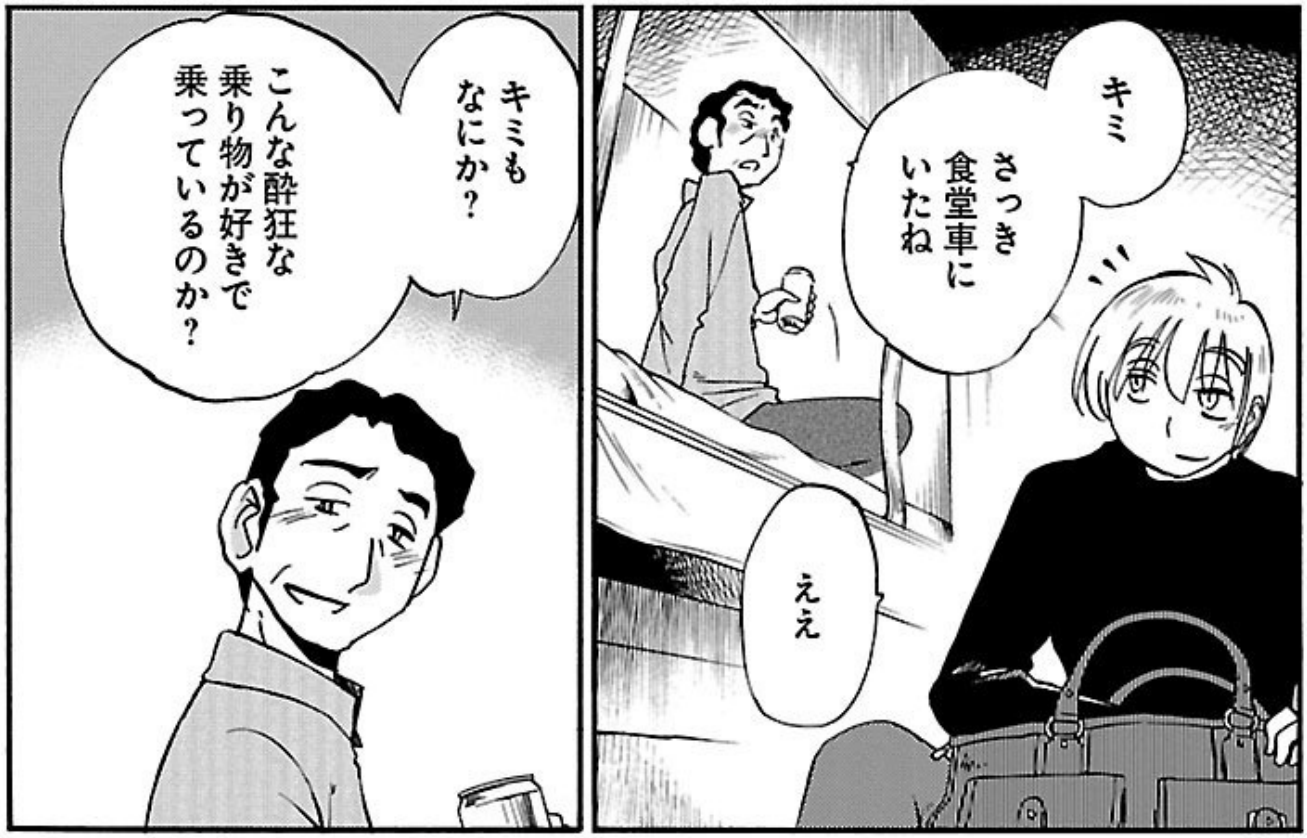
旅情かなんか知らんが
いい歳の大人の乗る客車じゃないだろう
」
せめて個室はなかったのか

私は二段の寝台で別に…それに
あまり贅沢は……もう
！
ヤキ


贅沢というなら!! 飛行機の方がよっぽど安いだろう！
こんなものに乗りたいといったおまえが そもそも贅沢なんだろうが!!
なにあれ


タタン
タタン
ガタン

ぺっ

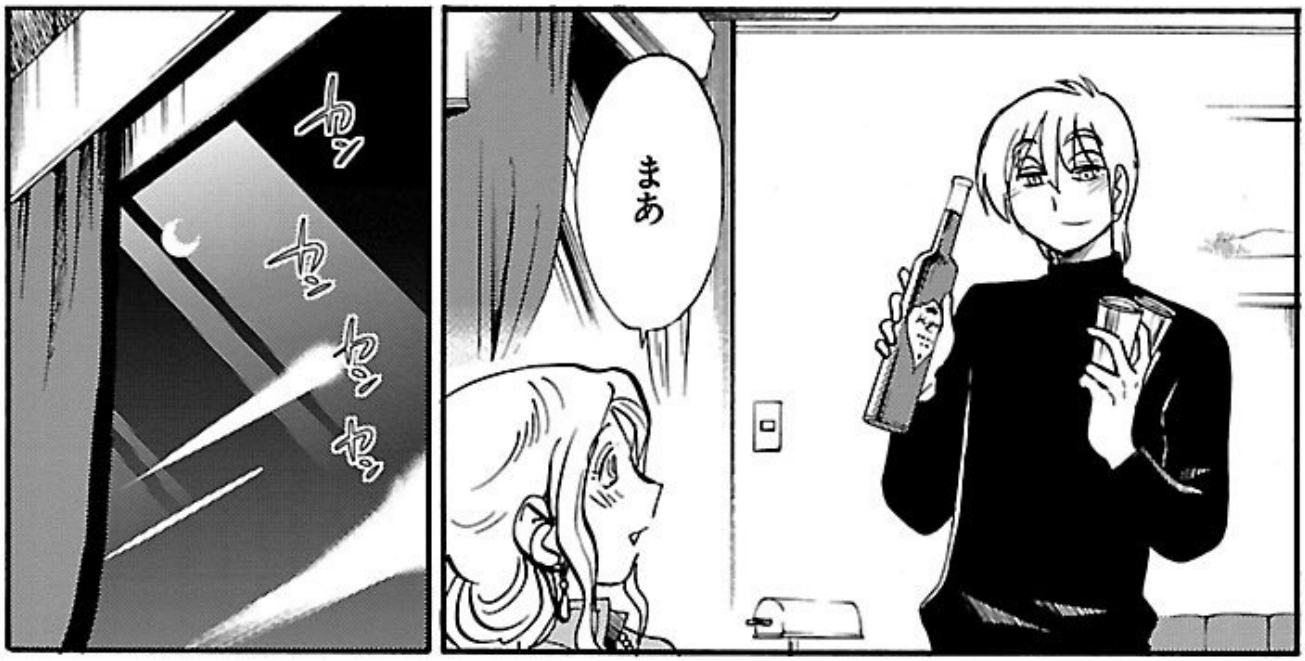

キミ
さっき食堂車にいたね
ええ
キミもなにか？
こんな酔狂な乗り物が好きで乗っているのか？

…単に移動の手段としてですが…まぁ嫌いではないですよ
ケッ…まったく！
いわせてもらえばバカだよ今どきこんな非効率的な乗り物を選ぶなんて
コストが安いならまだしも今や一番高くて時間がかかってしかも乗り心地も悪い！

それを旅情だとか雰囲気だとか言葉に酔いすぎなんだよなァ
ただ古いのをありがたがってるだけだ
……
でもさっき奥さんは喜んでましたよ？
ハ！あいつもそういう人間なんだよ！
まったく雰囲気だけで騙されやがって

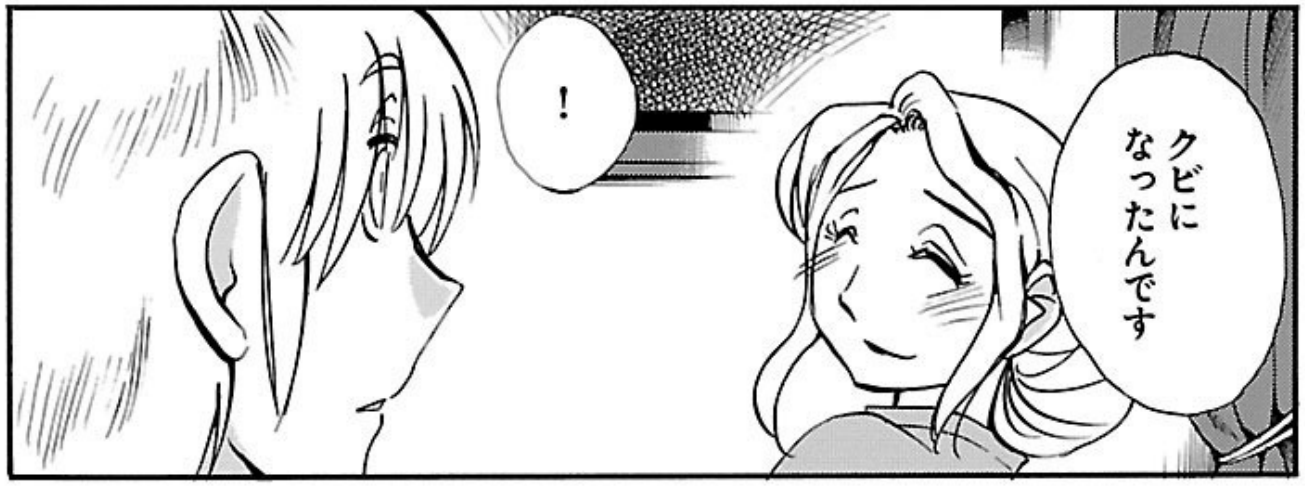
いえ
旦那さんと一緒に旅行できることを
ガタン
ゴトン

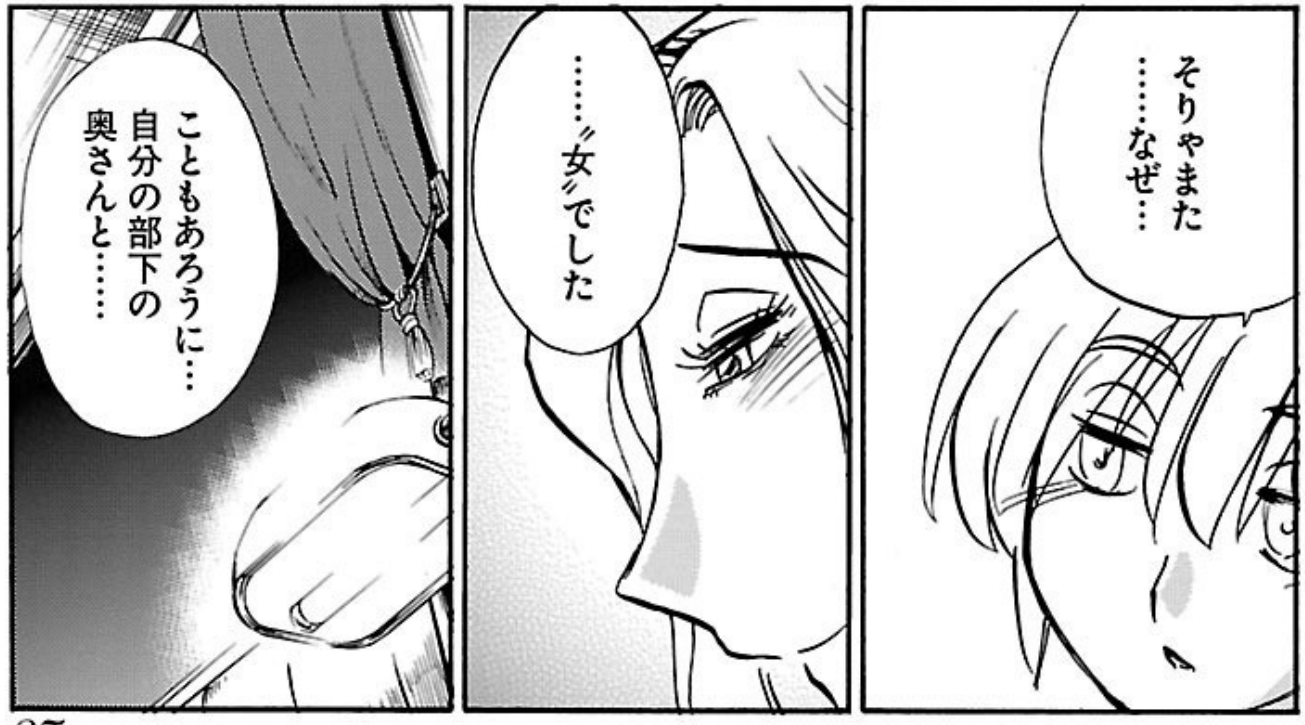
一緒に
どうですか？
ガタン
ガタン


まあ
カン
カン
カン
カン

そうですか
…あのひと
そんなこと
……
ごめんなさい
なあに
たいして
気にしてないです
あのひと
らしい
言い分だわ

あのひとね
とある省庁に
長いこと
勤めてたんです
だからかしら
人を上から
見るクセが
抜けなくて…
勤めて…た？
ええ
先月まで…ね

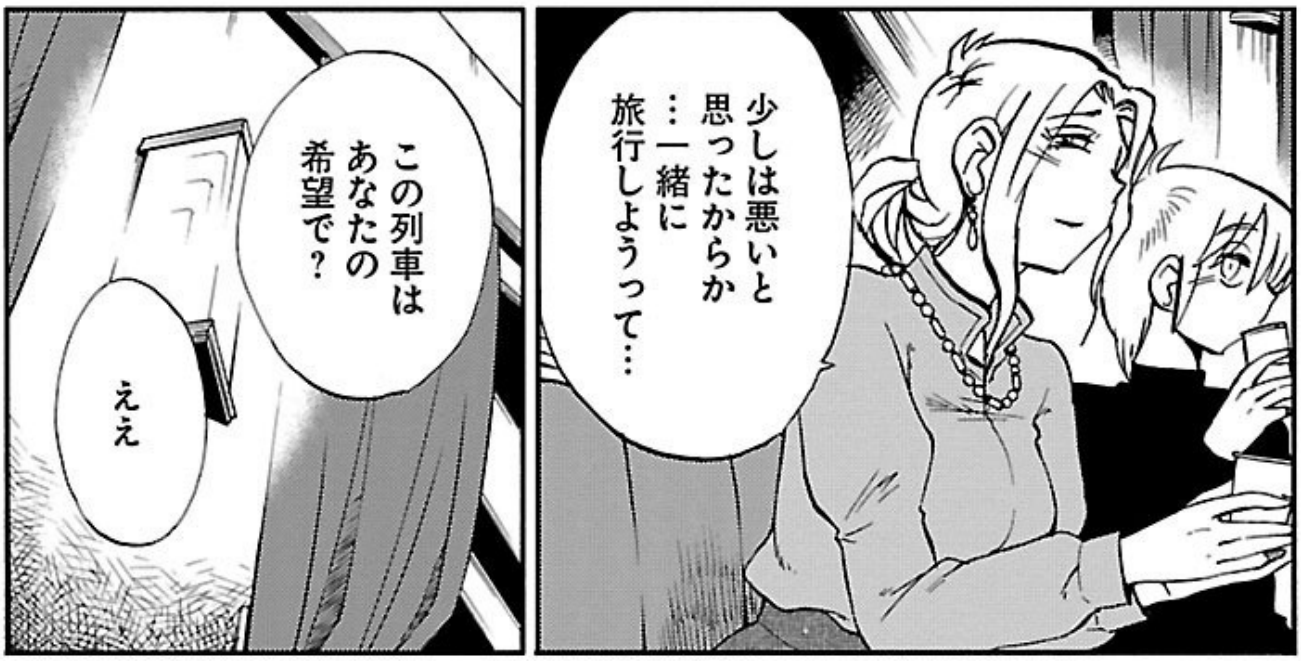

クビに
なったんです
！


そりゃまた
……なぜ…
……〝女〟でした
こともあろうに…
自分の部下の
奥さんと……

国家公務員の身で…公にこそならなかったとはいえ
タタン
内部ではあっという間に話が広がって
居られるわけもありません
ザタン

処分は停職に戒告…
停職明けには異動が決まって…

この先はもう望めないでしょうね…
…プライドはズタズタですな
……この旅行はねあのひとなりの罪滅ぼしだったんです
ザアアアアアア


少しは悪いと思ったからか…一緒に旅行しようって…

この列車はあなたの希望で？
ええ

一度…夫婦二人でゆっくり列車旅をしてみたくて…

罪滅ぼしというなら…
一度くらい…この旅で
私を抱いてくれてもと思ったんですけど

でも
駄目ですね…

夫婦なんて関係は
一度乾いて
しまえば

潤いを
取り戻すのは
難しいのかも
しれませんわ

もっとも…
私も

家で じっと
してる間に

もう女として
終わっちゃってるの
かもしれないけど

ふふ

初めて
会ったひとに
何いってるの
かしら

ごめんなさいね
こんな話

そうかな…？

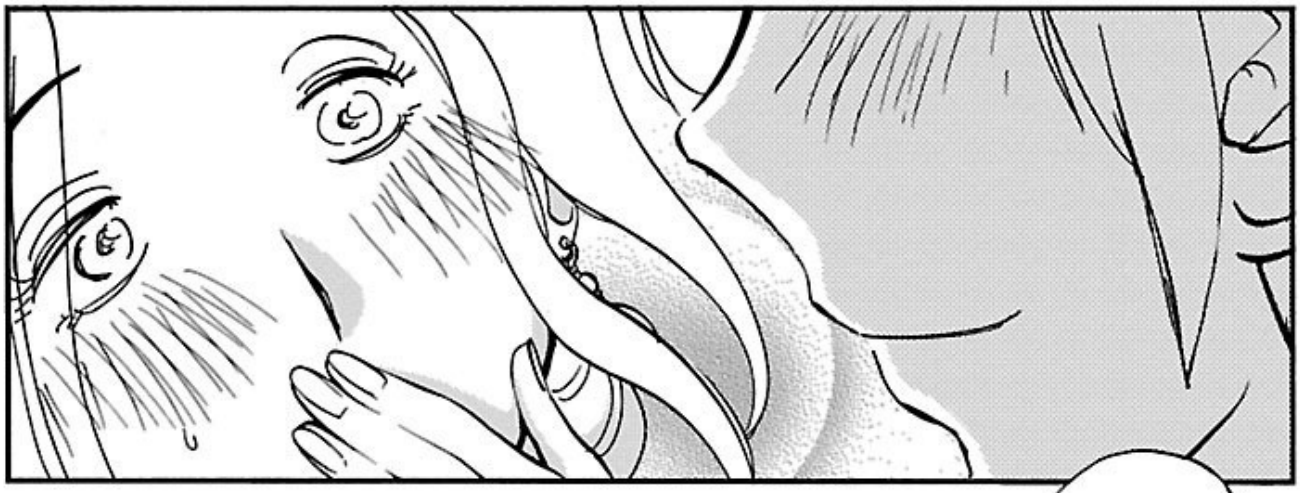
え？

終わるどころか

ずいぶん

ずいぶんと女ですよ？

タタン
タタン



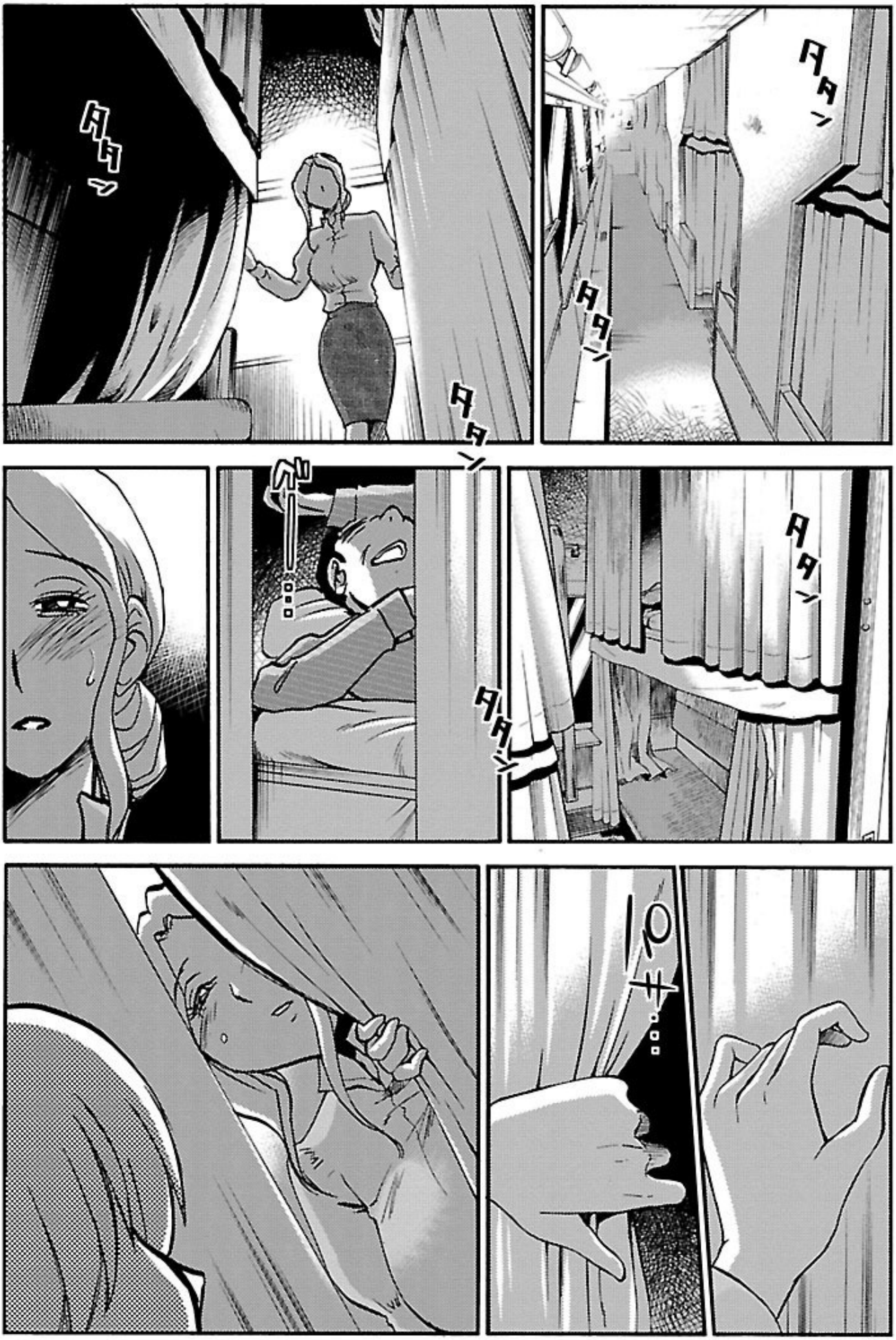
チープな開放式の寝台だって
あなたが相手なら

いくぶん
心地よいベッドに
なるかも
しれませんね

本気で
いってるの…？
こんな
年増女に

もし あなたが
僕のベッドの
カーテンを
開けてくれたら
わかりますよ

ガタン
タタン

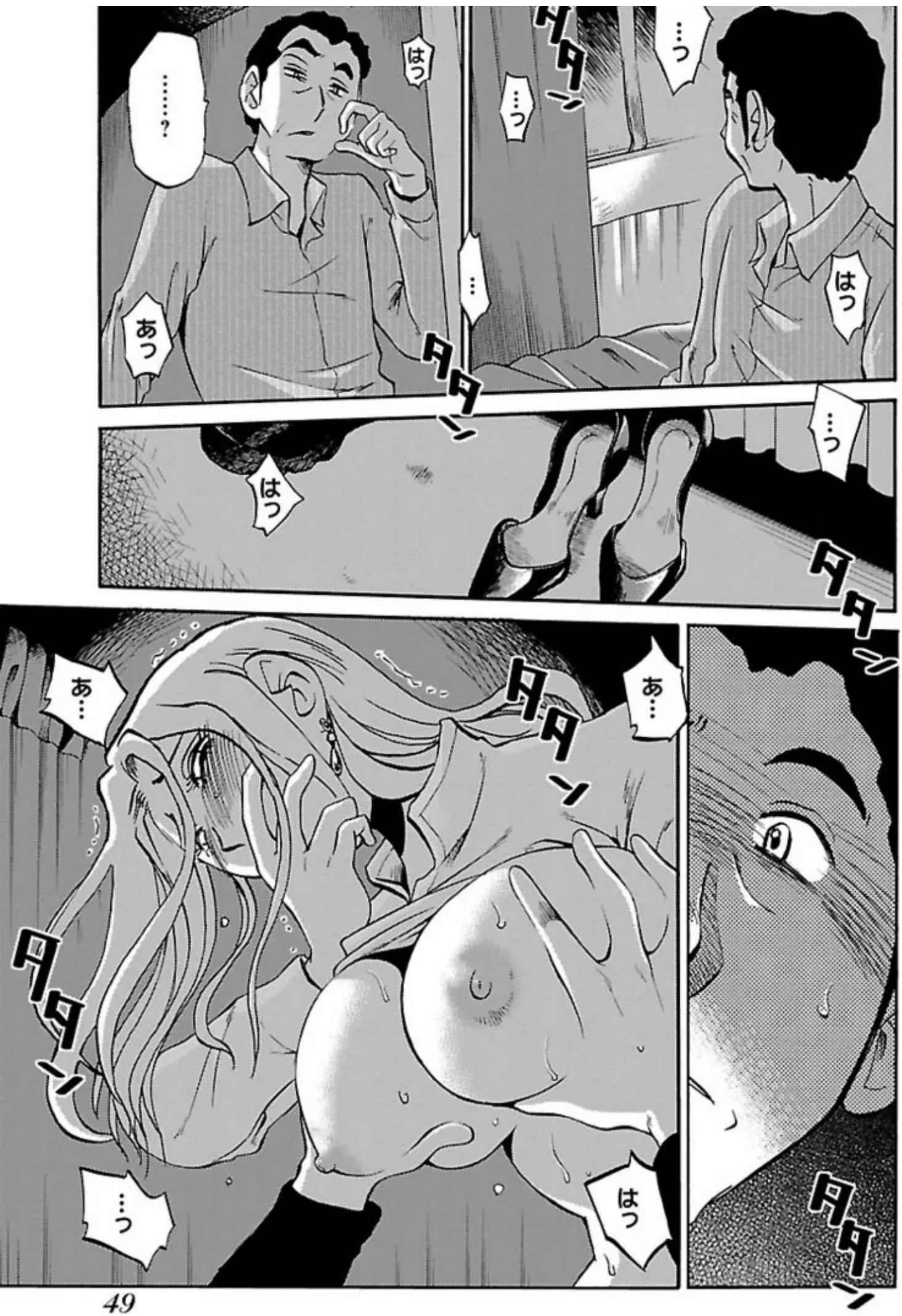

タタン
タタン
タタン
タタン
タタン
タタン
ぐー…
ピキ…

タタン
タタン
すぐ上に…寝てますよ？
ヒソ
大丈夫です…お酒飲んだときは…
全然起きないから…
タタン
タタン
クカー

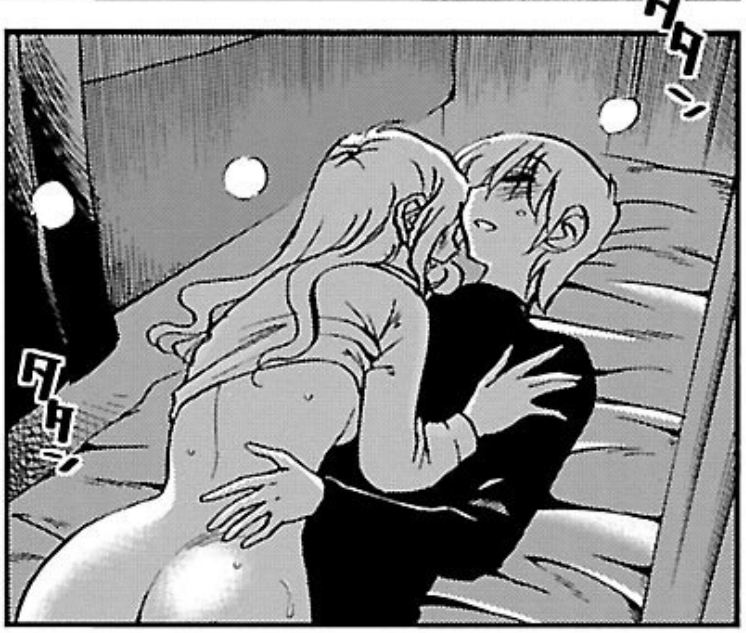
あ
ビクッ
タタン
タタン
タタン
タタン
タタン
タタン
ん
あ…
ん…
あ…
……

あっ
んあ
は
んんっ
んっ
は
くっ
やっ…
声……
出ちゃう…
……ッ
おねがい…っ
…ッ
ッ

カン
カン
カン
カン
カン
カン
カン
カン
ダダーン
ん
……っ
ダダ
ン
……
ん……
ん
あ……
ん……ッ
……ッ
ズバッ
ズバッ

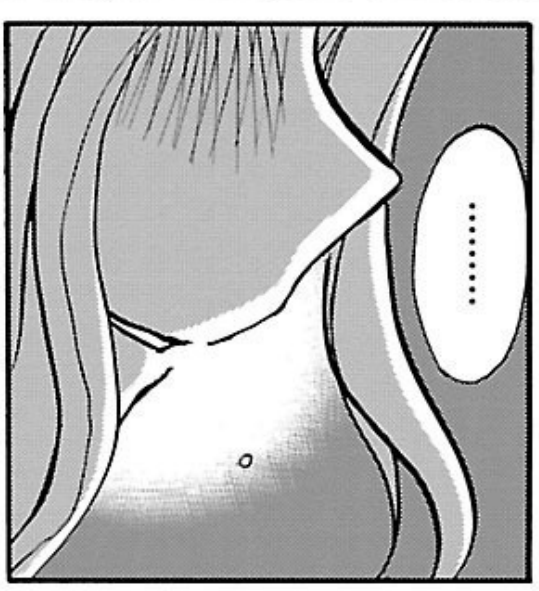

はっ
…っ
タタン
…っ
…
はっ
……？
あっ
タタン
…っ
はっ
タタン
タタン
あ…
タタン
あ…
タタン
はっ
…っ

……
……
ナ
ナ
ナ
ナ
ナ


タタン
タタン

いつか…
また…
夜行列車
乗りたいな

また…
一緒に
乗りますか
…？


……

タタン
タタン
ううん
駄目…

だって…
あなたも
遊びでしょ…？

タタン

……
そうですね

タタン

タタン

タタン

でも
ありがとう
いい旅に
なったわ

ピィィィィ

第二泊／完

—帰宅。

In the sequel…

第一泊 **北海道原野**

In the sequel…

第二泊 **東北夜行列車**

ドドド

第三泊 淡水の離島

ミシャッ
ミシャッ
ミシャッ
ミシャッ
ミシャッ
ミシャッ
ぬおっ!?
こら
あウッ
グイッ
ゴ

なぁーに
堂々と
盗撮してんのよ
キミは

あうっ
いやっ
そんなっ…

いや…
そうっすね
……
すんません

なにしろ…
この島で…

おねえさん
みたいな
エロ…きれいな人
珍しいんで

つい…

まあ

うれしいわぁ

エロは
おいといて

写真
好きなの？

はぁ…
趣味っつーか
学生んとき
写真部
だったんで

学生んとき？
え？
今 いくつ？

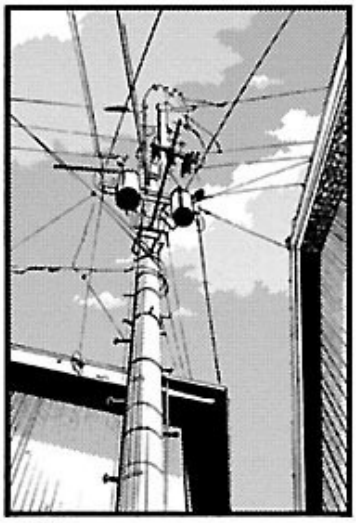
20っス

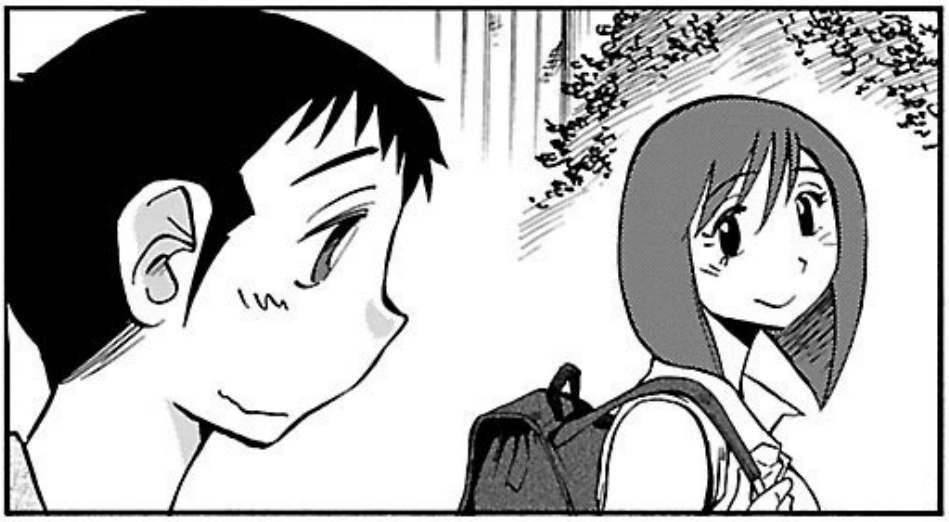
ずいぶん幼く見えるなー
よくいわれるっス

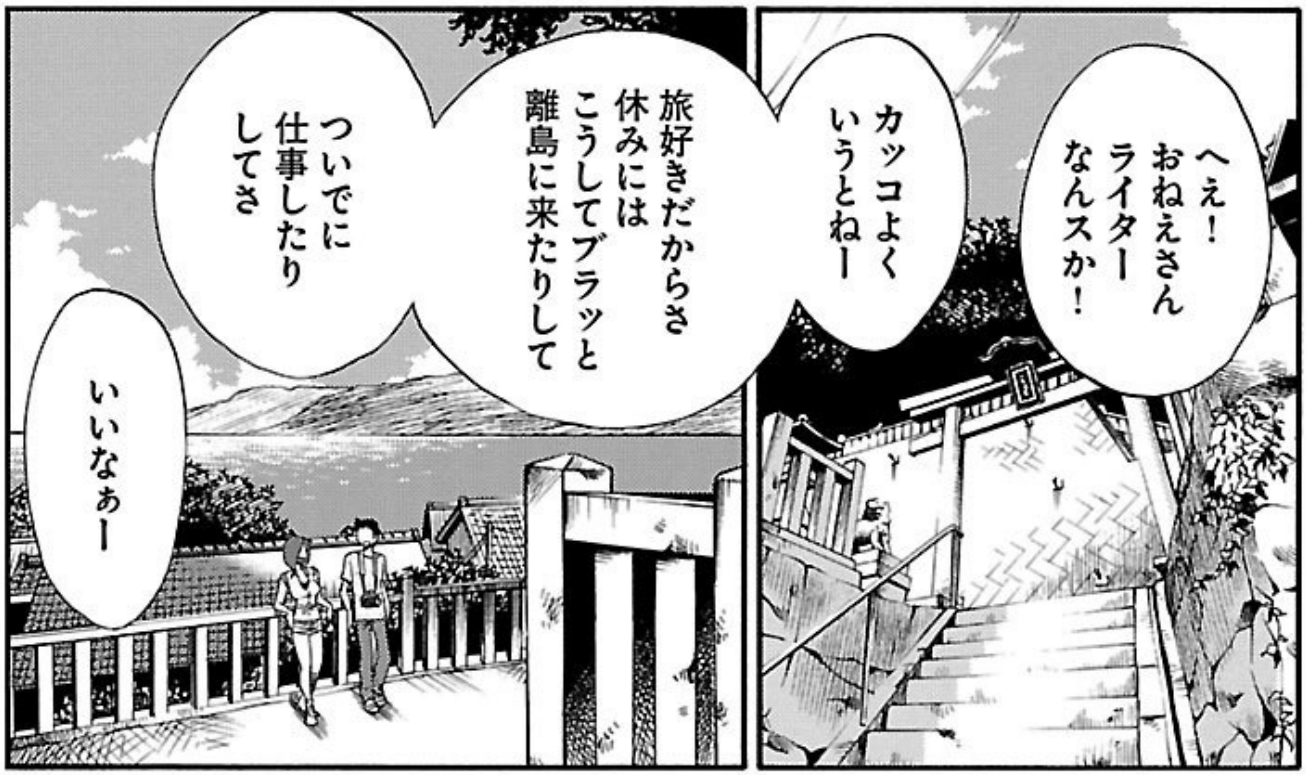
でも昔ながらの生活そのまま残ってる感じとかネコとか
いい被写体いっぱいだねこの島は

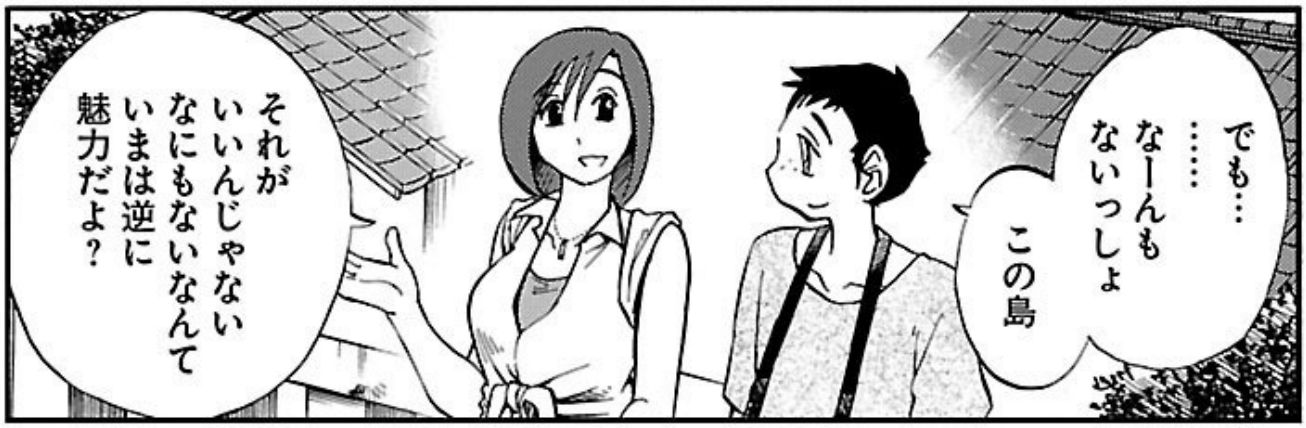
…そんなものしか撮るもんなくて
正直あきてるんス
あら

こんな島出て…もっと…
色んなトコ撮りたいし…行きたいっスよ






へぇ！おねえさんライターなんスか！
カッコよくいうとねー
旅好きだからさ休みにはこうしてブラッと離島に来たりして
ついでに仕事したりしてさ
いいなぁー


でも………なーんもないっしょこの島
それがいいんじゃないなにもないなんていまは逆に魅力だよ？

でも…若い子もいないし…やっぱ…東京とかいきてぇなー…
カノジョが欲しいの？
え!?
いやっそんなっ

……っ
すんません
ウンを
いいました
いやっ…
欲しいっスッ
正直
いえばっ
すごく!
だって…
同級生とか…
みんな街出て
働いて…
たまに
帰ってくると
すっかり
オシャレで…
あっ でも
島出たいのは
違いますよっ
写真も
やりたいし…!
世間を
見たいっつーか
……!!
ただ…
20歳んなっても
ドーテーなんて…
やっぱ…
なんつーか…
このまま
この島に
いたら…
いつまで…
こんな状態
なのか…
むうう…
ニャ
ニャ
いや! でも
童貞とか
ホント
関係なく!
ほんとにオレ
…そう!
——夢を!!

そうだね

夢も
希望も
叶えたいよね

。

おねえさん
名前は…？

マミ
キミは？

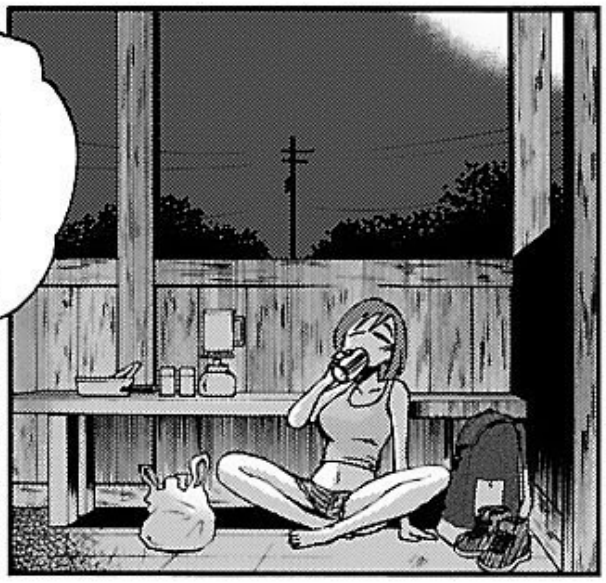
——トシヤ
佐田トシヤ
です

マミさん
今日…どうすんの
どっか泊まるの？

ああ
この神社で
いいかなーと

え!?
ここ!?

カミサマも
かよわい女なら
許してくれるっしょ
ワイルドォ…


こんばんはーっ

あー
トシくん
ありがとねー
いえいえ！
350mlを
一箱でしたよね

わるいねぇ
こんな時間に
この暑いのにねー
うちのが
ビールないと
うるさくって
いやいや！
オレいくらでも
来ますから！
気軽に呼んで
ください！

毎度ありがと
でした!!

ふーん…

んじゃ
いってくるよー

はいよ
頼むわー

あー
帰りに
港に届いてる
ケース3つ
持ってきてね
はーい
きっ
きっ

はーい
こっち向いて
！

マミさん…
パシ

すごいねー
働くねー
酒屋さん
だったんだ

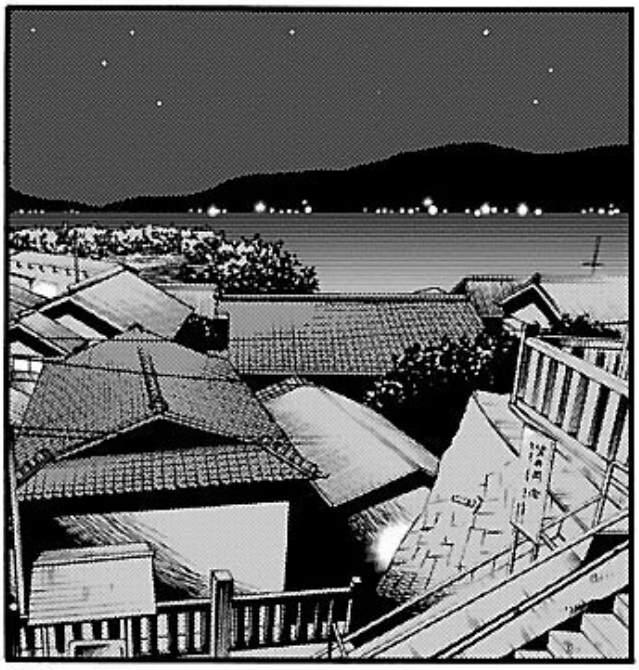
は…ははっ
家の仕事っすよ！
島ん中で
ウチだけなんで
仕方なく…っ
へー

いいじゃん
カッコいいよ
え!?
マジっすか!?
うわ
テンション
あがるー！

あっあとで
神社に
差し入れ
持ってきます！
ちょっと
これ
急ぐんで！
がんばれー

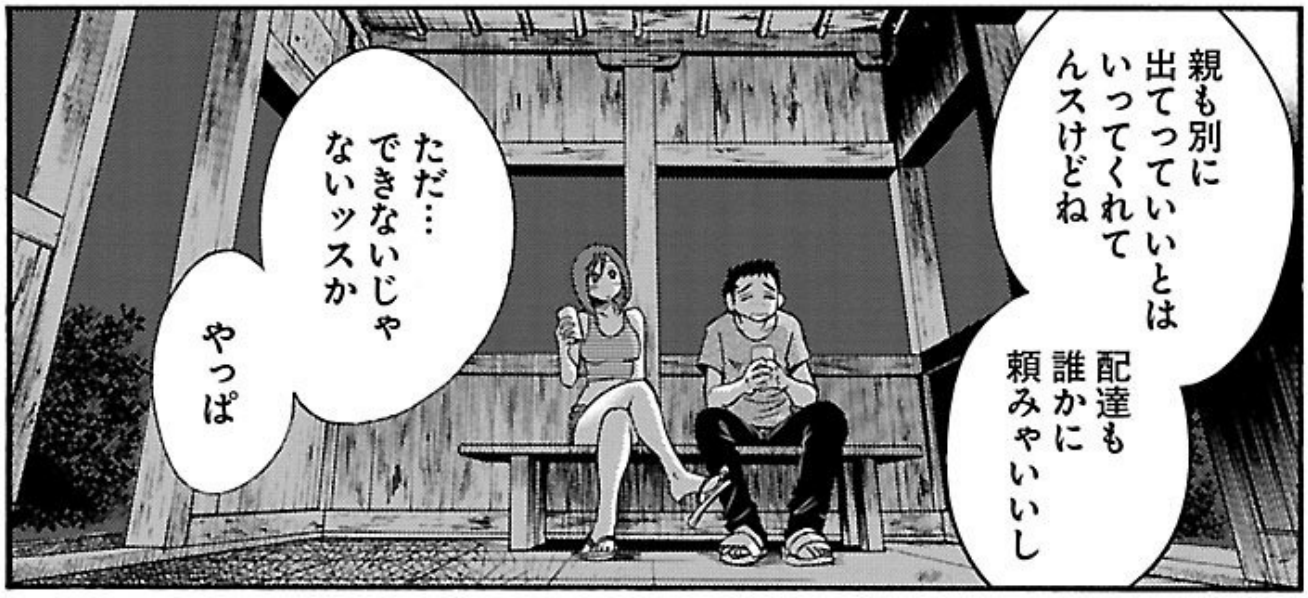
カリ
カリ
カリ

ほんと
カッコいいよ
トシくん
ギコ
キコ
キコ



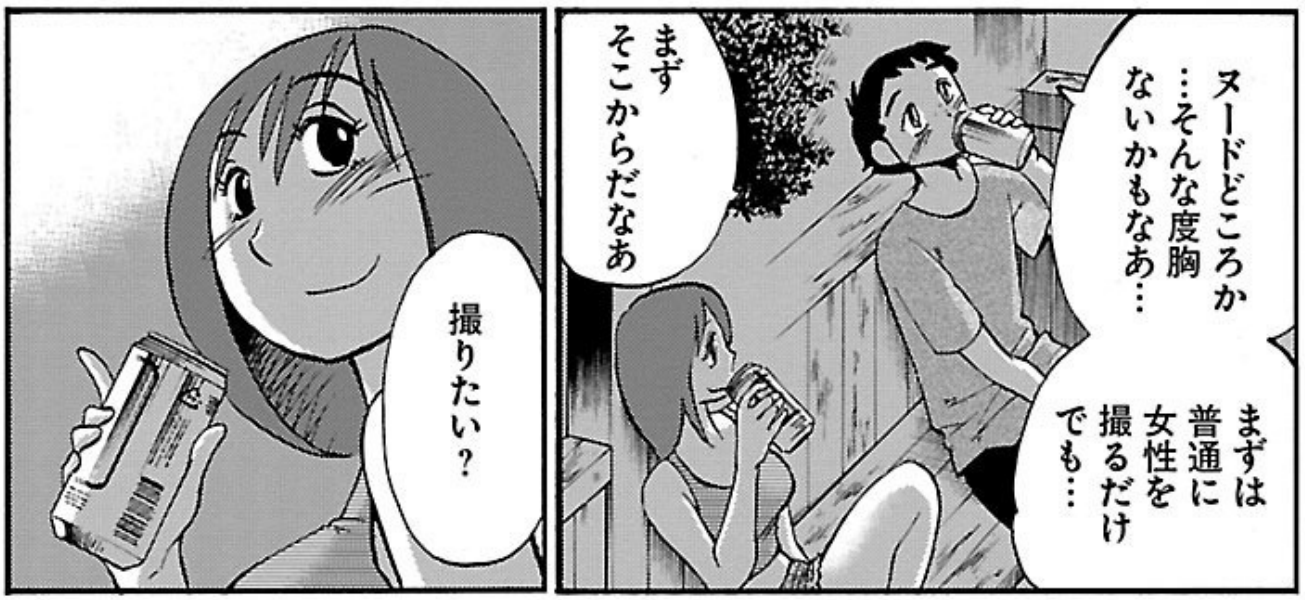
いやぁ
ウチ
オヤジが
足悪いんで
配達とかオレが
行くしか
なくってさ

そっか
それも
出て行けない
理由なんだ
まあ…


親も別に
出てっていいとは
いってくれて
んスけどね
配達も
誰かに
頼みゃいいし
ただ…
できないじゃ
ないッスか
やっぱ

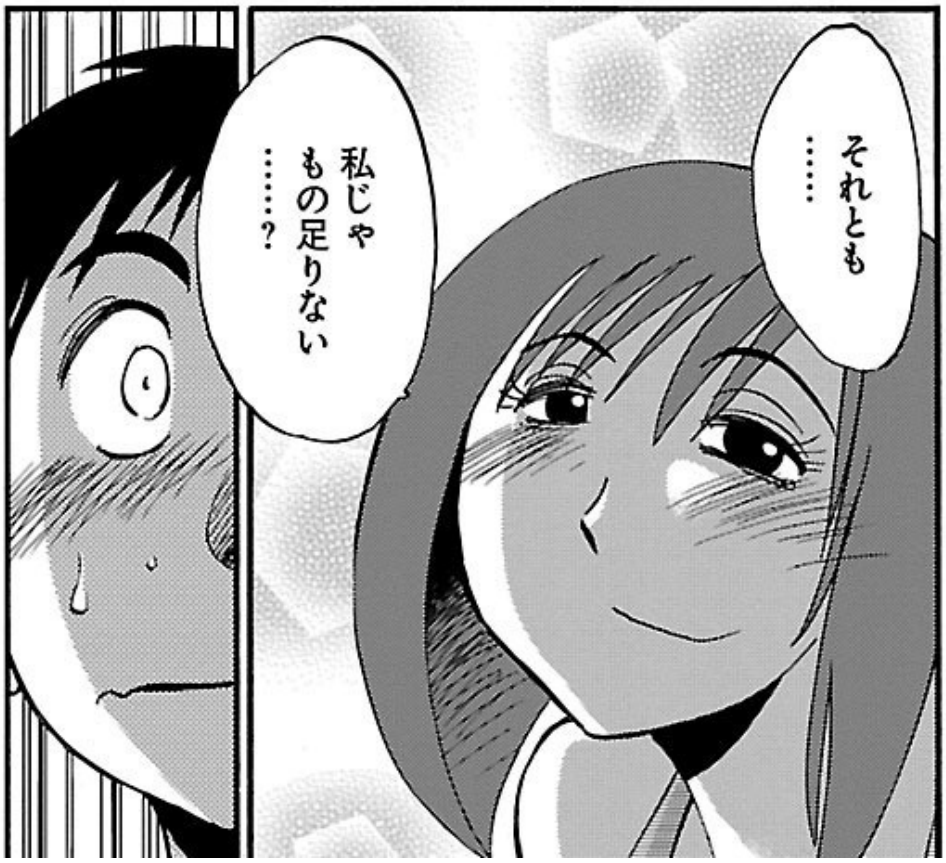
だいたい
写真やりたいっ
つっても
何も見えてない
…ってーのかな
撮りたいもんは
いくらでも
あるけど…

……
ヌード
とか？
うはははは


まずは普通に女性を撮るだけでも…
ヌードどころか…そんな度胸ないかもなあ…
まずそこからだなあ
撮りたい？

だめだよぉ
せめて目の前の被写体口説くくらいしなきゃあさ
えっ…でも…
ええっ

え…っ


それとも……
私じゃもの足りない……？

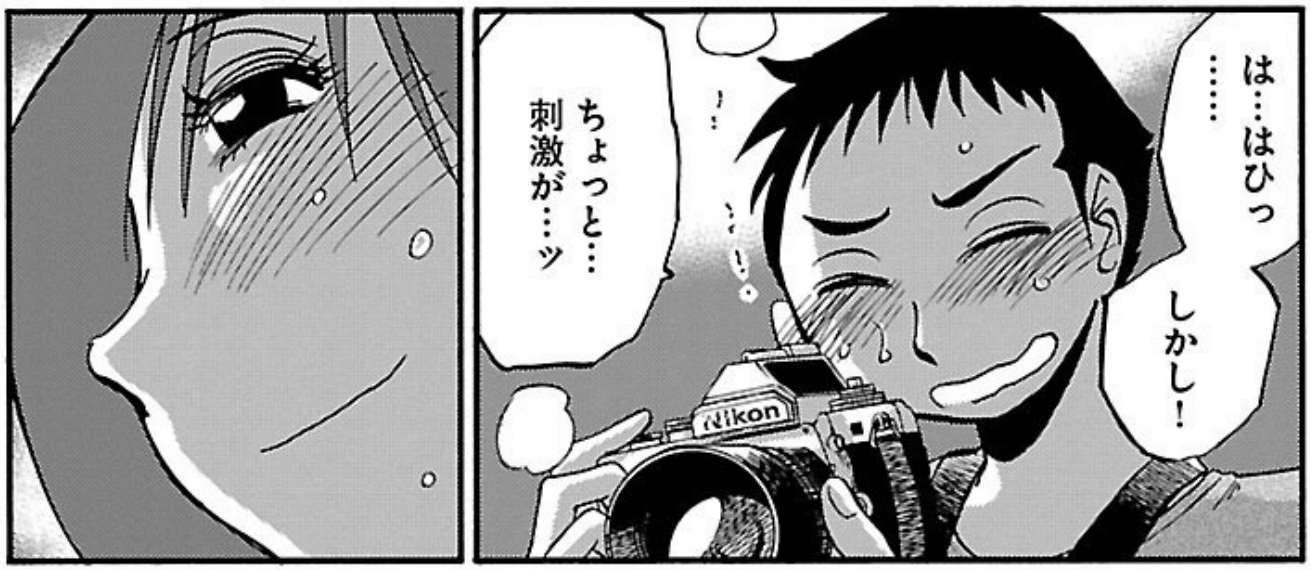
こっち…見てください……っ
こう？
そ…そうッス！
Nikon
Df
AF-S

もっと…
胸…
強調して…

ドキッ

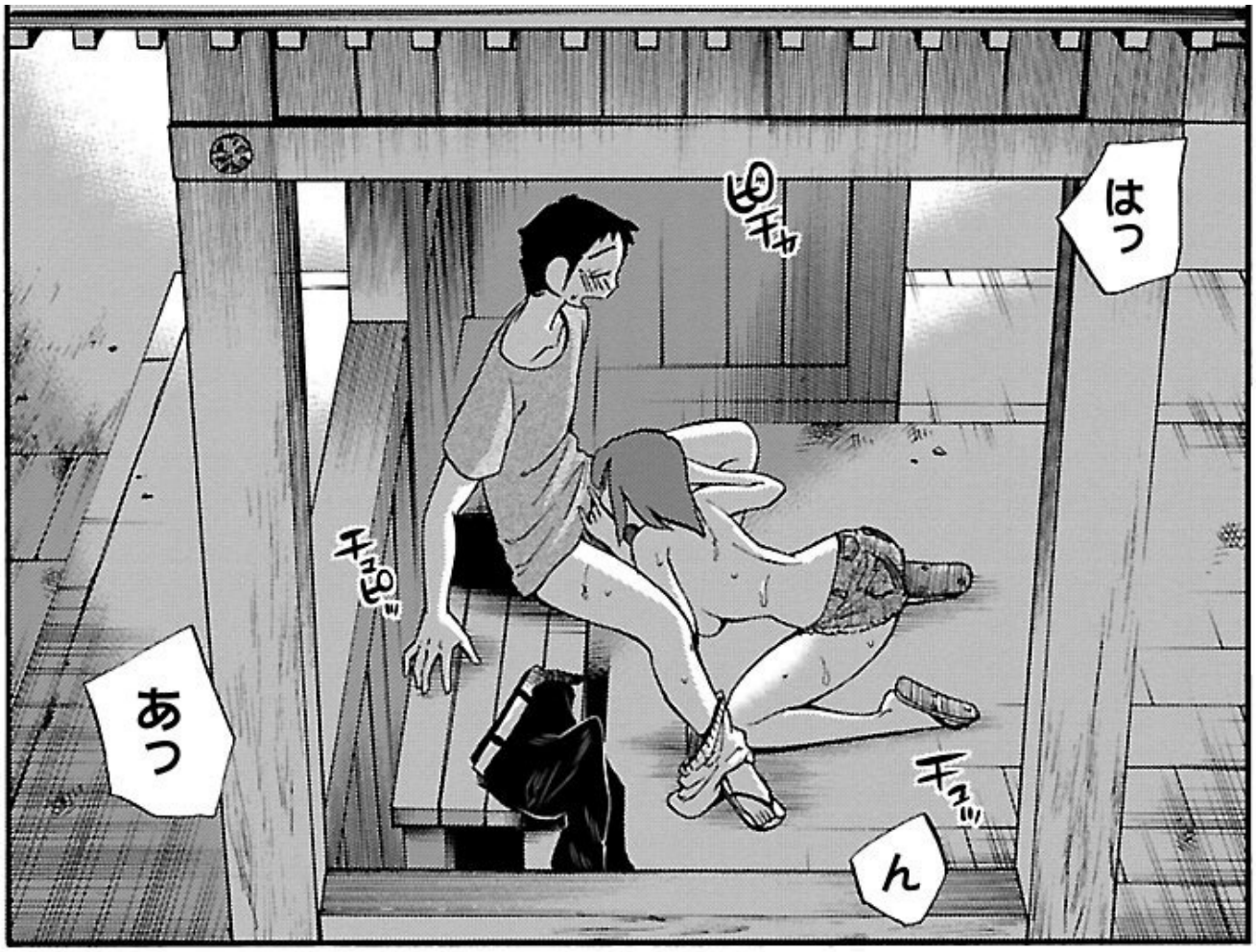
こんな？

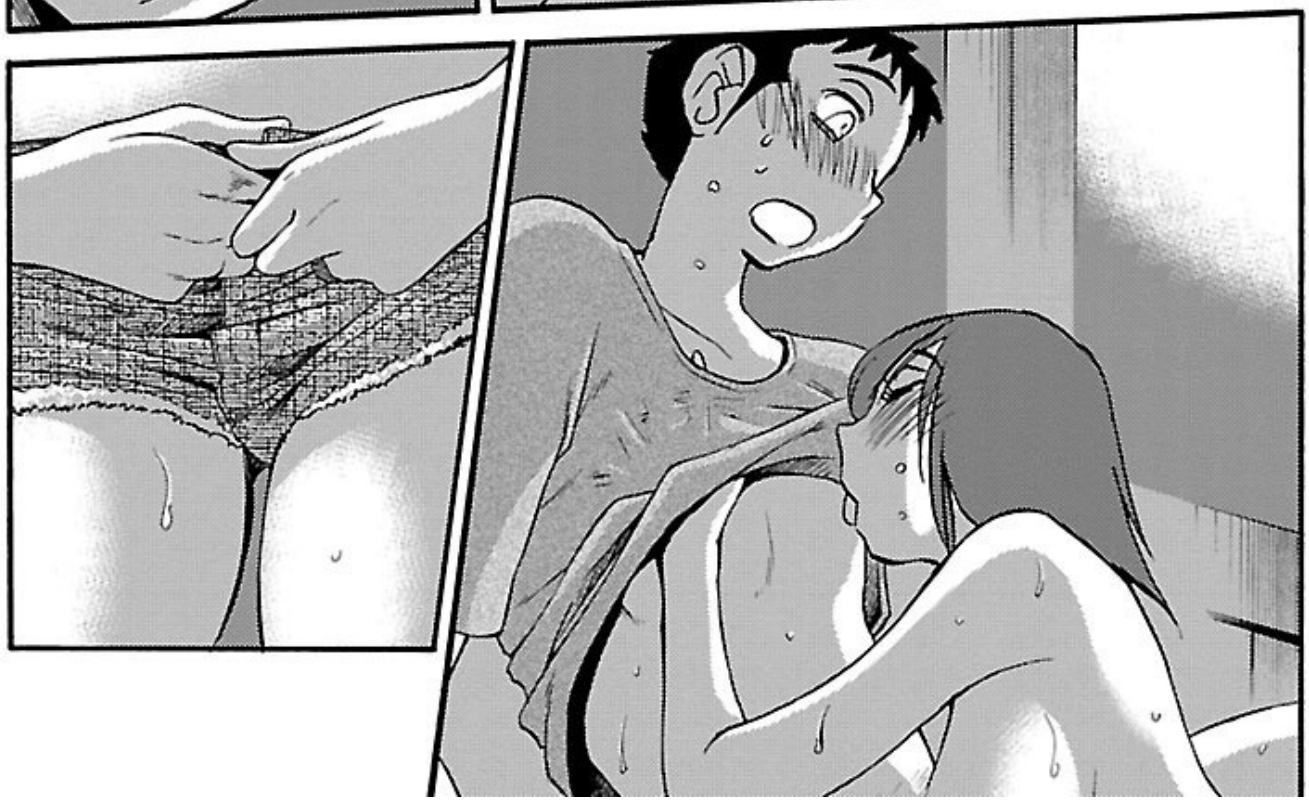
はっ
あっ
はっ
Nikon
ガタ
ガタ
そんなにカメラが動いちゃブレブレになっちゃうよ？


は…はひっ
……
しかし！
ちょっと…
刺激が…ッ
Nikon

よおし
おいで

夢までは
ムリだけど
願いの一つ
くらいなら
おねーさんが
叶えて
あげるよ


はっ
ピチャ
チュピッ
あっ
チュッ
ん



はっ
あっ
ズボッ!

はっ
あっ
はっ
はっ
あ
は
あ
はっ
あっ
はっ

いいよ…
トシくん
キミ
ステキだよ
はっ
あっ
あ
あっ
あっ
ねえ
マミさん
んー？
もっかい
撮らせて

今なら撮れると思うんだ
もっとキレイに
Nikon
パシャッ
パシャッ

ドンッ

あーあ もう 行っちゃうのかー
まあ 仕事も あるしねー

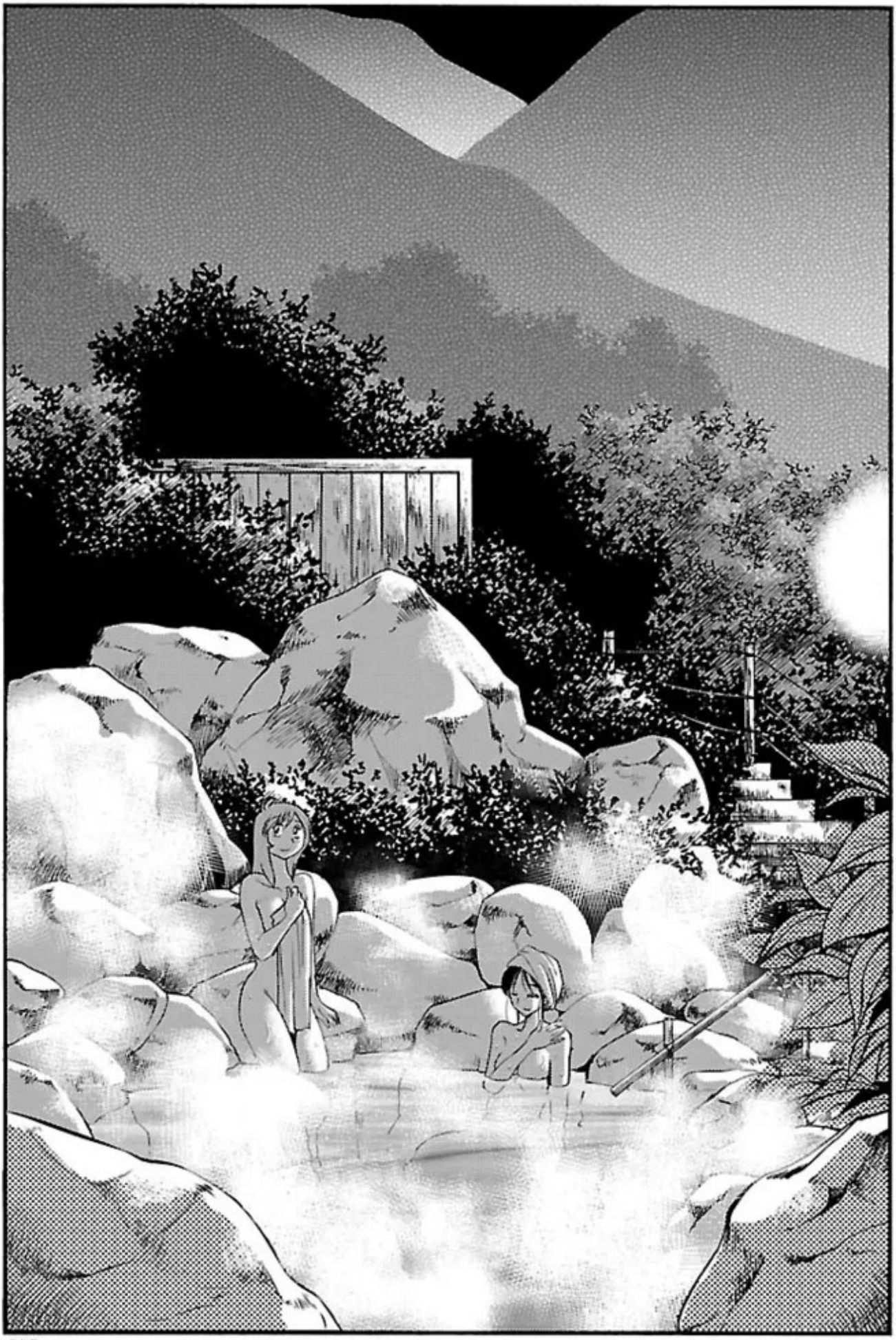
私の写真 ネットとかに 出しちゃ だめだぞー
それは 大丈夫！

僕の大事な 思い出 ですから

東京… 戻るんですか？
うん もう少し 南のほう 旅してからね
そっか…

……
一緒に
…くる？
いやあ…
やっぱムリっす
…まだ
でも
いつか
きっと…
夢を
叶えに！
そのときは…
会いに
いきます
うん
待ってるよ
第三泊／完

第四泊 富山県秘湯 前編



うん
お父さんは
もう3年くらい
会ってないなー
新しい
奥さんいるのかも
しれないしね
白泉温泉

別に
いーんだ
会いたいとも
思わないしさ

…お母さんも大変だね

女手一つでこの宿支えて

まあねー

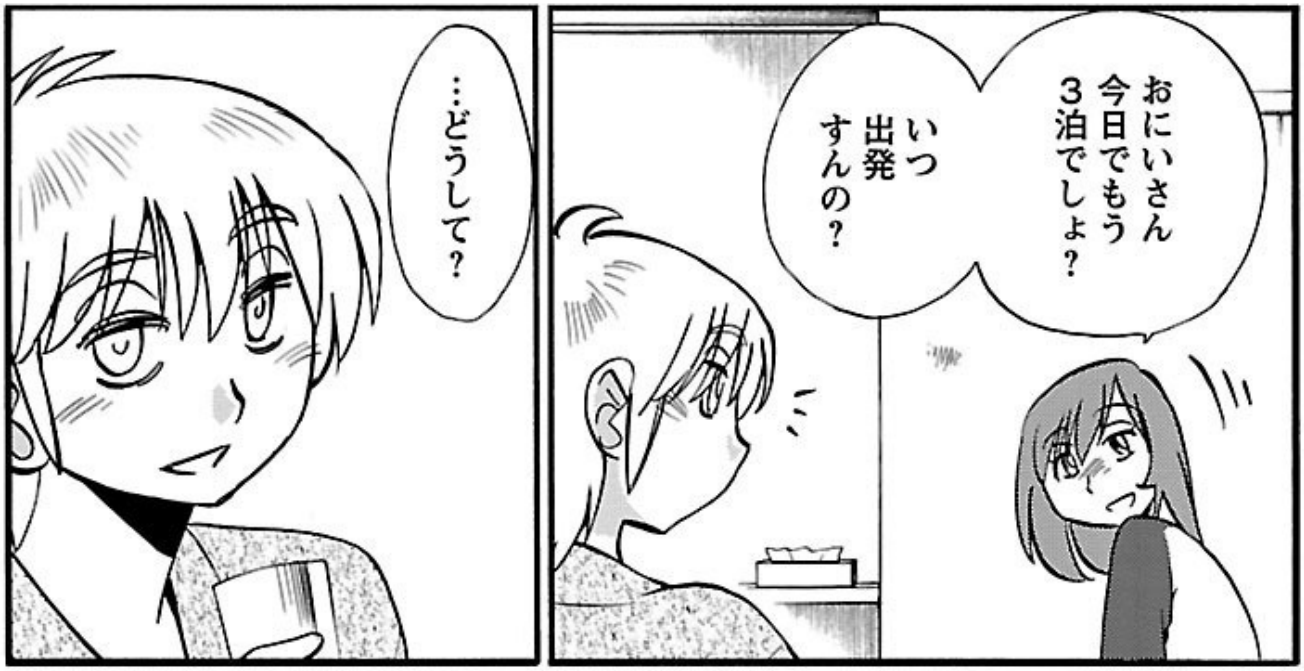
でもこんな山奥の旅館なら客大して来ないしさ

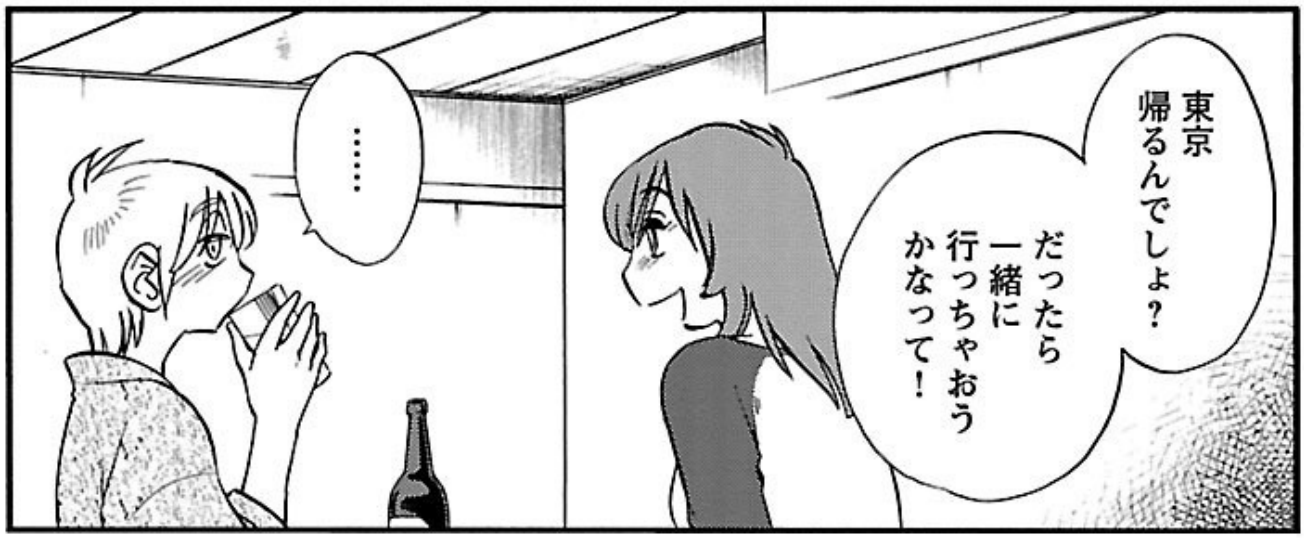
まあ私と二人でなんとかなってんだから！

そっか

なら安心だね

…ねェ

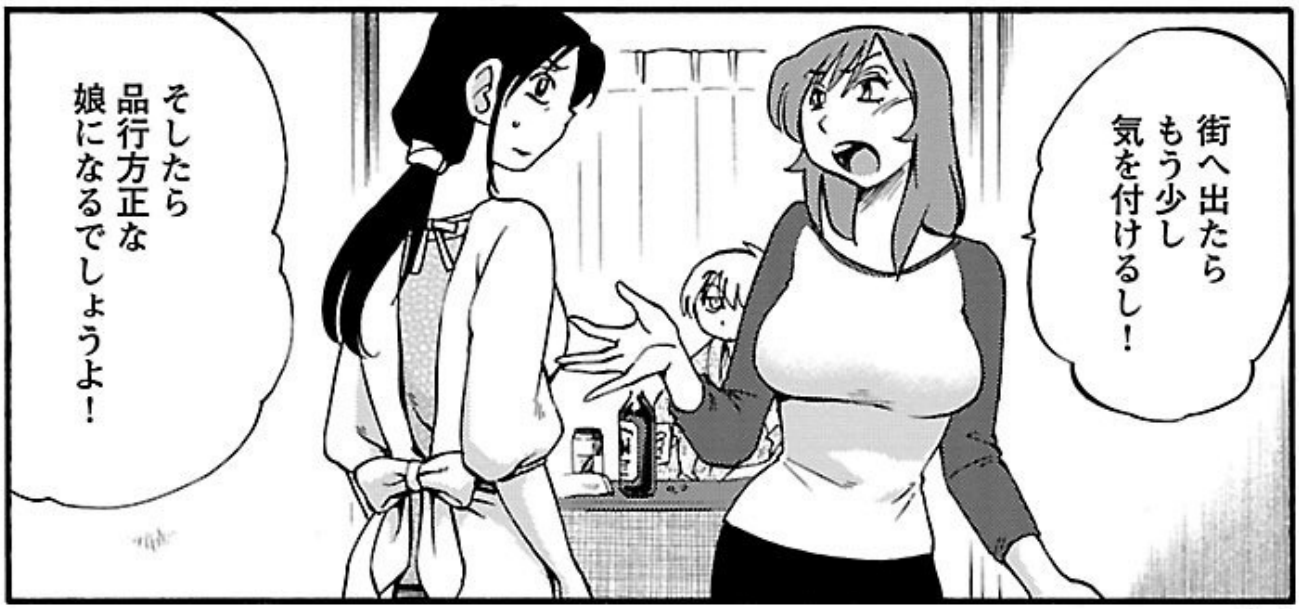

おにいさん今日でもう3泊でしょ？
いつ出発すんの？
…どうして？


東京帰るんでしょ？
だったら一緒に行っちゃおうかなって！
……

別にいいよ
けど
この宿は？
さっき自分で言ったろ？
私が手伝わないと…って
……

はぁー そう なんだよねー
結局さー そうゆーの あっから
こっから 出て行け ないんだー
ドス
ドス
やっぱり ここね！ 恵(めぐみ)!!
あんたってば また お客さんの部屋 押しかけて！

お客さんじゃないもん
毎晩一緒に飲んでるからもう友達だもん
ヘリクツを言うね!!
この子は!



はぁ…
すいませんね
お客さん…
いやぁ
楽しく呑ませて
もらってますよ
こういうのも
ドス
ドス
ドス

ただ…
娘さんには
この旅館は
ちょっと
退屈な
ようですね

…まあ確かに
ここは温泉以外
何もない
村ですしね
あの子の気持ちも
分からなくは
ないんですが…

…彼女は
なんか夢でも
あるんです
かね？
夢というか…

美容師に
なりたいから…
専門学校へ
行きたいとか…
でも
そんなの
言い訳
なんです

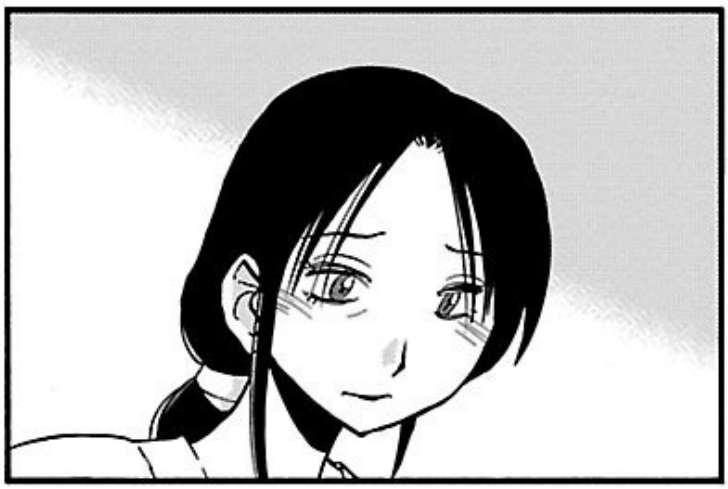
あの子はただ
街で遊びたいだけで……
……

街で遊ぶってことだけでも
ここを出たい理由としちゃ充分ですよ

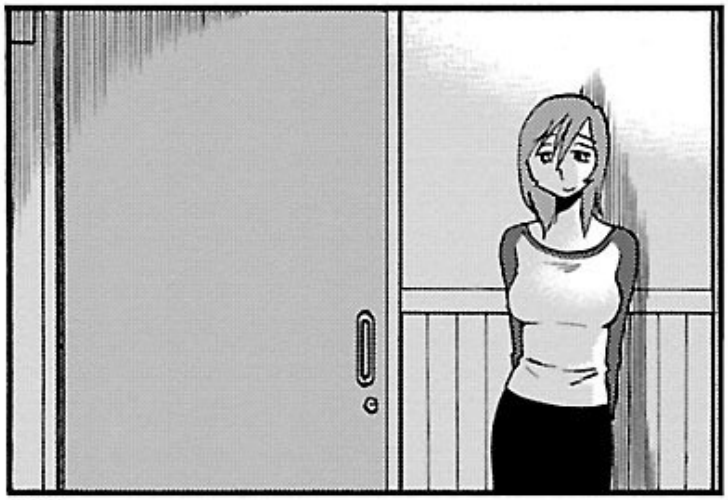
でもそしたら……
この宿は…本当にもう続けられないんですよ

あの子…さっきあんなこと言ってましたけど…
いつもよく手伝ってくれて…
本当にあの子がいなくなると私一人じゃこの宿を回すことなんてとても…

大事なんですね
…この宿
……
曽祖父の代から
ずっと…
守ってきた
宿ですから…



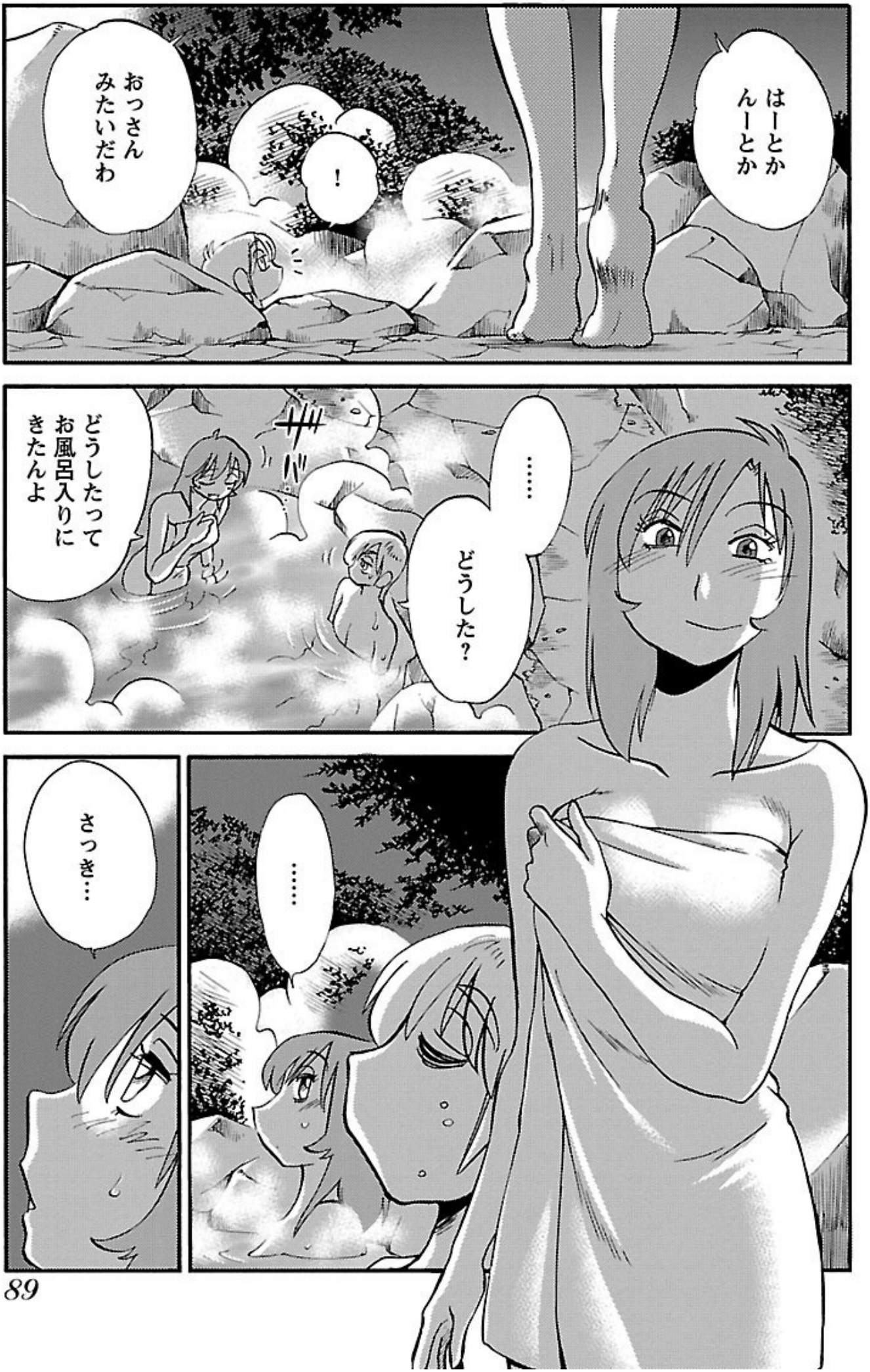
…娘の自由よりも
……？

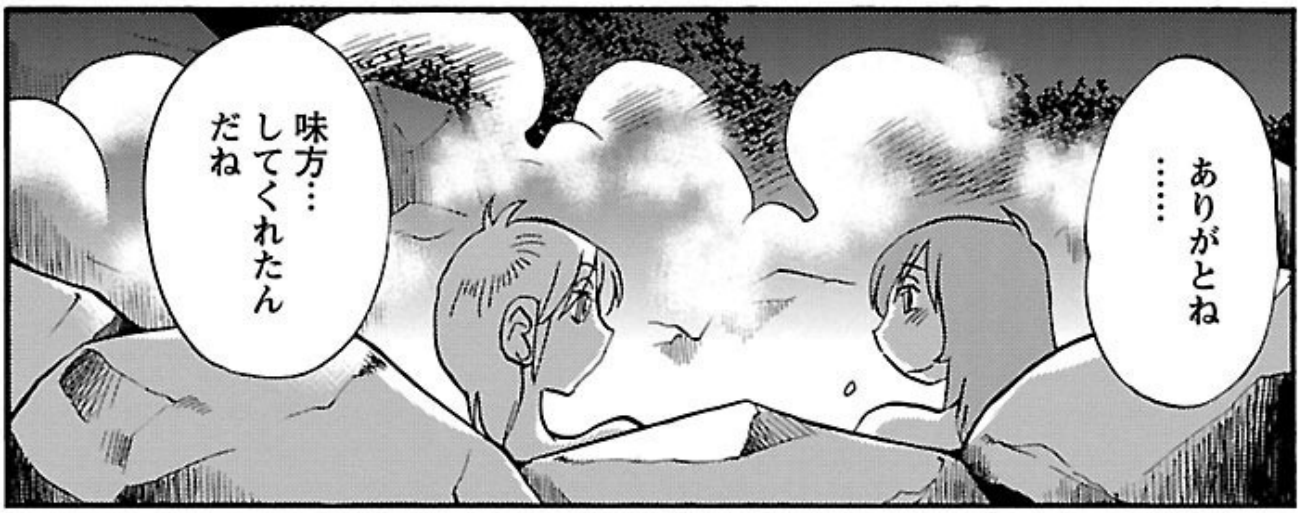


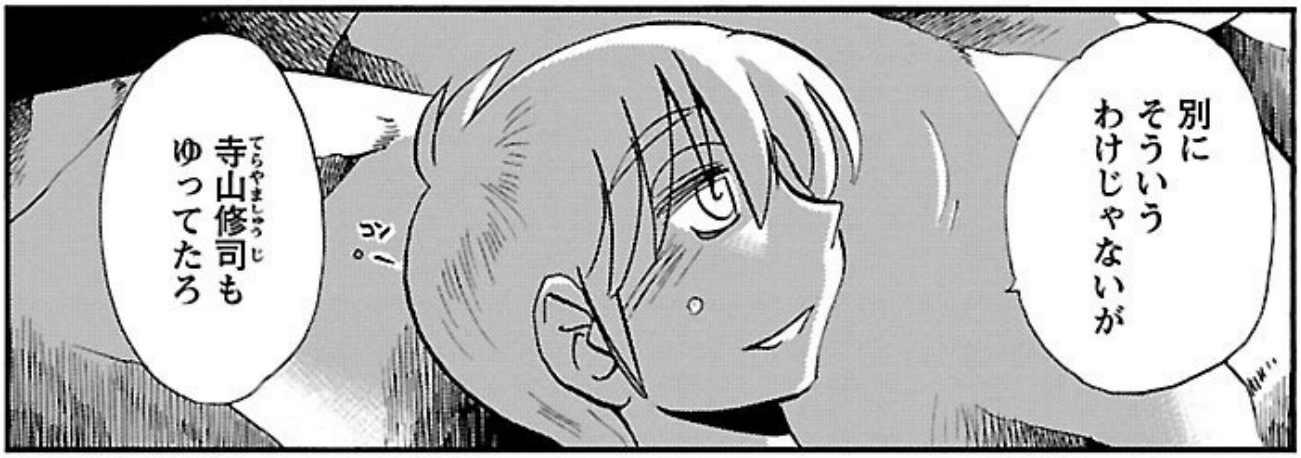
うーん

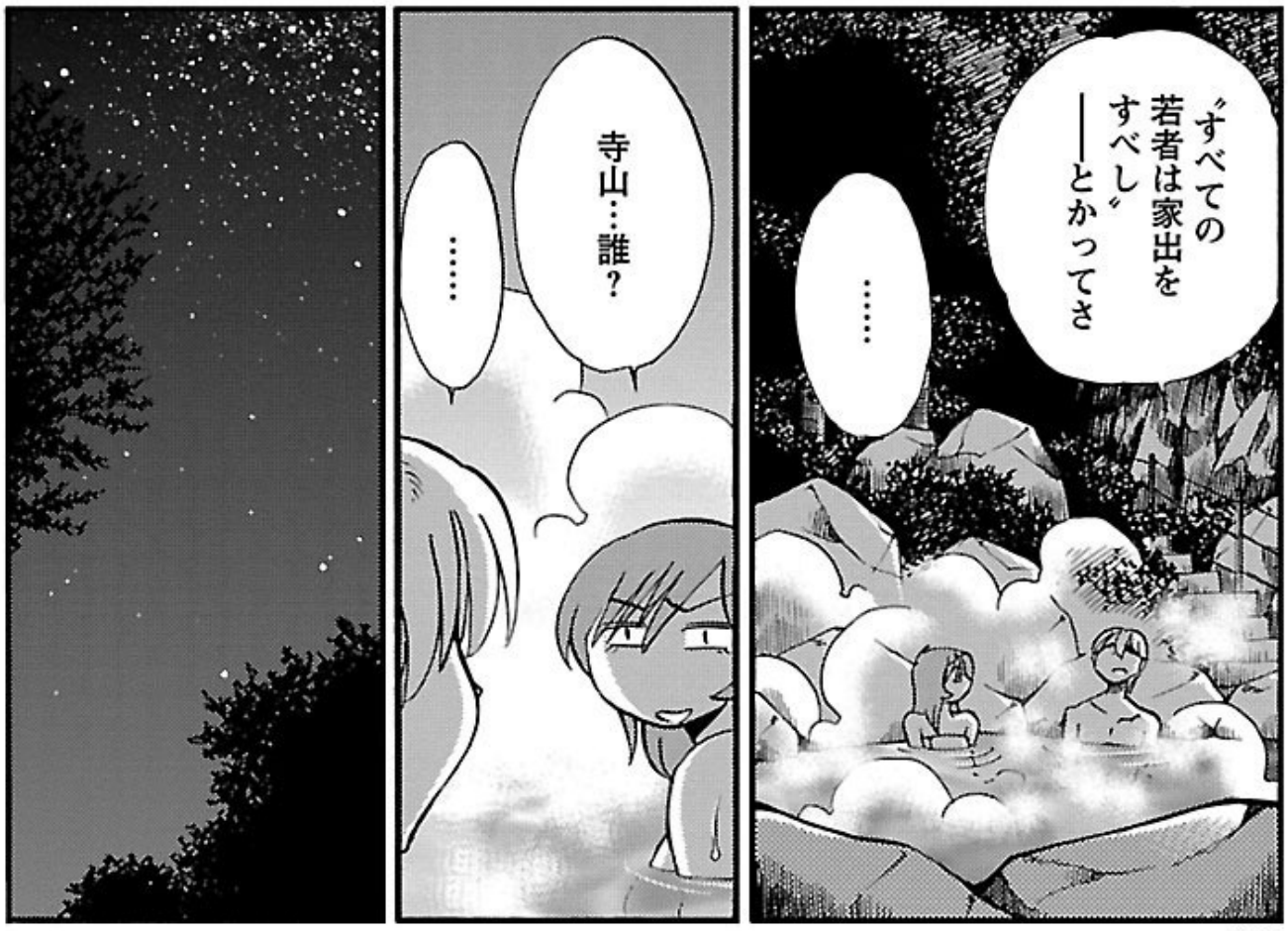
ほんとに…
素晴らしいなー…
ここは
ちゃぽん…
はー…

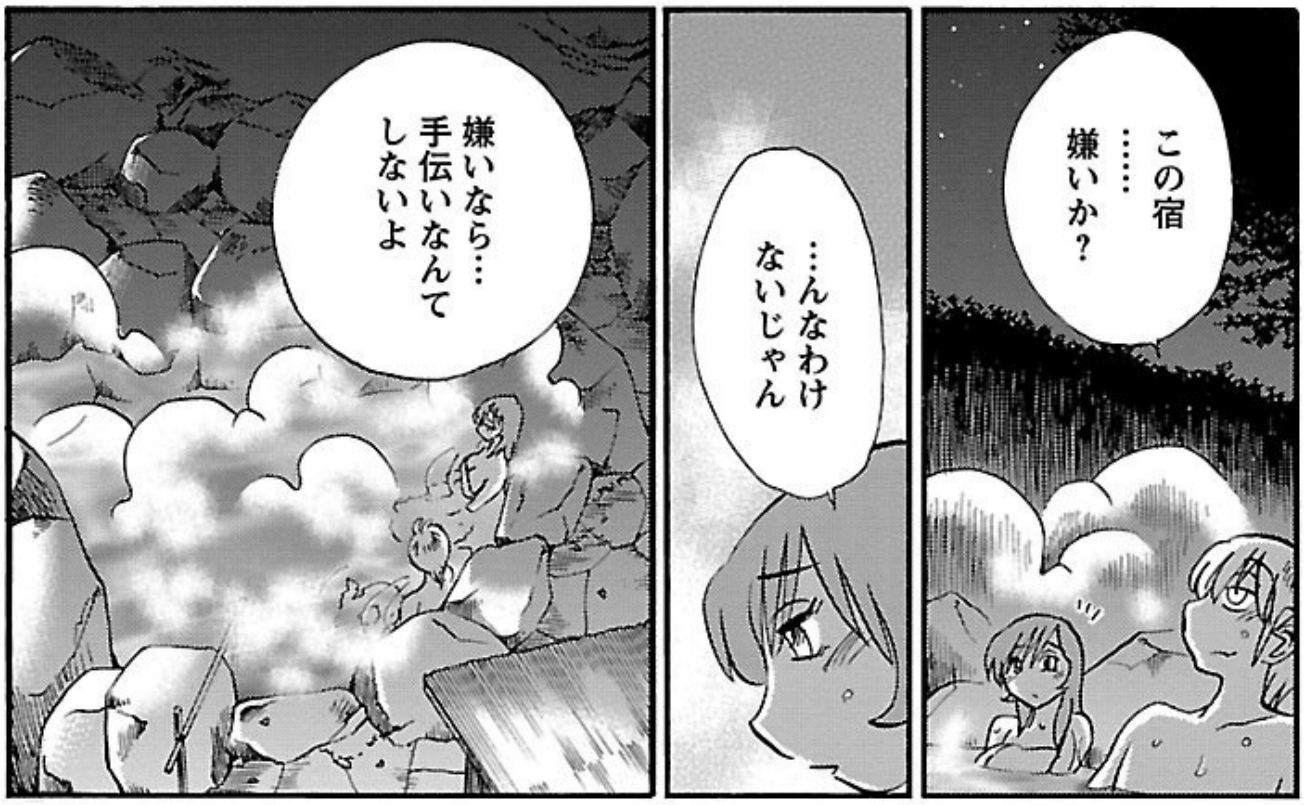
んー


はーとかんーとか
！
おっさんみたいだわ
……
どうした？
どうしたってお風呂入りにきたんよ
……
さっき…


ありがとね……
味方…してくれたんだね


別にそういうわけじゃないが
寺山修司もゆってたろ
コン


〝すべての若者は家出をすべし〟――とかってさ
……
寺山…誰？
……


この宿……嫌いか？
…んなわけないじゃん
嫌いなら…手伝いなんてしないよ

でも…あたし高校は一応街まで通ってたの
だから…街のことだって一応知ってるんだ

友達と帰りに買い食いしたり
買い物したり
AIZAWA
やっぱ楽しかったし……
だから…

…だからさ

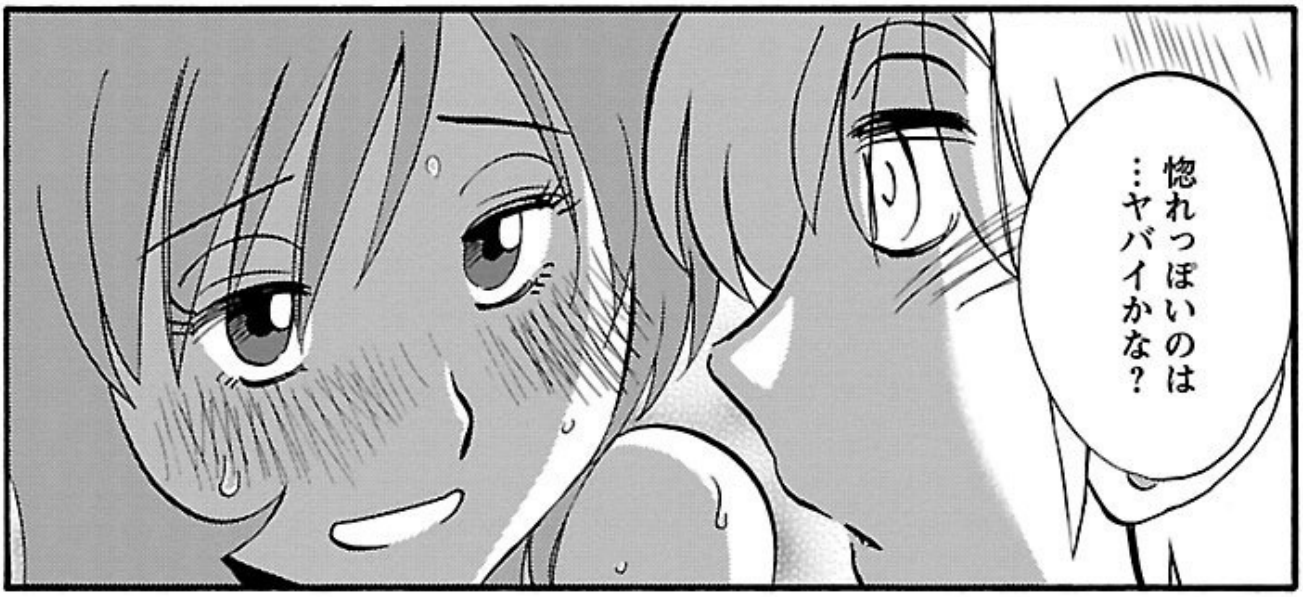
私の十代…二十代こんな山奥だけで終わってくの

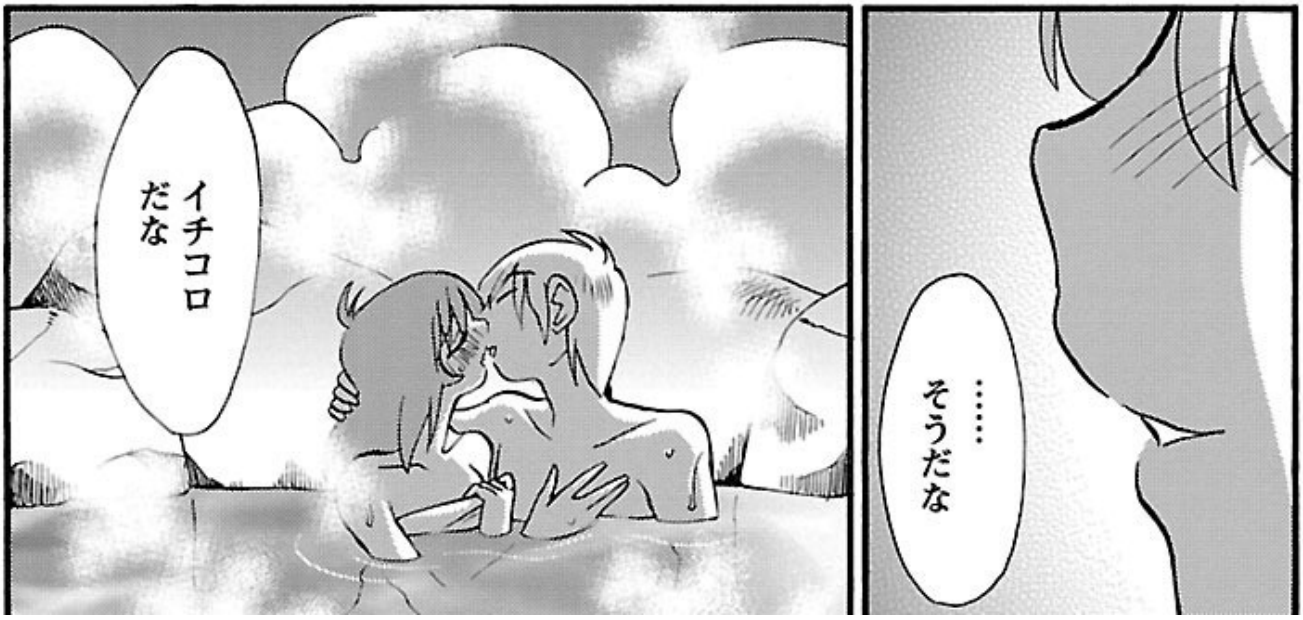
さみしいよ

かわいいな——お前

フッ

ねぇ…
街で暮らすのにさ…


惚れっぽいのは…ヤバイかな？


……そうだな
イチコロだな

はっ
ピチャッ
パシャ
チャポ…
あっ
はぁ
やっ
あ
チャポッ
あはっ
ピチャ…

はっ
あっ
はぁっ
はっ
あ
まずいかな…温泉の中で…
ん…
平気だよぅ
うちの温泉ナメンなよー
湯量すごいんだから……ッ

朝までに全部
あ
入れ替わっちゃうから……!!
はっ
はっ
……初めてじゃないんだな
あん
へへっ

高校ん時ちょっと…だけ……ね

あっ

でもあん時より全然きもちいい……ッ

はっ

露天風呂
露天風呂は
男女入浴し
熱湯が至るところに
湧出してあり、やけどに
注意して下さい。
飲酒はお控え下さい
ルール

ドキ
…
ドキ
~~~~
ドキ

やっぱ…
出てくの？
…うん
お母さんには
悪いけど

一緒に
温泉に…!?
あの子…！
そっか…
~~~~

まあ世の中見てくるといいさ

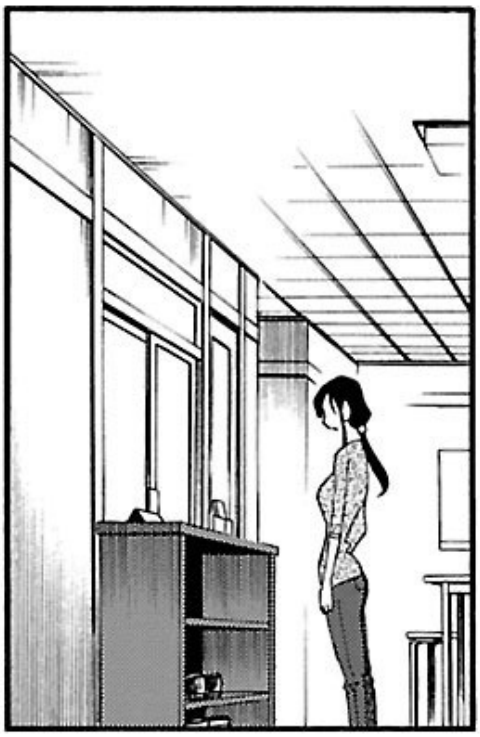
ただ…さ忘れんな

この宿お前の家

本当にイイとこなんだぜ

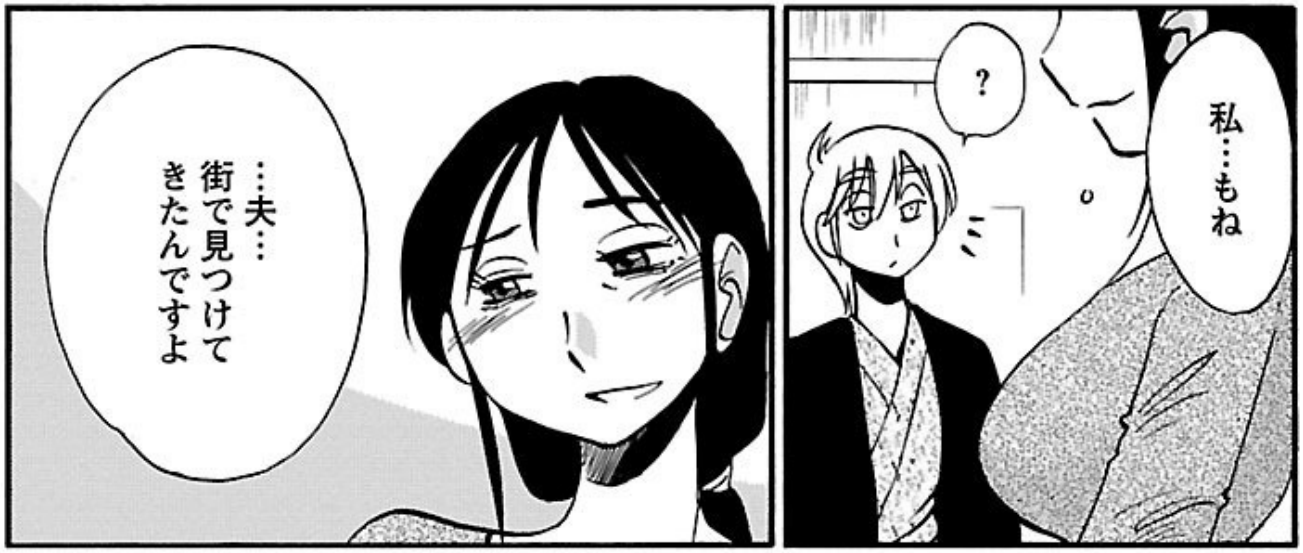
…うん！

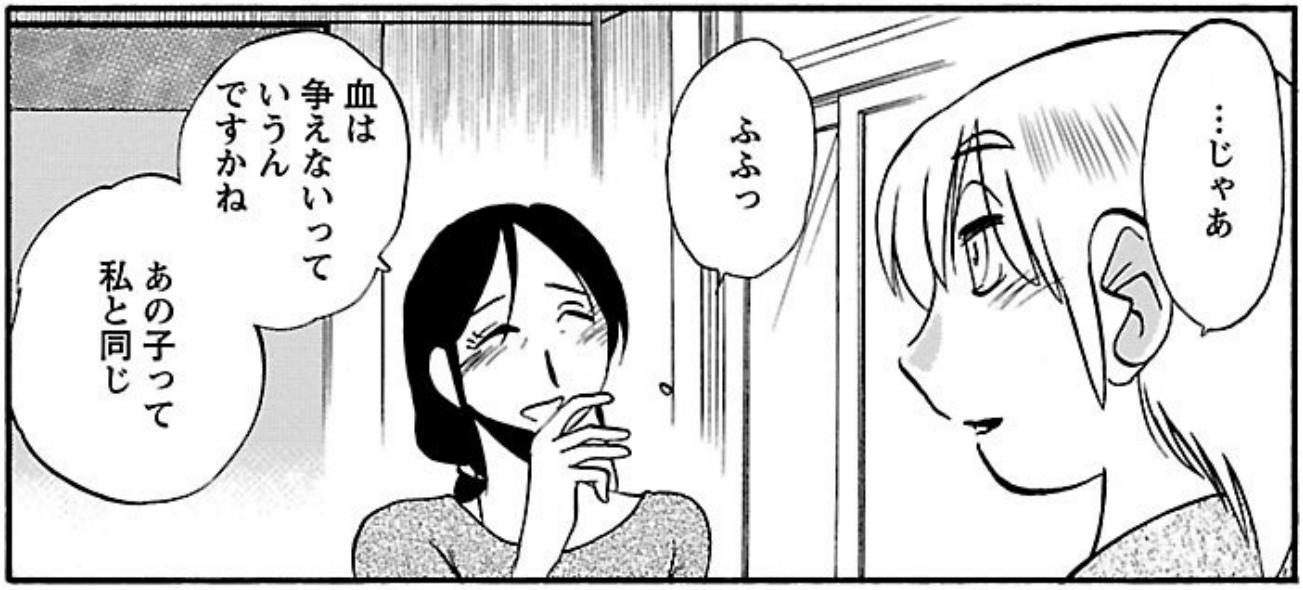
鬼温泉



…仕方ないです…わね

行っちゃいましたか
お客さん


私…もね
?
…夫…
街で見つけて
きたんですよ


…じゃあ
ふふっ
血は
争えないって
いうん
ですかね
あの子って
私と同じ

…戻って
きますよ
きっと
いつか
ええ
そうだ…
お客さんは
……?
発ちますの?

いや…ここの湯は気持ちいいんでね
もう少しお世話になろうかな
そうですか…
……

あの…
ん？
ゆうべ…
はい？

…いえ
なんでも
朝食にしましょうかね
——ええ
旅館 白兎温泉

第四泊／完

えっ！
内湯
あっ
あら！
内湯
こちらは
内
案
混浴とな
ご
ご注意く
やだ！

外湯じゃなかったんですの？

外湯と中湯で湯が違うって教えてくれたじゃないですか
それに外は虫が多いからこっちに…って
……どうしようかしら
ここは全部混浴でしょう？
女将さんが尻ごみしてちゃいけないなぁ
へっ…平気ですよっ

ただ…
こんな年増女
お目汚しかと
思って

ちゃぷ…

何を
そんな

キレイな肌だ

……あんまり見ないで…恥ずかしいですわ…

ちゃぷ…

言ったじゃないですか

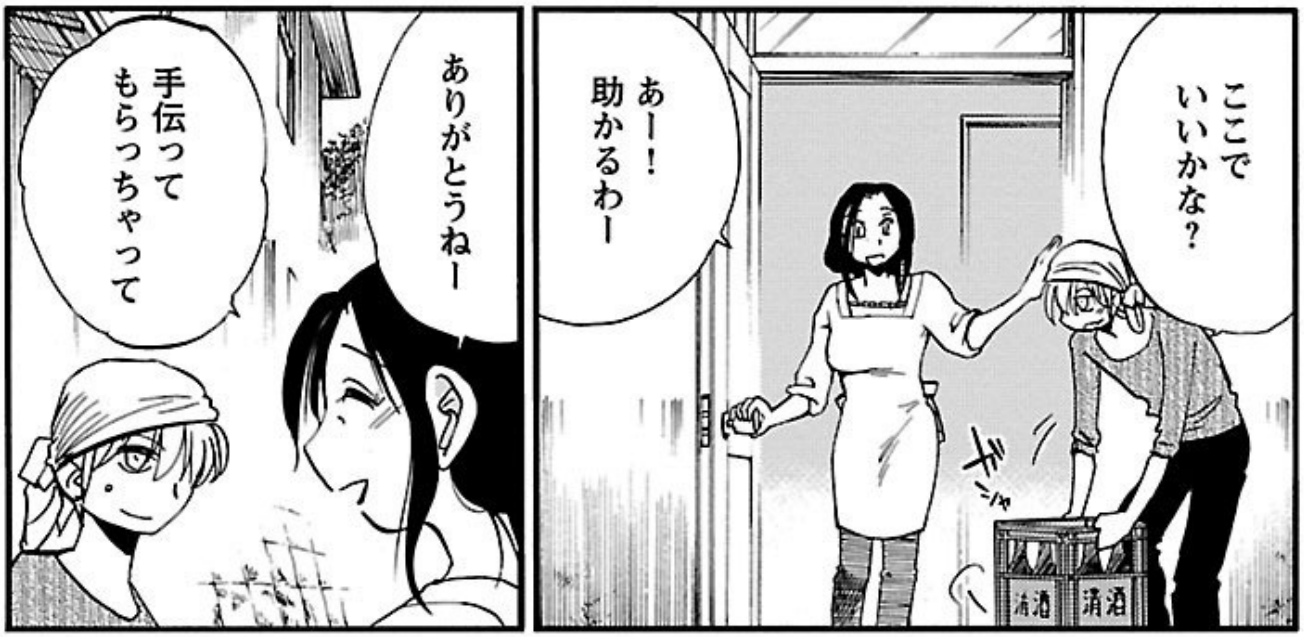
えっ

女将さんみたいな人が

こんな山奥でもったいない——って

——夕方

あ！それこっちでーす！


ここでいいかな？
あー！助かるわー
清酒
清酒

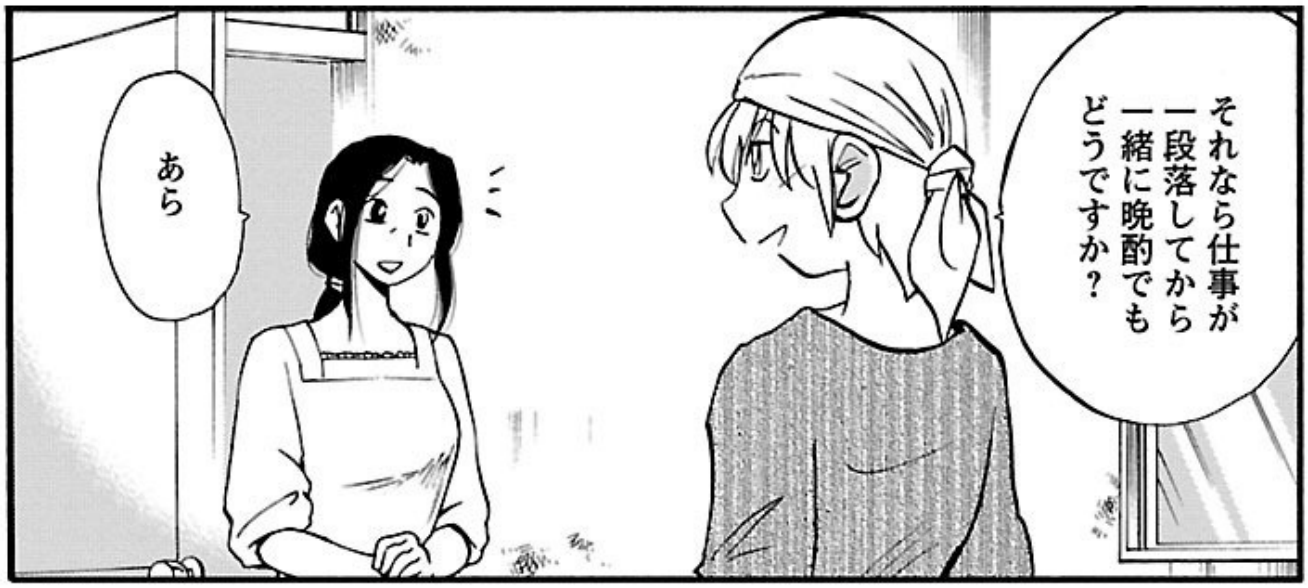
ありがとうねー
手伝ってもらっちゃって

長逗留で体もなまってたしちょうど良かった

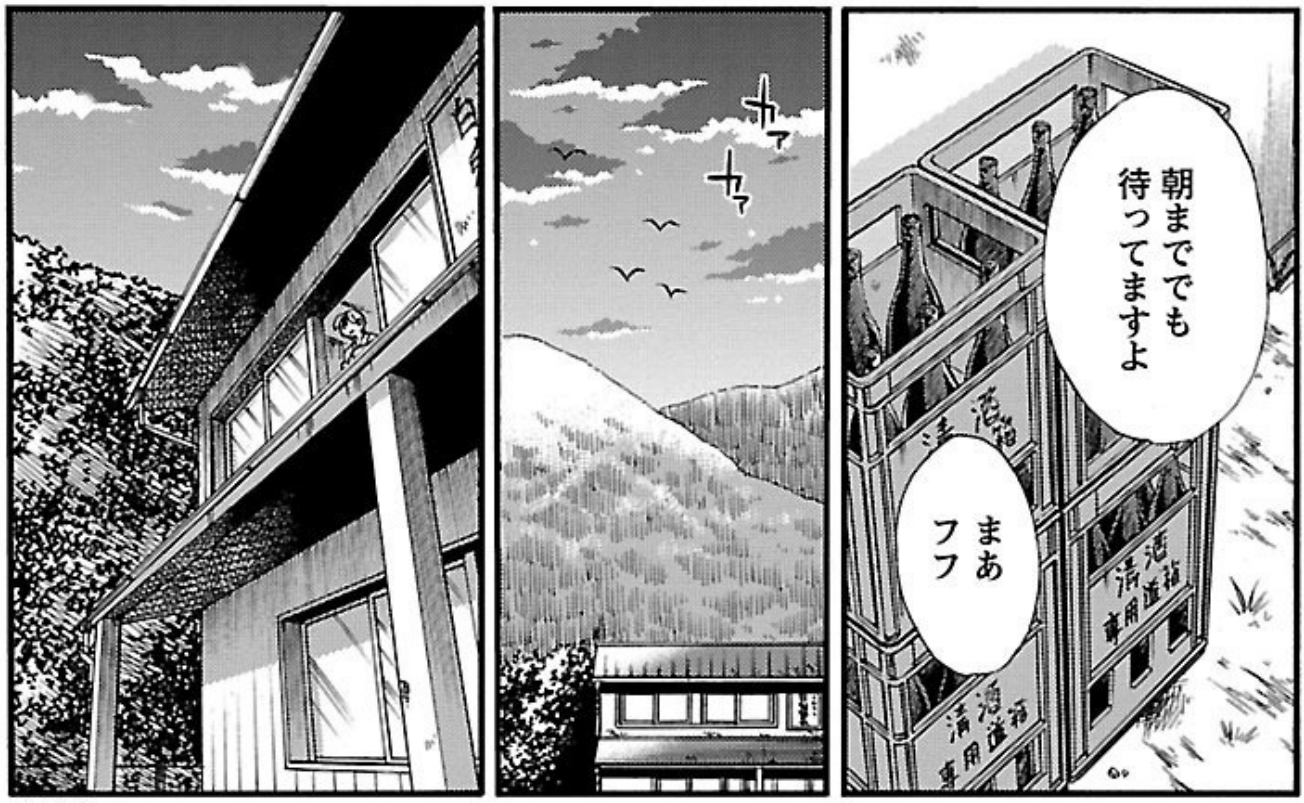
それに娘さんが出てったきっかけの一端は僕にもあるからね

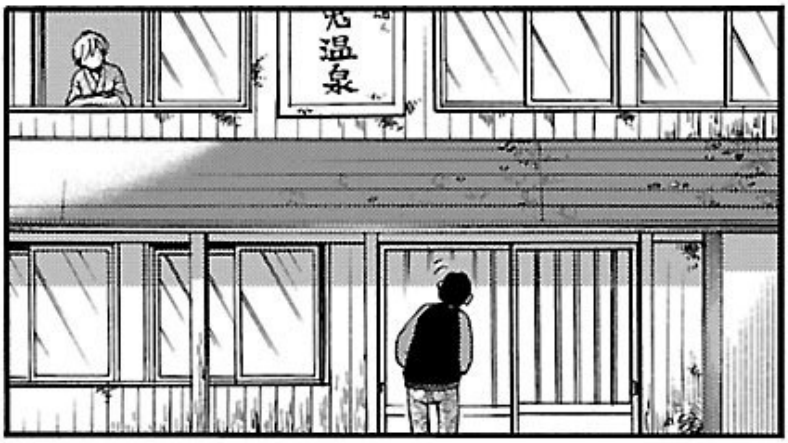
あの子は…どっちにしたって出ていったんですし…気にしなくても

でもほんと助かったわありがとう
夕飯時にお酒でも一本持って行きますわ


それなら仕事が一段落してから一緒に晩酌でもどうですか？
あら

一人酒にも飽きてきたんでね
今夜は四組いらっしゃるから遅くなりますよ？
それでもよければ


朝までででも待ってますよ
まあフフ
カァ
カァ


温泉

カラ…

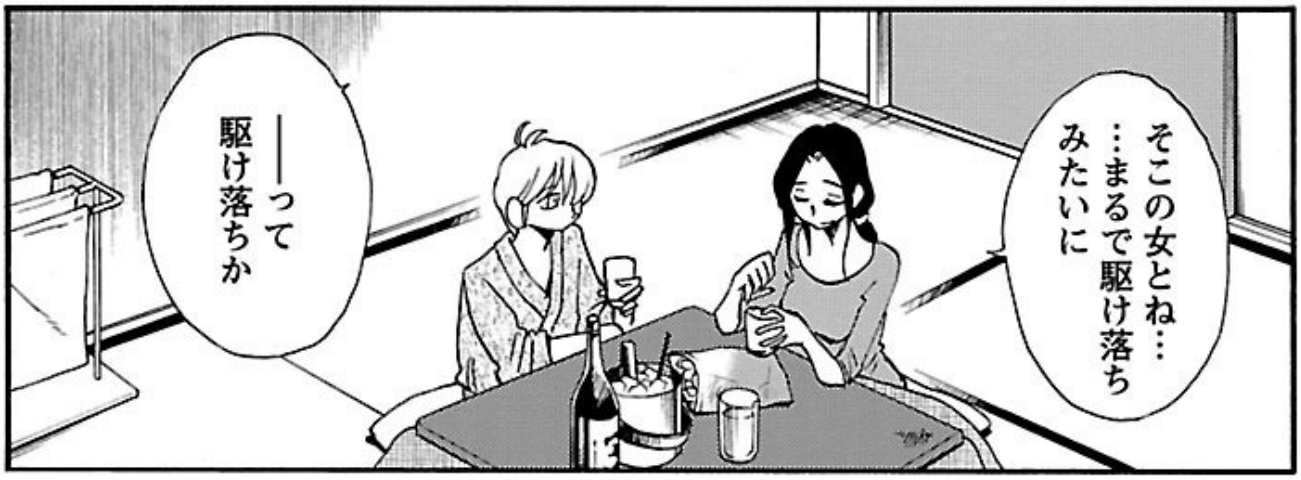
客…じゃなさそうだな
中を窺ってる…？

…
白兎温泉

！

……
一応知らせとくか…
え？
旅館の中を覗いて…？
ええ
ちょっと気になったんでね
一応お知らせしておこうかと
……
その人…青い…ジャンパー着てました？
ああ！そうです
お知り合いで？
…夫…ですわ

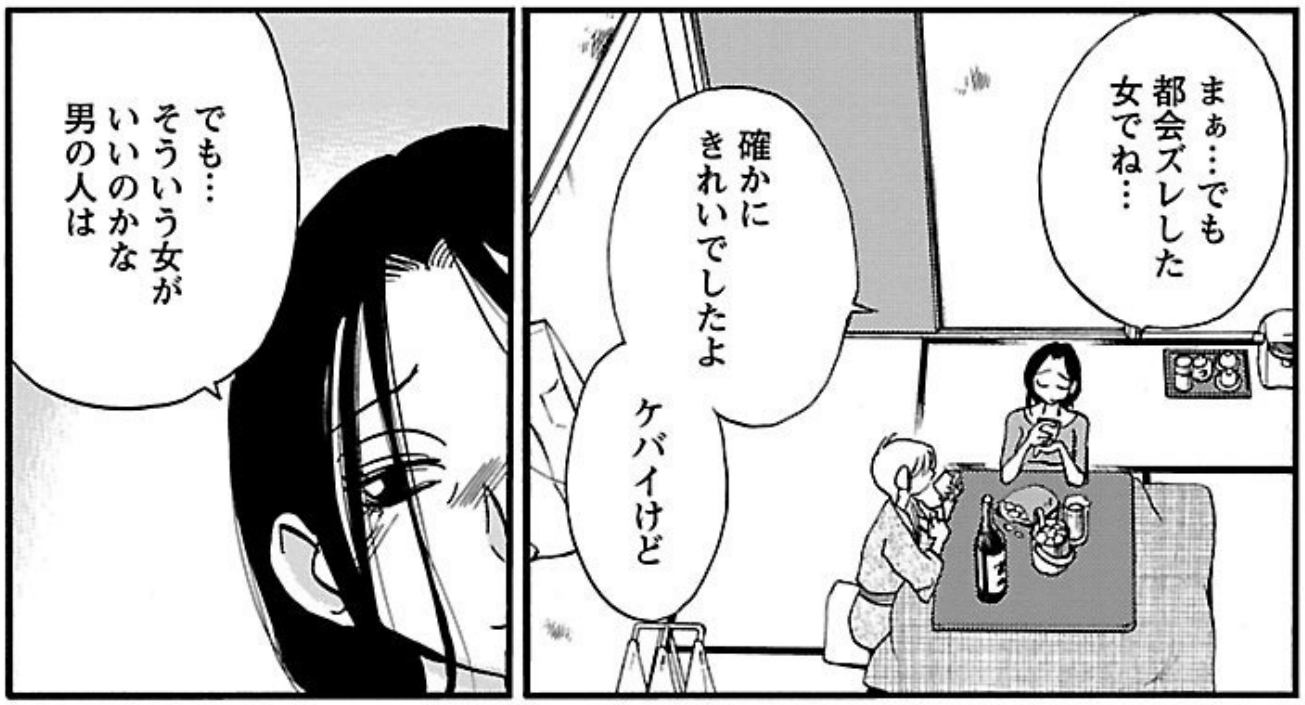
この村にもね
1～2軒
スナックが
あるんですよ

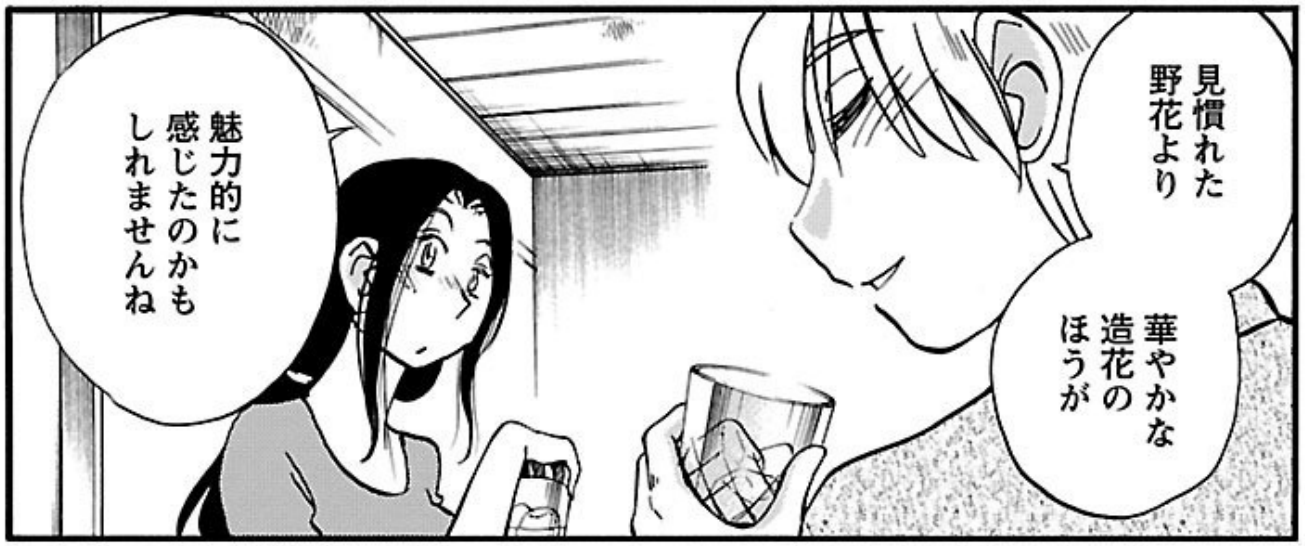

そこの女とね…
…まるで駆け落ち
みたいに
――って
駆け落ちか

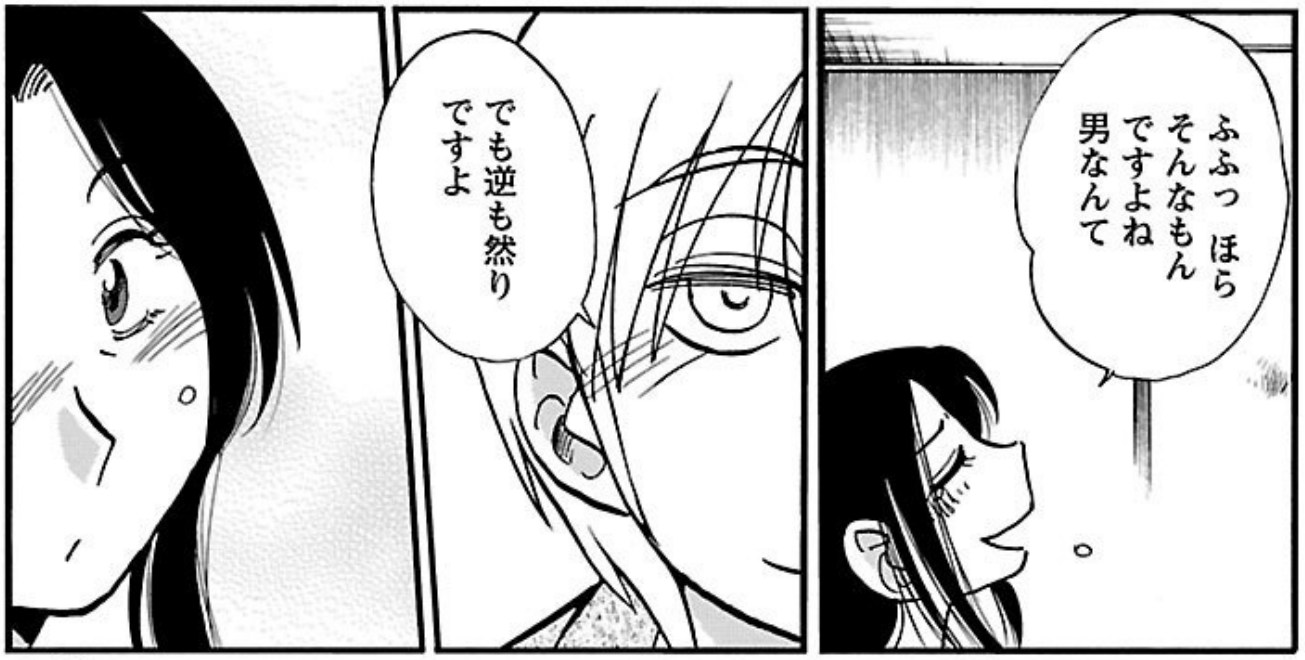
…実は
少し前にハガキが
来たんです
こっちに
帰っても
いいかって

女と…
切れたん
でしょうね…
でも…
だからって…

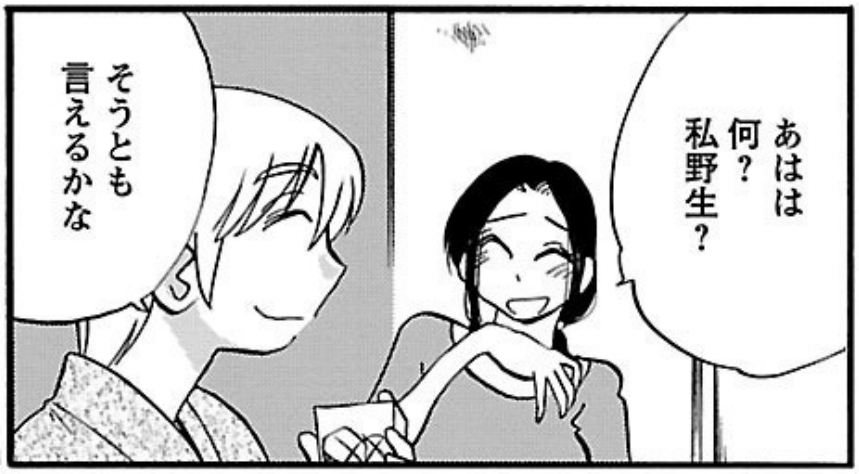
そんな
都合の
いいこと!!
クッ


まぁ…でも都会ズレした女でね…
確かにきれいでしたよ
ケバイけど
でも…そういう女がいいのかな男の人は


見慣れた野花より
華やかな造花のほうが
魅力的に感じたのかもしれませんね

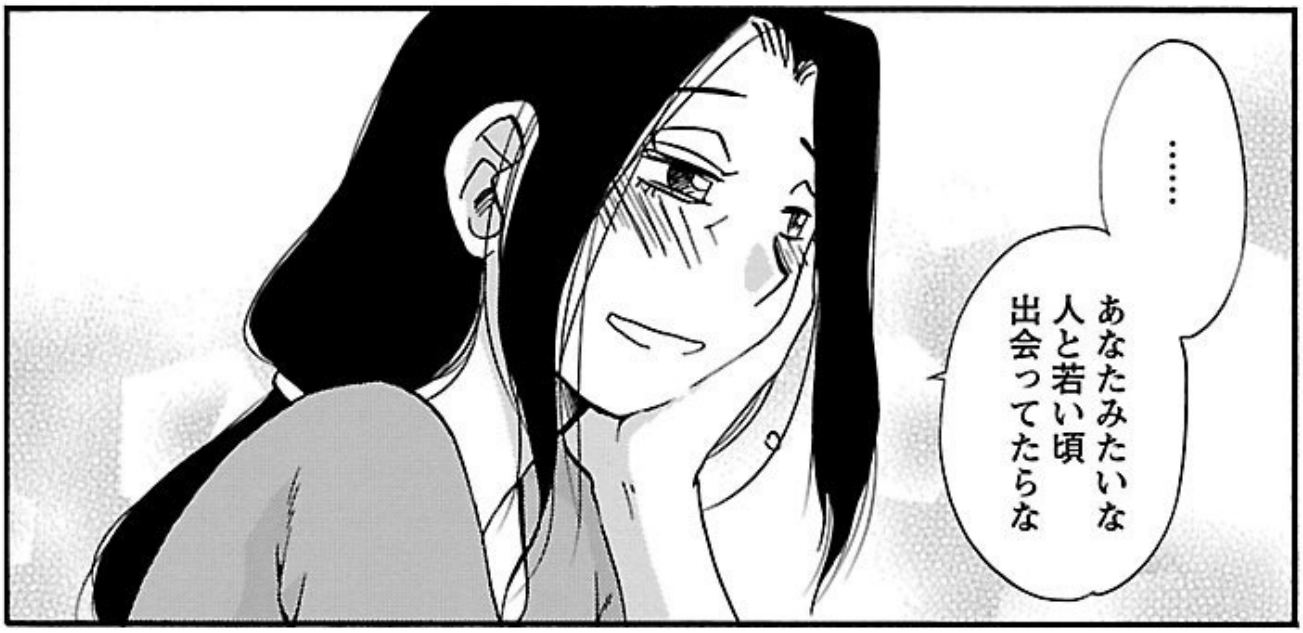

ふふっ ほらそんなもんですよね男なんて
。
でも逆も然りですよ
。

野に咲く花
僕は好きです
けどね

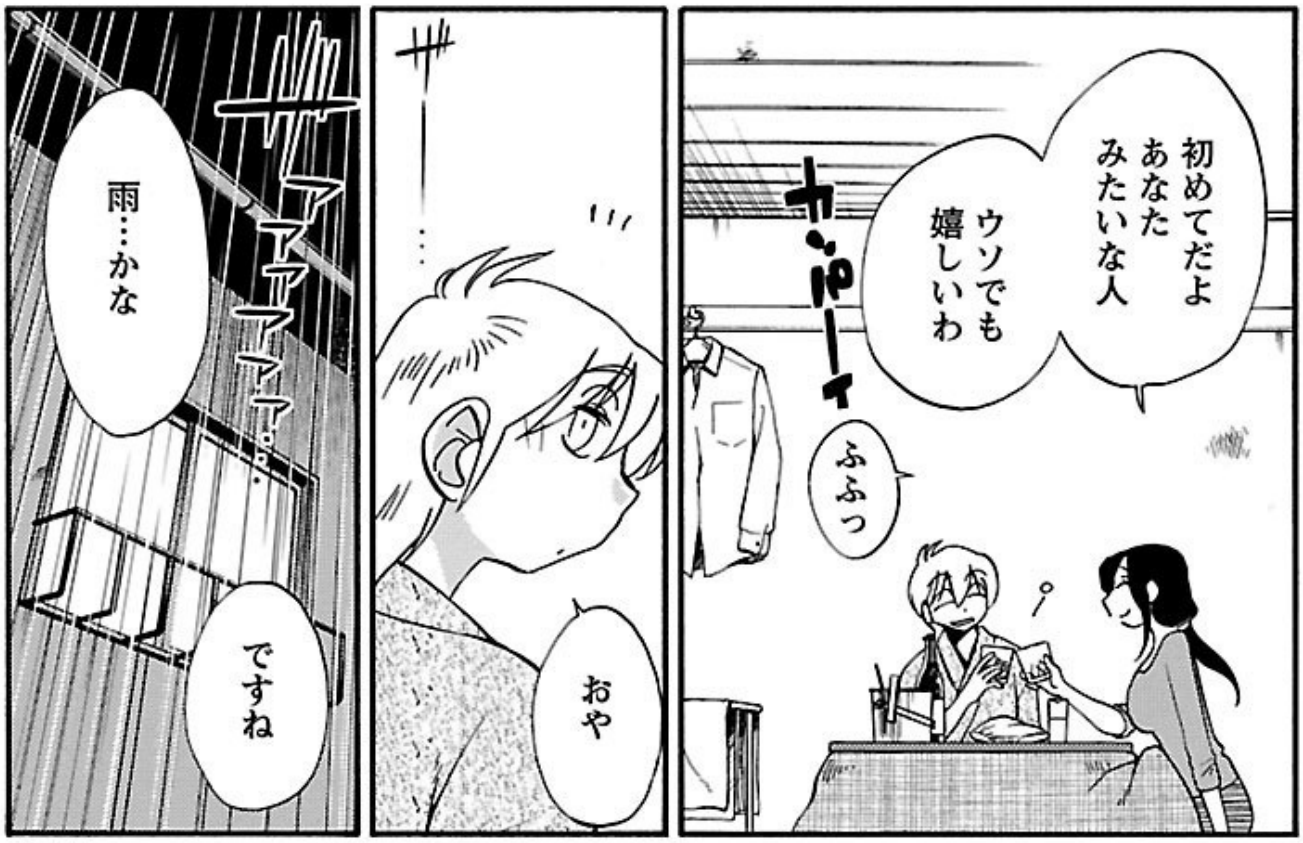

あはは
何？
私野生？
そうとも
言えるかな

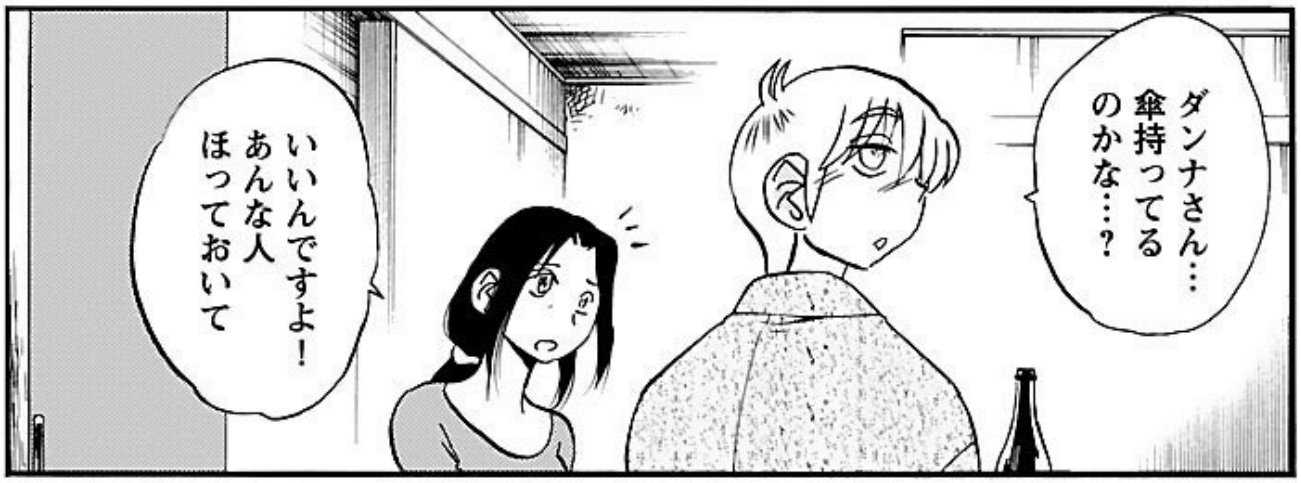
もったい
ないよね

飾らずとも
美しい花も
咲いているのにね


……
あなたみたいな人と若い頃出会ってたらな

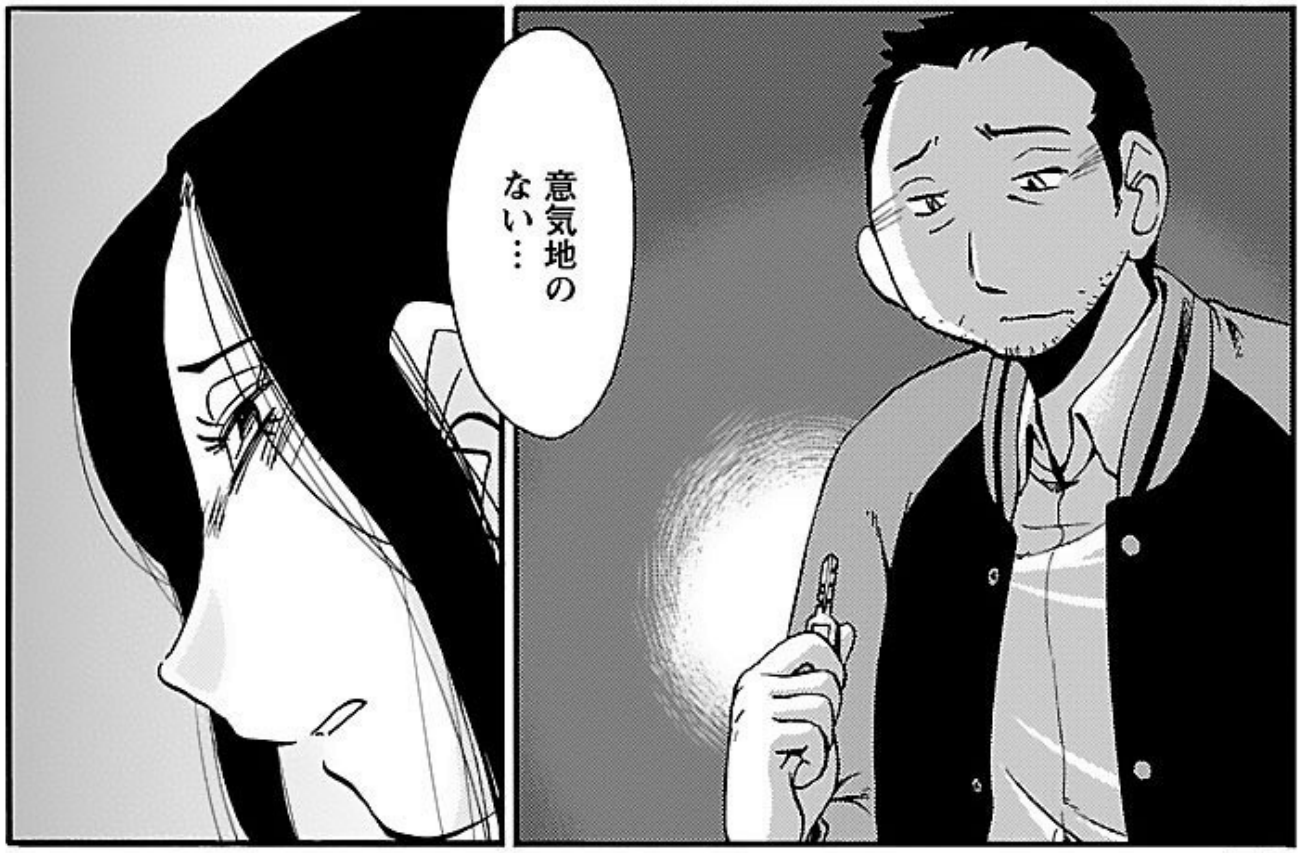
そういう台詞くれるんだったら
軽い男でも許せたのに

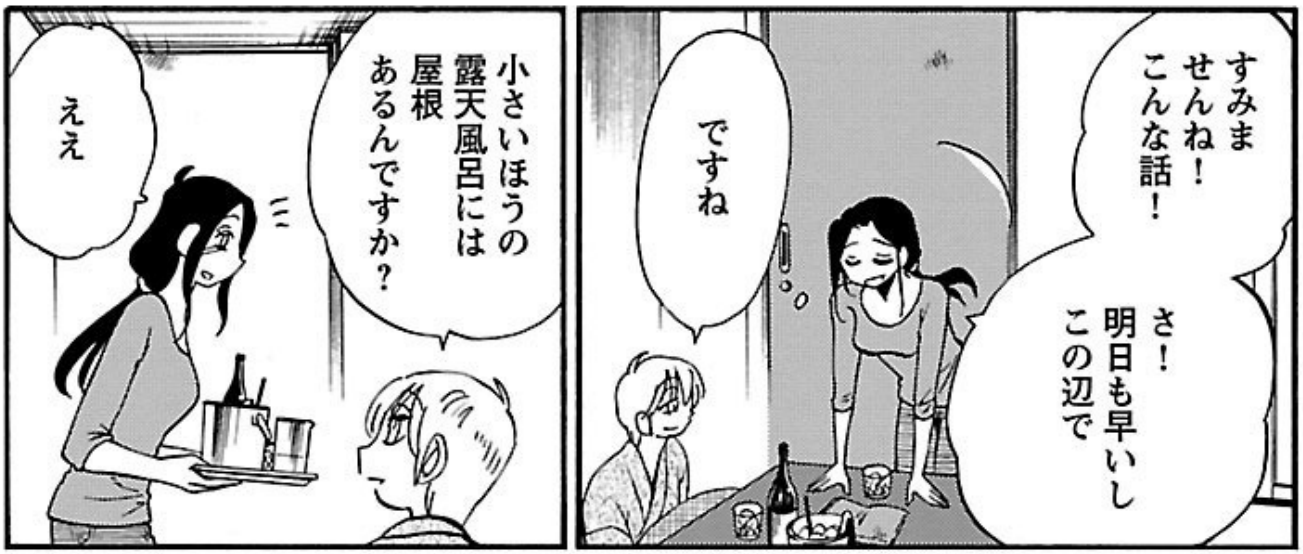

初めてだよあなたみたいな人
ウソでも嬉しいわ
カーピーイ
ふふっ
……
おや
アアアアアアー…
雨…かな
ですね

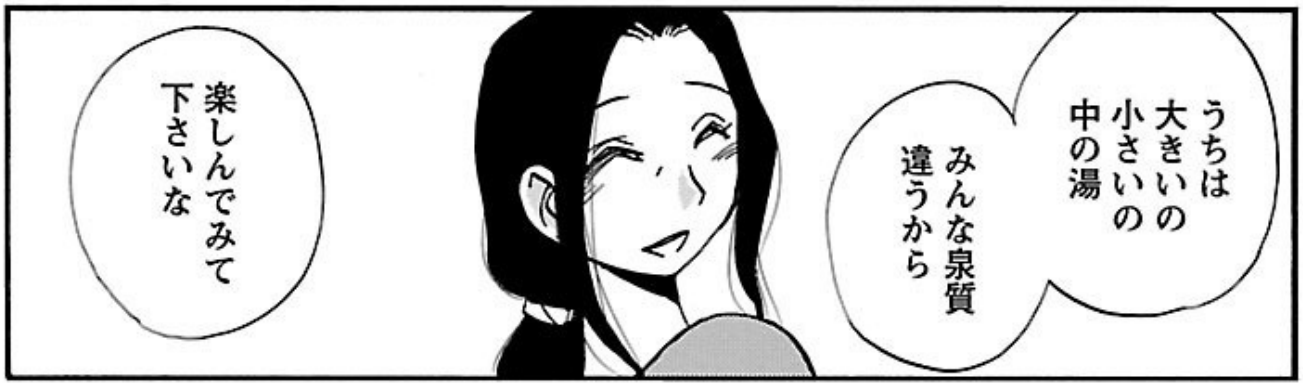

ダンナさん…傘持ってるのかな…？
いいんですよ！あんな人ほっておいて

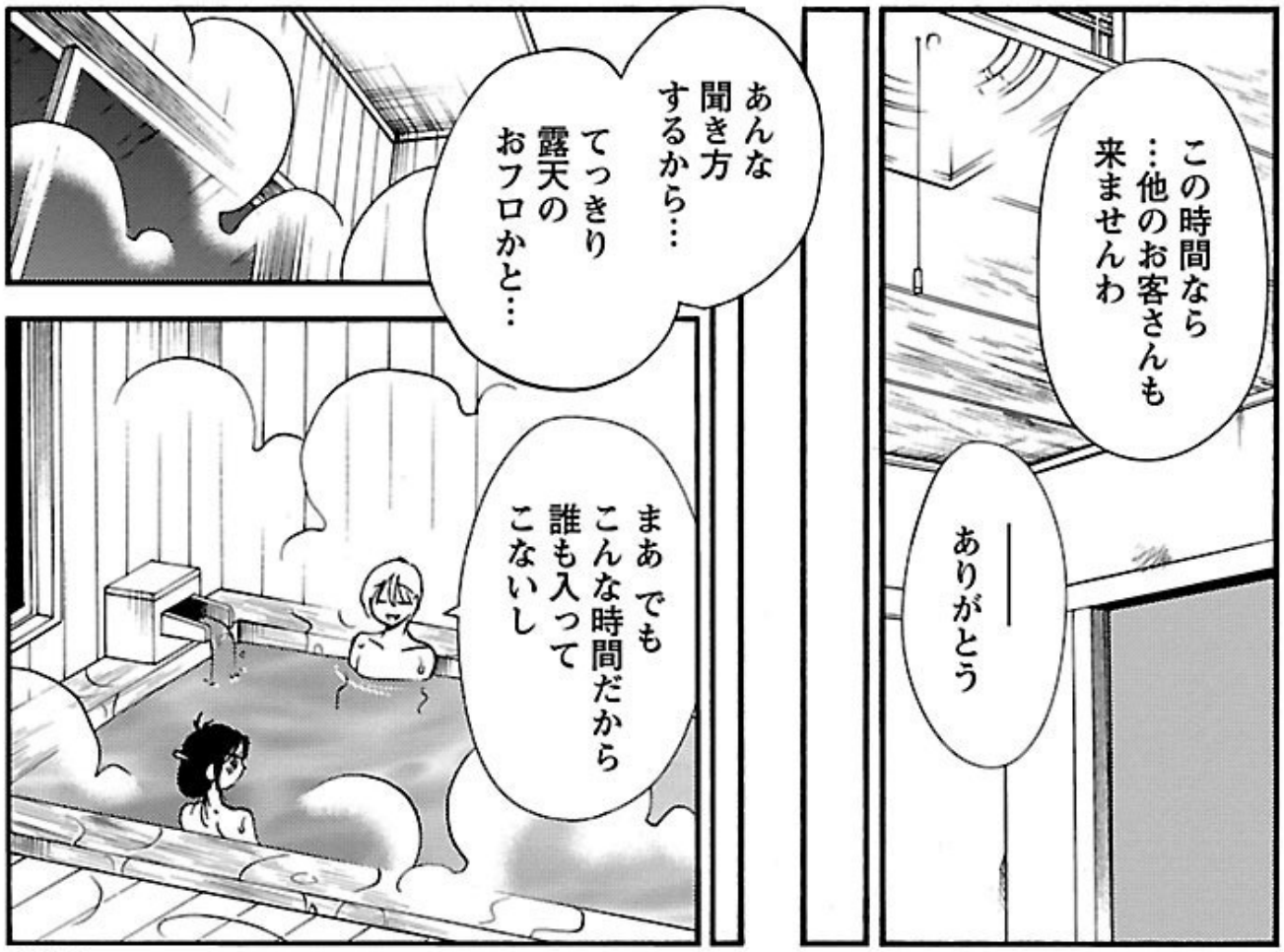
それに多分…
まだこの家のカギ…持ってるでしょうし…
困ったら…勝手に入ってきますよ
カギを？

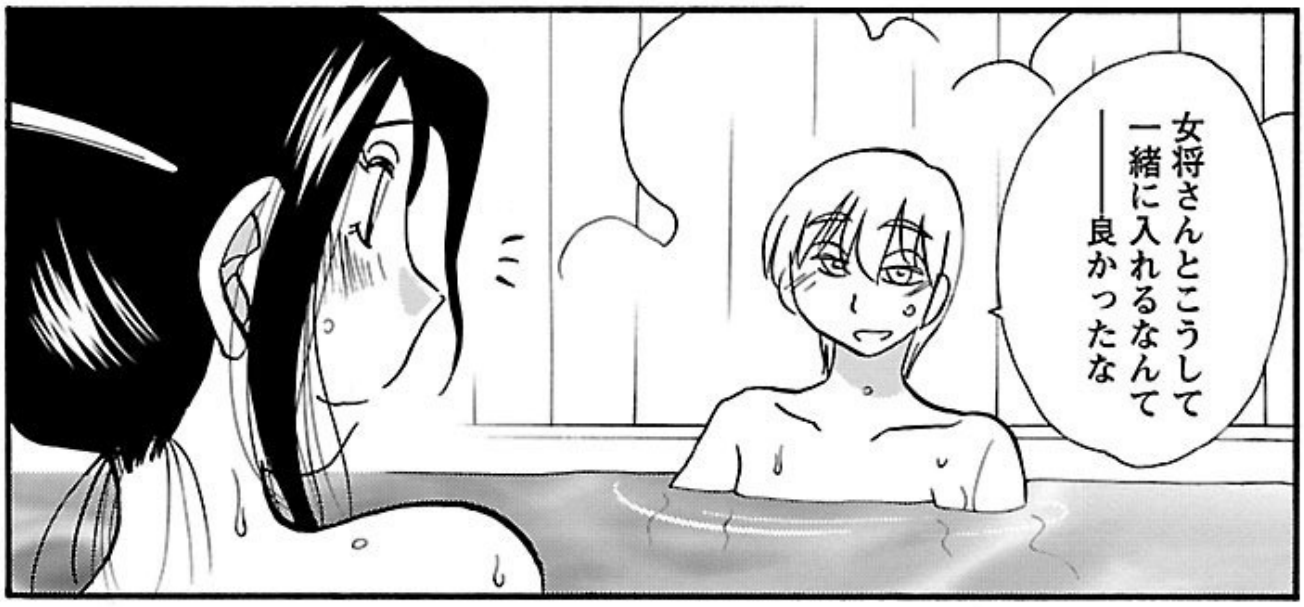
そんな人なんです…
勝手に出て行ったクセに…家のカギを捨てることもできない…
ゴン

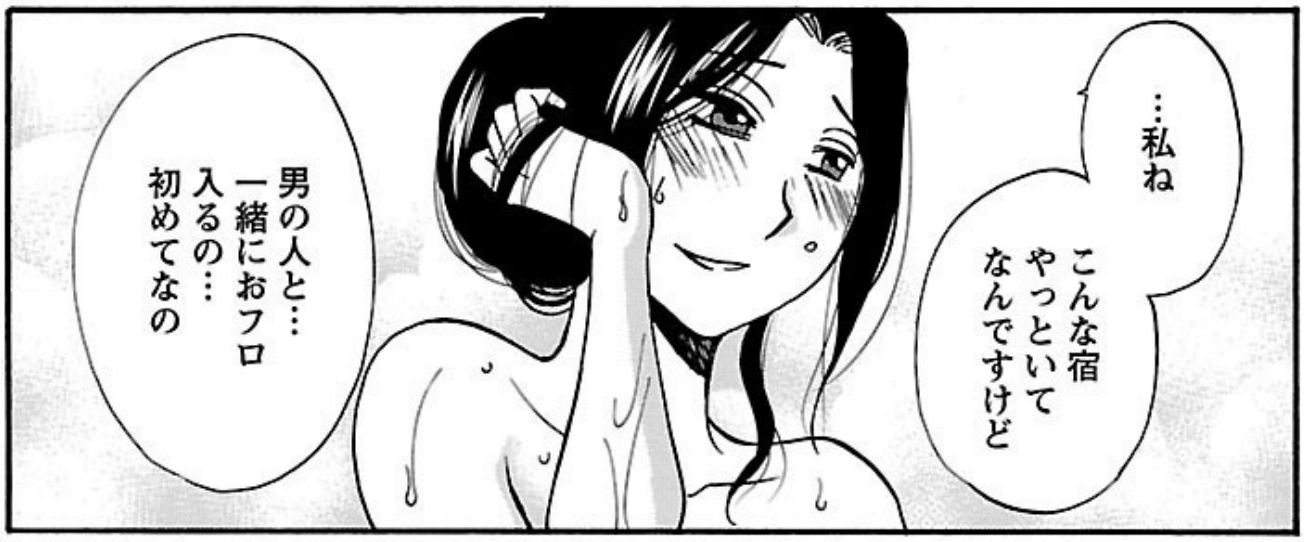

意気地のない…


すみま せんね！ こんな話！
さ！ 明日も早いし この辺で
ですね
小さいほうの 露天風呂には 屋根 あるんですか？
ええ

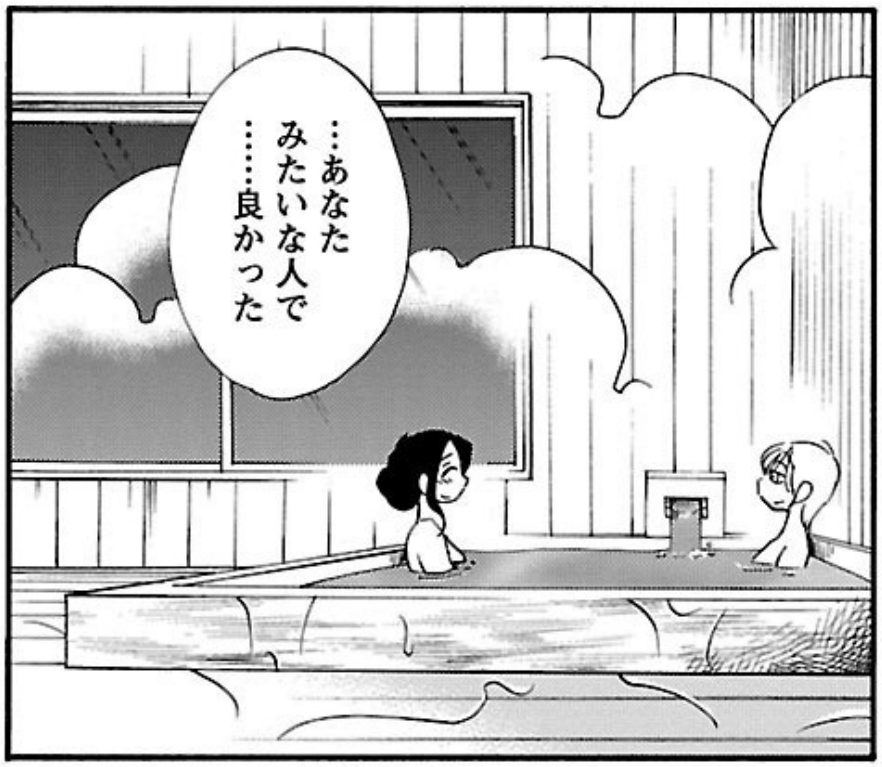

うちは 大きいの 小さいの 中の湯
みんな泉質 違うから
楽しんでみて 下さいな


この時間なら …他のお客さんも 来ませんわ
ありがとう
あんな 聞き方 するから… てっきり 露天の おフロかと…
まあ でも こんな時間だから 誰も入って こないし

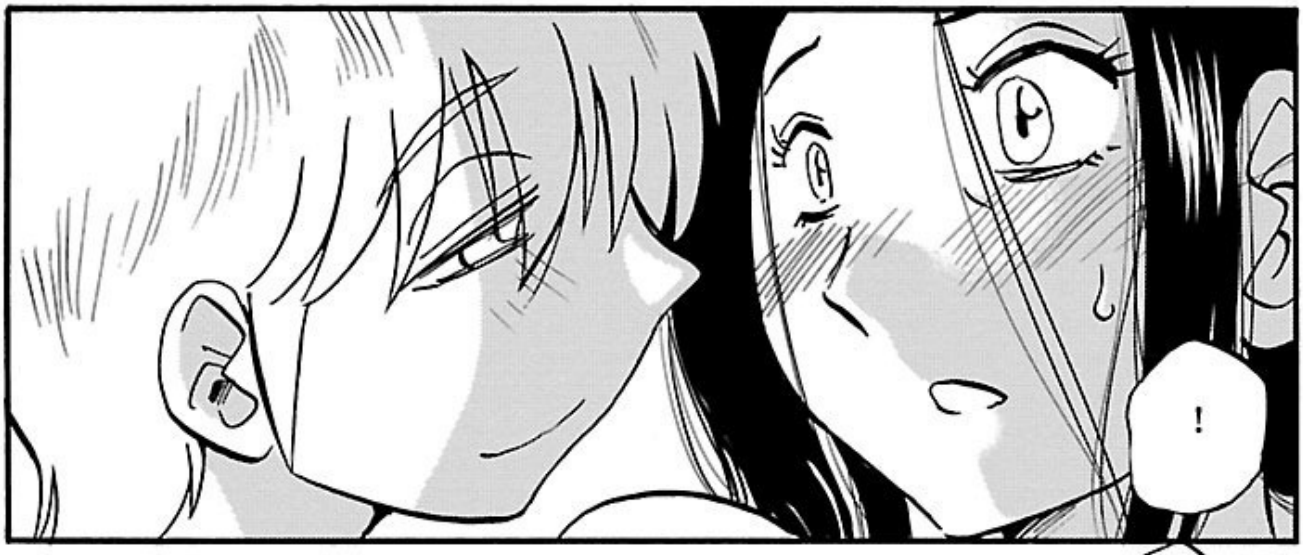

女将さんとこうして一緒に入れるなんて――良かったな


…私ね
こんな宿やっといてなんですけど
男の人と…一緒にお風呂入るの…初めてなの

でも…
なんだろうな…


…あなたみたいな人で……良かった

そっち
行ってもいいですか？
ドキ
ちゃぷ…


！

む…
娘の…

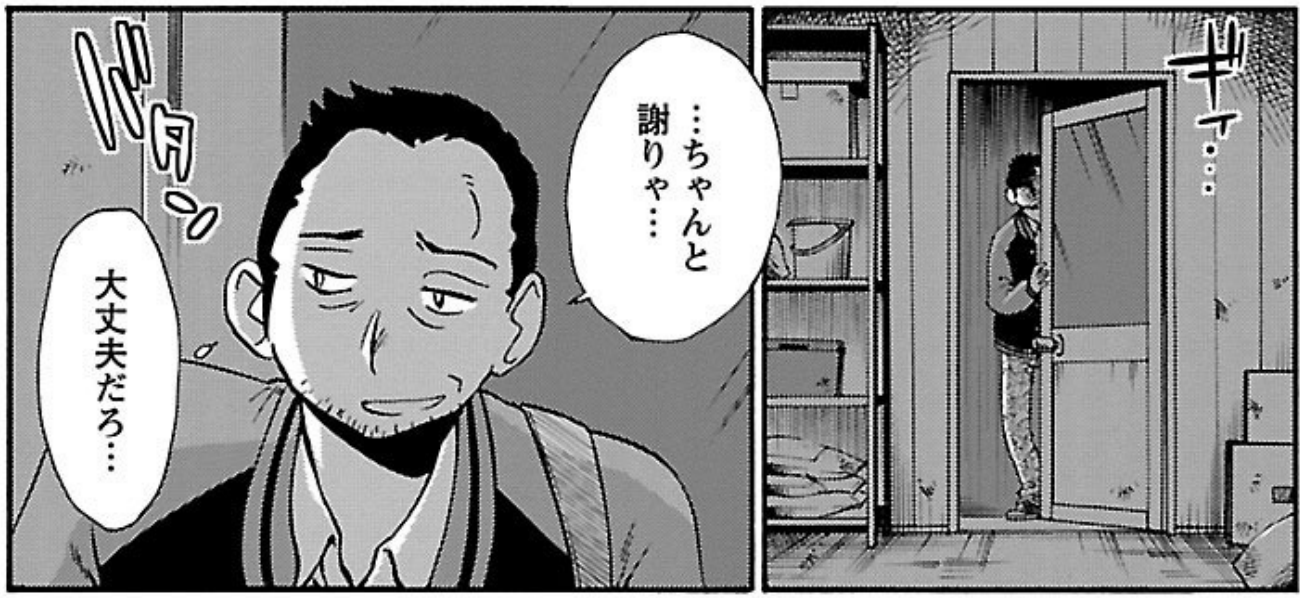
娘の…肌も…
見たでしょう…？

あ…あれに
比べたら…
私のこんな
…齢のいった
身体なんて…

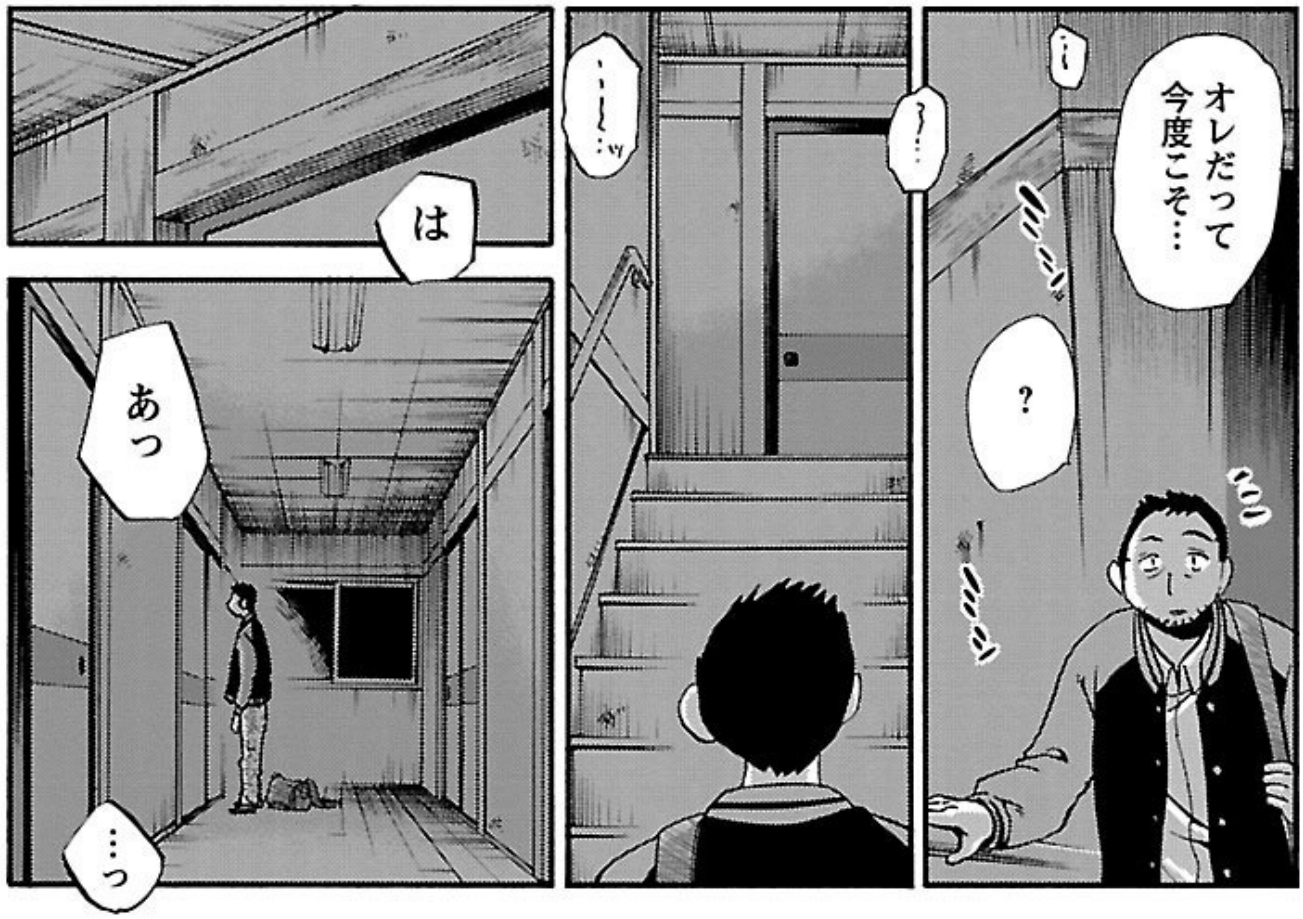
恥ずかしくって
……

ビチュ…
――あ…
より
やわらかくて
やさしい
肌だ

は…
あ…
でも…
だめ
ここじゃ…
グイ…
他の
お客さんが
…来たら…
だから…
私の…
部屋に
……
ザアアア


ギィ…
…ちゃんと謝りゃ…
バタン
大丈夫だろ…

なんだかんだいってあいつ…
ミシ
ミシ
…ずっと一緒にやってきたんだ


オレだって今度こそ…
ミシ
?
ミシ
…
…
は
あっ
…っ

はっ
…クチュッ
んっ
んんっ
ピチャッ
こんな…の
触ったの…
久しぶり
すごい…
かたい…
はっ
…チュッ
ん…
恥ずかしいわ
…こんなこと
いい齢して
……
はっ

あっ
——ああ…
…
チュッ
あ
はぁ
はっ
はっ
——きれいだな
女将さん
はぁ
ゆきえと
呼んで…
かわいいよ
ゆきえさん
…ギッ
あ
んっ
ギッ
ギッ
ギッ
あっ
はっ

あっ
ああッ
んあっ
あはん
んっ
こんな…
わたし…っ

久しぶりなのに…
こんな声…ッ
あっ
あ
いいんですよ
はっ
思いっきり気持ちよく
声だって
は
んっ
あはぁんっ
ゆきえ…！
お前…
そんなに…
いやらしい顔したっけか……

そんなに…
色気のある
女だったっけ…か

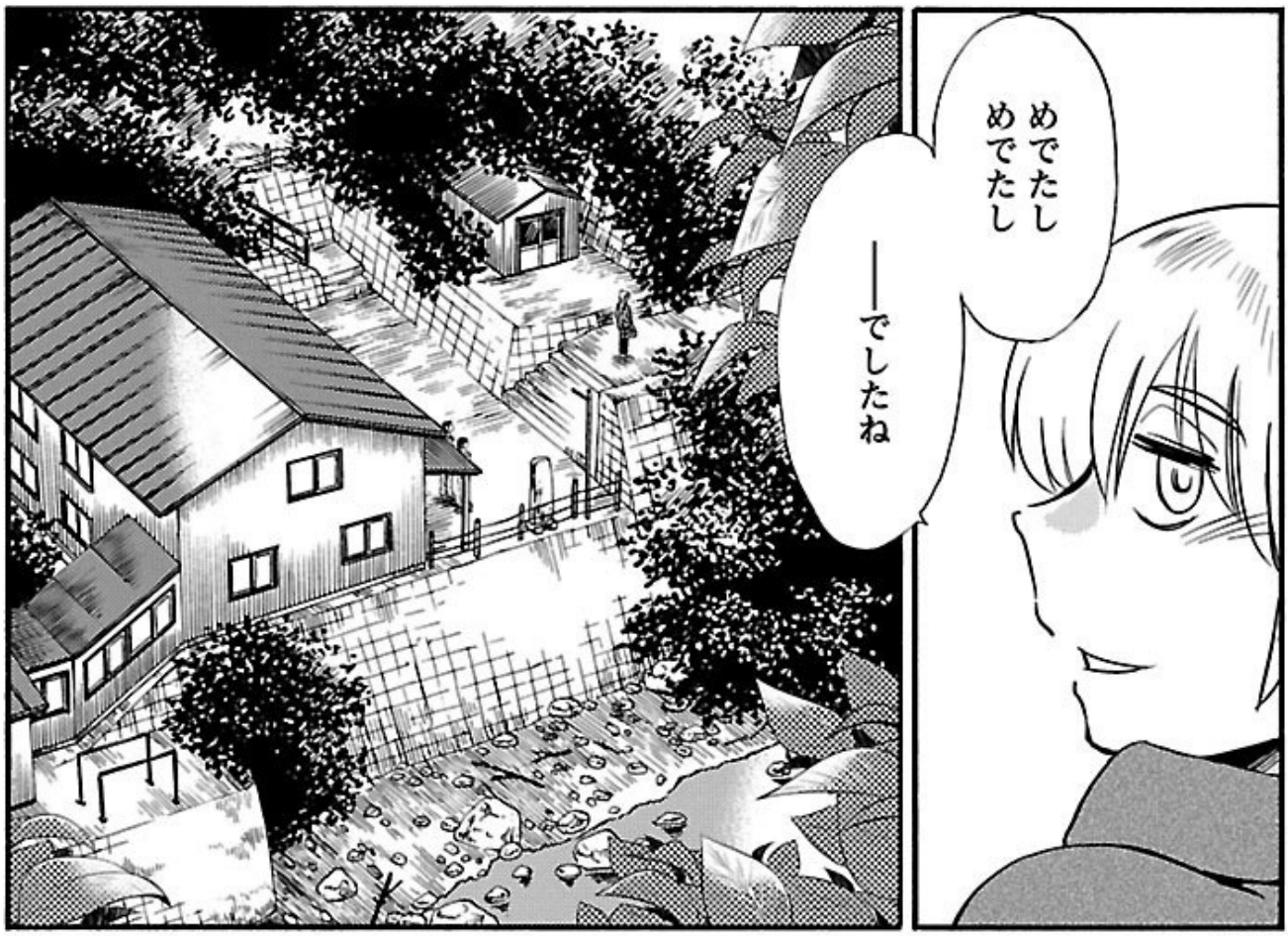
ああああっ

はぁ

はっ

は

あんまり深入りしすぎて
情が移っちゃってね
まあ
それとも…この宿をたたんで一緒に僕と行きますか？
いじわるね
そんなの…
ふざけんな！
！
この代々続いてきた宿は…ゆきえが守ってきたんだ
それなのにお前みたいなやつに何が…



第五泊／完

おぶさんロス――

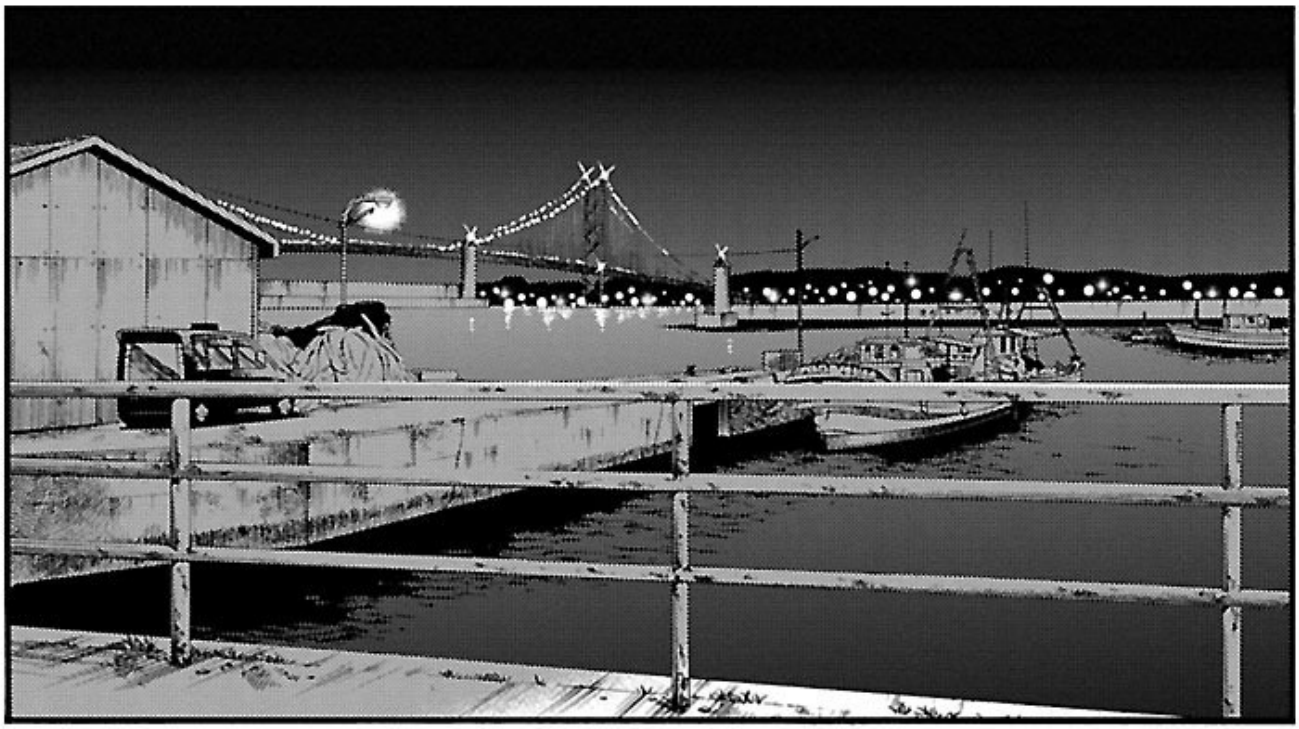
In the sequel…

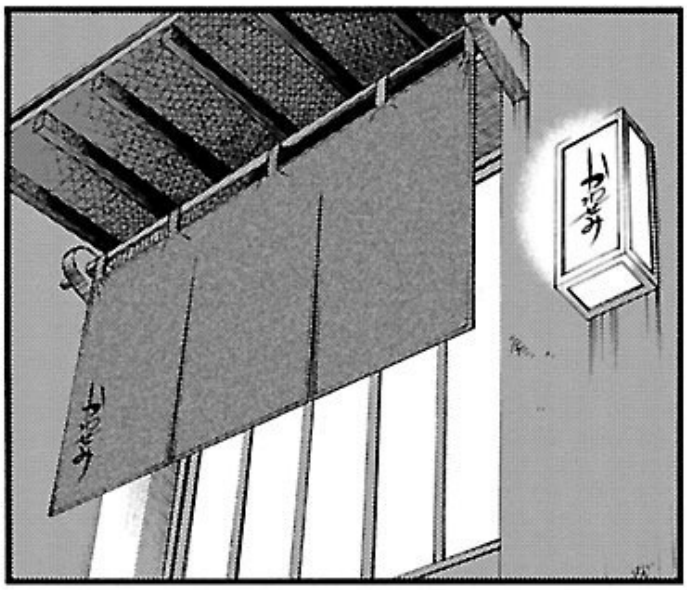
第三泊 淡水の離島

——モトサヤ。

In the sequel…

第四泊〜五泊 **富山県秘湯**





じゃあ
裕弥の帰郷に
カンパーイ
カンパーイ
——って

何回乾杯するんだよ！お前ら！

なんべんでもええがな！

なにしろ六年ぶりやさけェのー

しかも東京で一旗あげてのガイセンやしなァ

だからそんないいもんじゃないって…

結局会社潰して帰ってきたわけだしー

むしろ敗走…

そんでもワイみたぜ！

二〜三年前雑誌で裕弥の単独インタビュー載ってたやろ？

あー…そんなこともあったっけ

こんな田舎の人間がよォ
あんなメディアに出るゆうだけでエライこっちゃで！
まあそりゃそうかもしれないけど……
ごめんなさいねにぎやかで
いえ！全然！
いいですよね同級生の再会ですか
ええ 私もよく知らないんですけど——あのカレ
東京のITの会社か何かで結構成功してたらしいですよ
あー……

そういえば見たことあるような…ないような…

ねー

それにしたってオレにしてみりゃお前らにびっくりだよ

二人共ミニバンとか乗っちゃってさ

おぉ

昔はバリバリ走り屋やってたくせに落ち着いちゃってさー

そらそうやろガキおるとなァ

そーそーママの意向が第一やしなァ

あんまし燃費の悪いクルマも乗ってられんしなァ

子供の送り迎えもできんしなァ

そうかぁ…

みんな…落ち着いていくなぁ

ええやん お前もやー
ここ戻って きたんやし
のんびり すんのも 悪んないで

——うん…

そーそー そういえば
高山も 去年かな 帰ってきてんで
高山って… 高山景子？
おう

お前ら 付き合ってた やんな？
あー 昔なー なんで？

まあ
そのうち
会うかも
しらんし
言うとくけど
結婚して
子供おんで

そっか
――…
そりゃー

そうだよな―…

ほんならな！
また飲むぞ！
絶対やぞ！
わかった
わかったから
来週！
来週やぞ！
うん
うん
オレも！
オレもや！
絶対やで！

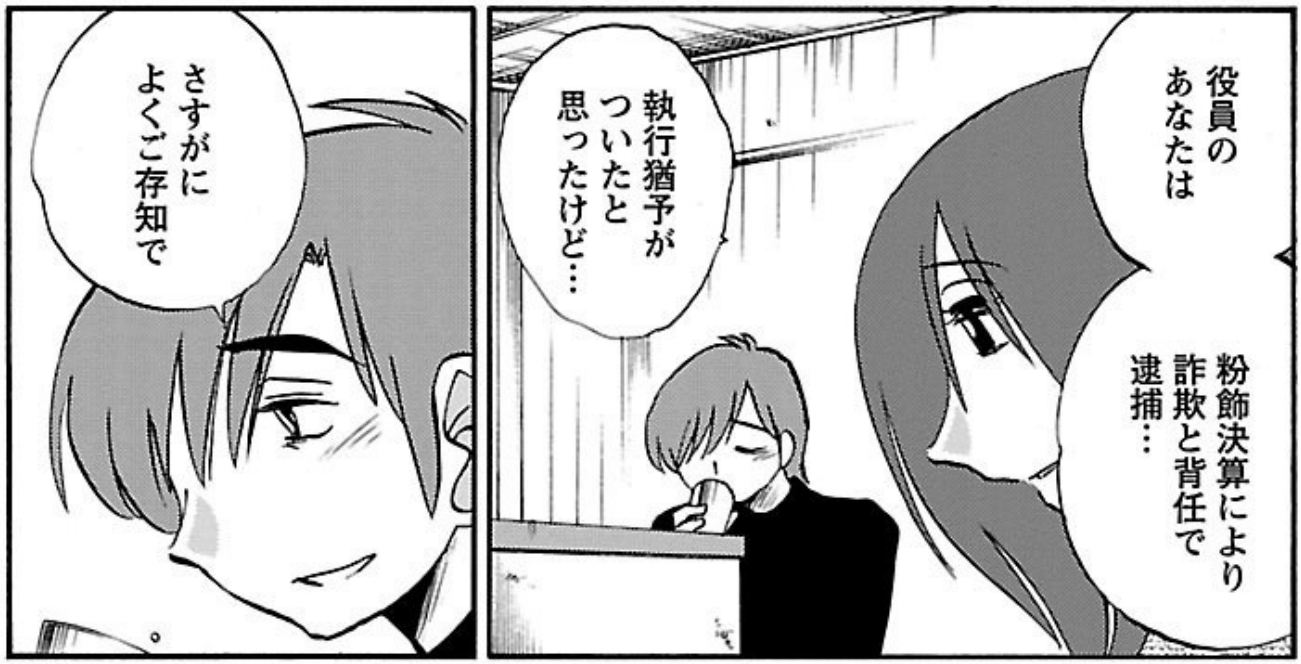
ガラガラ
すいませんねー うるさくしちゃって
ううん いいよー

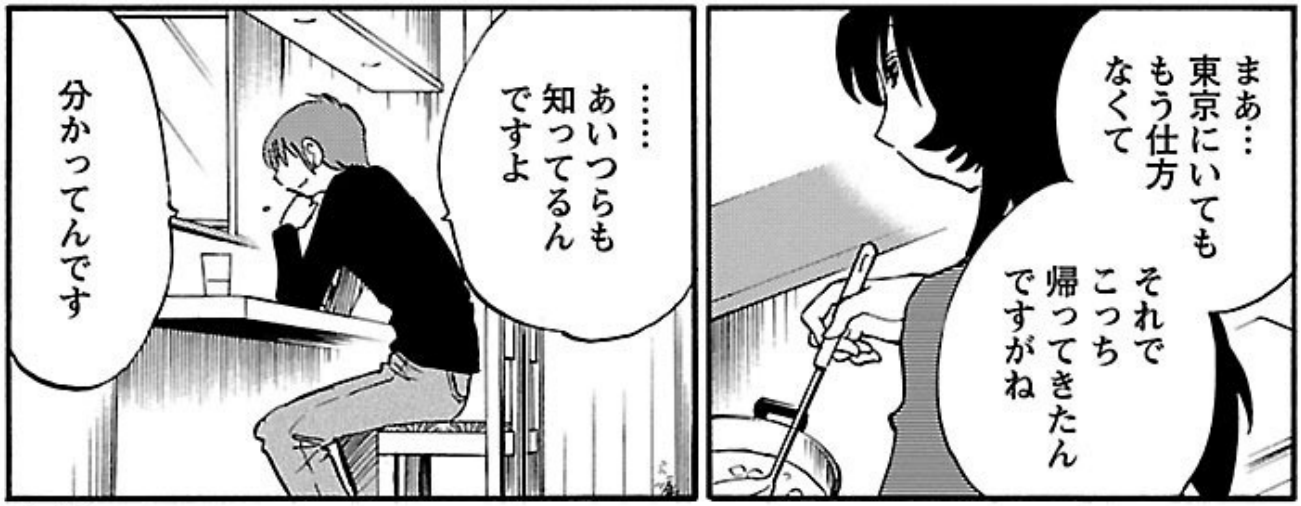
いい お友達ね
ハハ 小学校から一緒だったやつらで

お姉さんは旅行で？
うん まあ そんなトコかな
東京から？
ええ でも もう 半年くらい 旅ガラスで 戻ってないなー
うわー！ 寅さん みたいだ

ライター やりながら …まあ半分 趣味かなー
ライター… ってことは マスコミ 関係…？
じゃあ… ひょっとして 僕の名前…
モグモグ

柳…裕弥さんでしたっけ
大学時代にIT企業を仲間と立ち上げて
それが一年足らずで急成長一躍時の人に…
資産価値は数千億とうそぶくも…
アサヒビール
その後同業他社の追い上げにあったりで
焦っちゃったのかな
…


役員のあなたは
粉飾決算により詐欺と背任で逮捕…
執行猶予がついたと思ったけど…
さすがによくご存知で


まあ…東京にいてももう仕方なくて
それでこっち帰ってきたんですがね
……あいつらも知ってるんですよ
分かってんです

なんだろうな…でもだから
でもそんな素振り見せなくて…
ほんとは心の中で笑ってんのかもしれないし…
ハハッ

——あのお二人ね
前からよくいらしてくれるのね

あなたが帰って来るって聞いてからかな
確かによく話してたわ

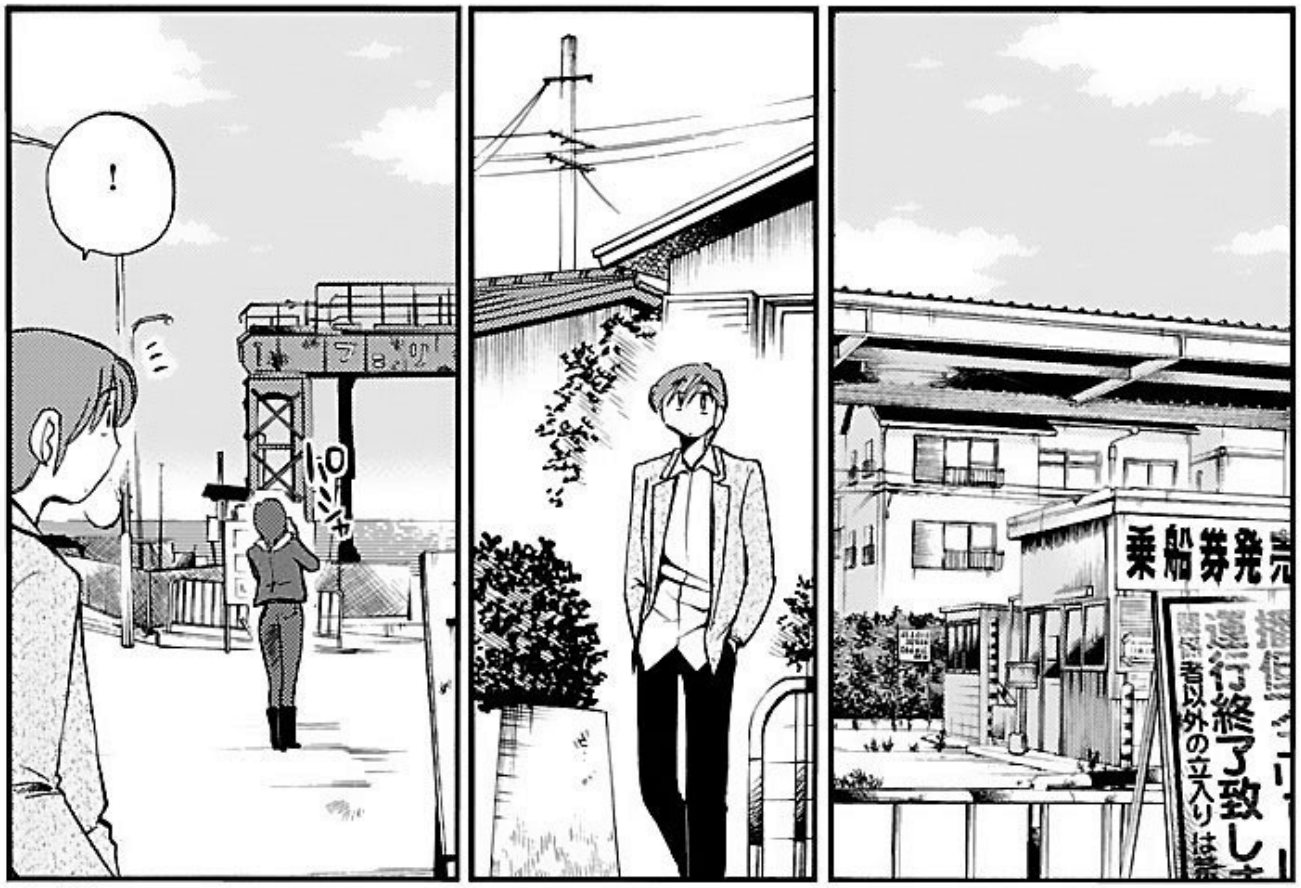
でも
〝あいつが戻ってきたらまたバカ話できるな〟

〝いろいろあっても〟
〝ごっち帰ってきたら関係ないし〟
〝俺の漁(しごと)手伝ってくれないかな〟

——って…楽しみにしてたわよ
まるで

兄弟でも帰ってくるみたいに
スネに傷を負ったからって卑屈になることもないんじゃなくて…？

ましてや…故郷の地なんだから


！
ドンッ
乗船券発売
運行終了致し

あれ？
夕べは どうも

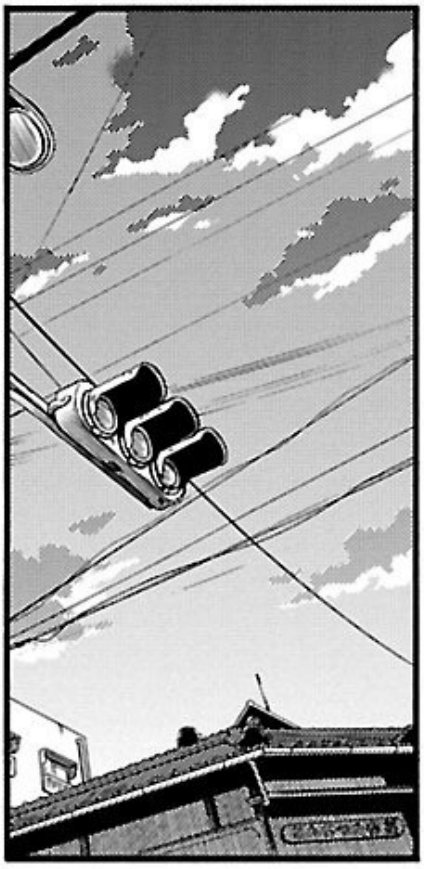
このフェリー…なくなっちゃったんですね
ねー
私が前来た時はまだあったのにな

変わっちゃうな——…この町も…島も…

……
多分
どこもそうなんだよ
田舎っても絶えず変わり続けるもので

でもさ久しぶりに帰ってきた人間には
どかーんと変わったように見えちゃって
だから…

戸惑っちゃうよね…
進入



えっ
ええんかなっ
はっ
あ
あん
お家で
こんなんっ
大丈夫…
お父ん…
仕事で朝まで
帰らんしっ
ギッ
ギッ
あっ
ほんま
……？
ギッ
ギッ
あっ
おう
やん
朝まで
おって
ええの？
あぁっ
ギッ
ギッ
んっ
ゆう…っ
ギッ
ギッ
ゆうや…っ
あっ
ん…
はっ

なぁ…ほんまに東京いくん……？
うんあっちの大学しか選んでへん
やっぱ東京やろ
ほっかー

うちかて大阪出て行くけど…
東京は遠いなー
大丈夫やって
新幹線で三時間やし！

せやな！がんばろな！
おう！
遠距離なんぼのもんじゃい

結局…一年も経たずに自然消滅だったな
あいつが人の妻…か
あれ
おや

よく会うねー
ねー

ひょっとすると運命…？
は？

ちょっと君に興味出てきたから
それは…

ニュースソースとして…？
あの人は今…的な
ははははっちがうちがう

一人のオトコとして

なんだかなー
フフフ
あー！ユウヤ！

！

うわー こんなとこで 会うかぁー
ひっさしぶりー！
景子…
あの二人から えらい聞かされ とってやー
おー
そのうち 会える かなーて 思ててんけど
こんなトコで なぁー
あ…そっち 彼女さん？
え？
ちゃう！
ちゃうよ！
ハハ 旅のもので ございますー

聞いたよ
なんや大変やってんな東京で
あー…
まあ…ねいろいろ
お恥ずかしい

でも…なんも元気そうやん
そお？
うんよかったわ

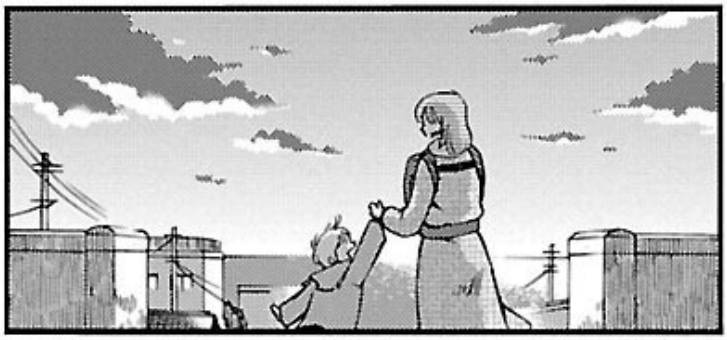
上が男の子で下が女の子？
うん まおとゆき
ほっかー
こんちわ

…ママに…なったんやなぁー
……
なあ

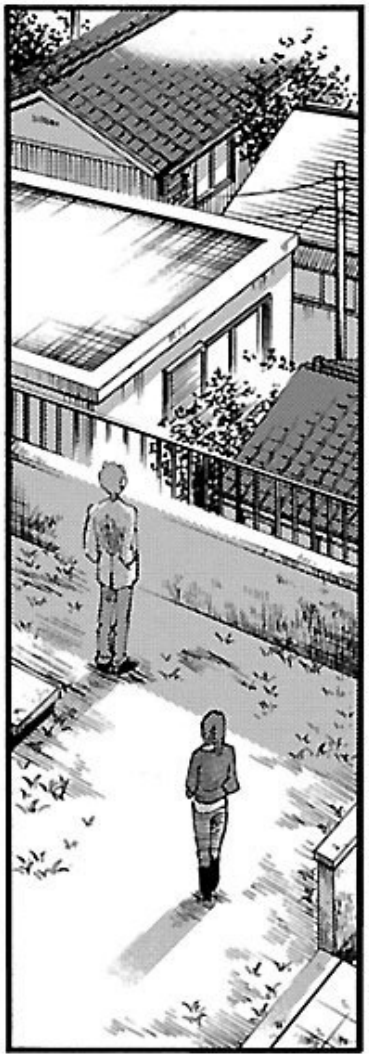
ええやんな帰ってきたんやし

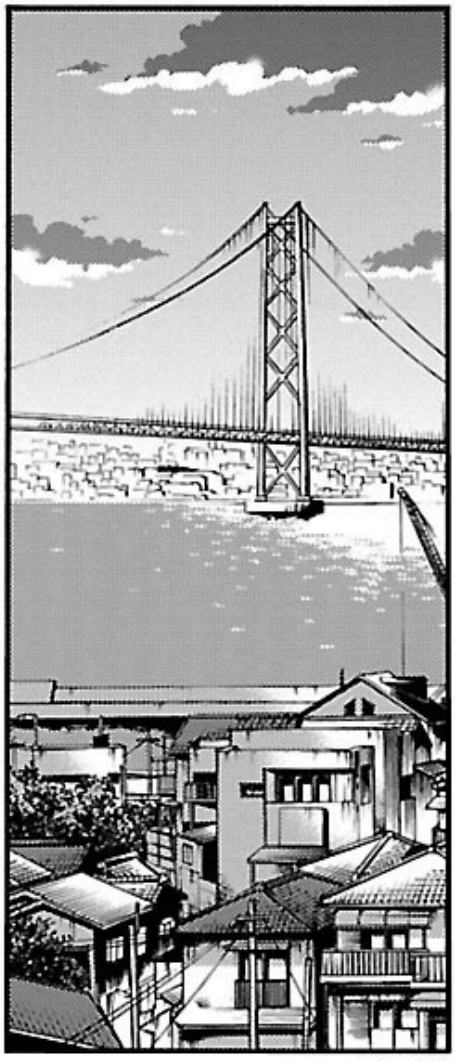
またがんばろな

ほな
また
そのうち
家にも
遊びにきてな
ああ
ほんなら



みんな
やさしいね





そっか

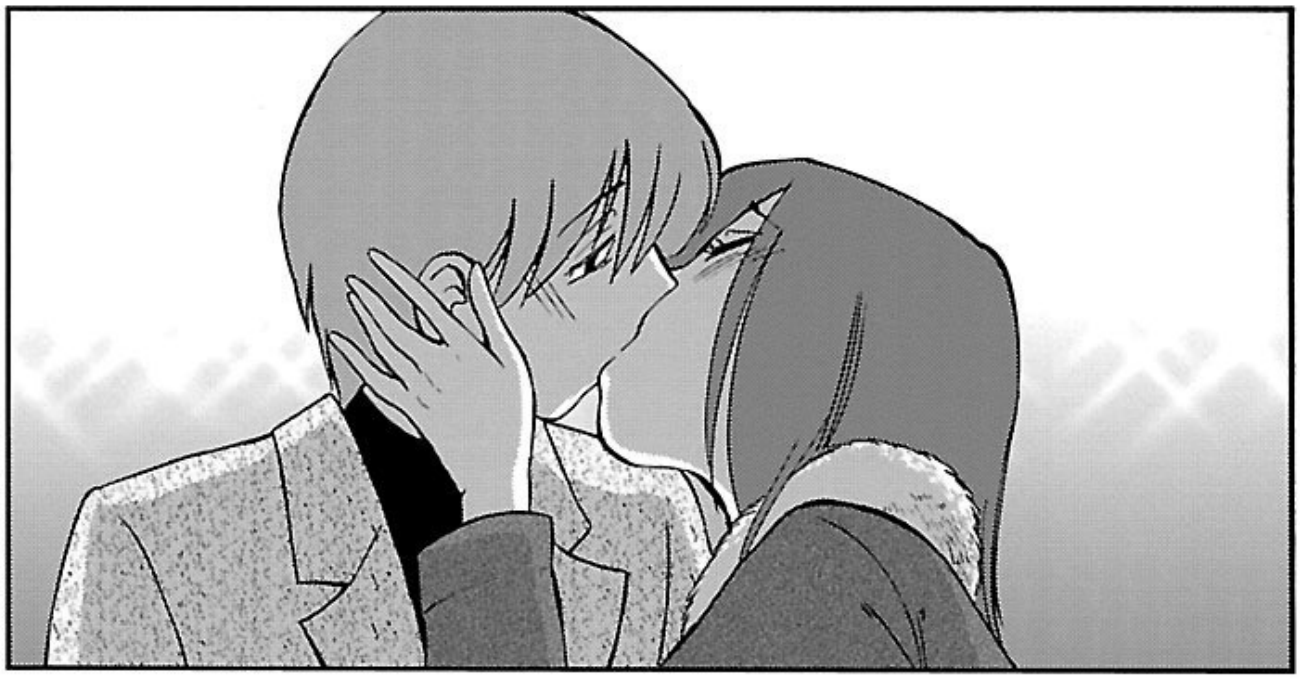
やさしくて

みんな
やさしすぎて

戸惑っちゃって
たんだね

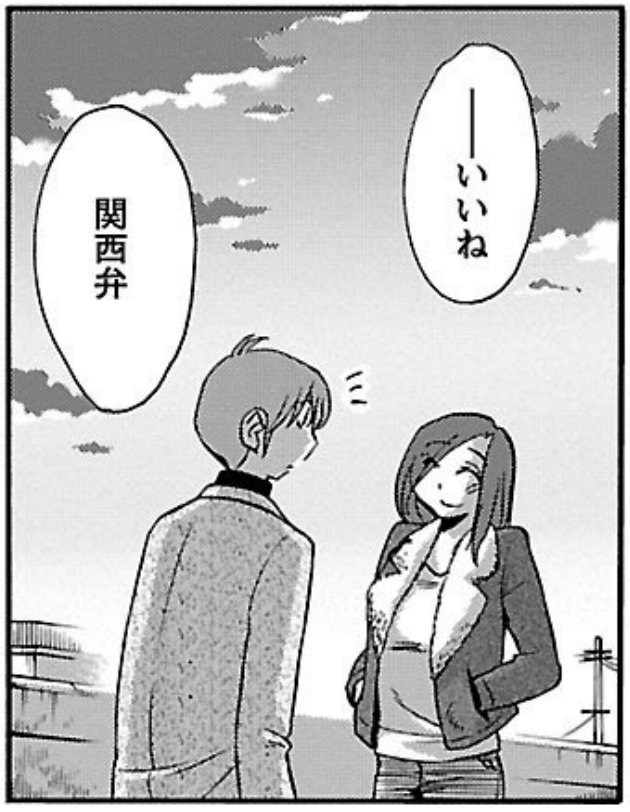
裕弥くんは

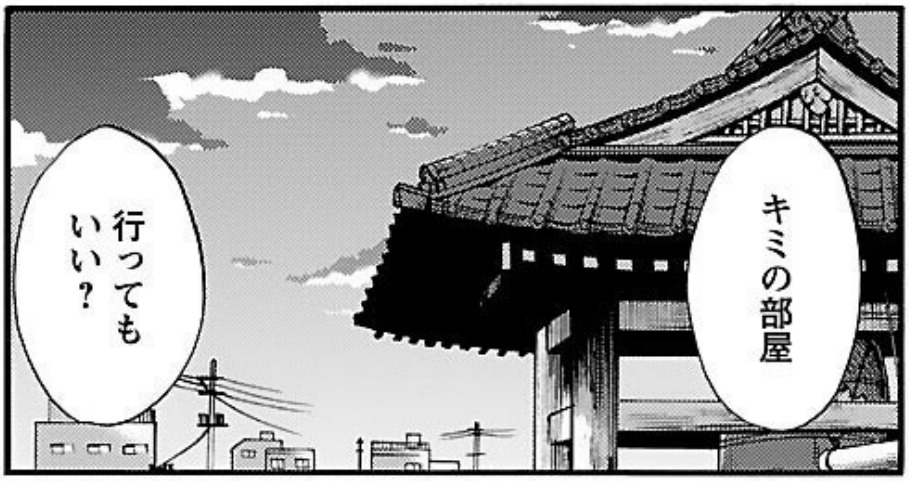
闘って
ばかり
だったもんね



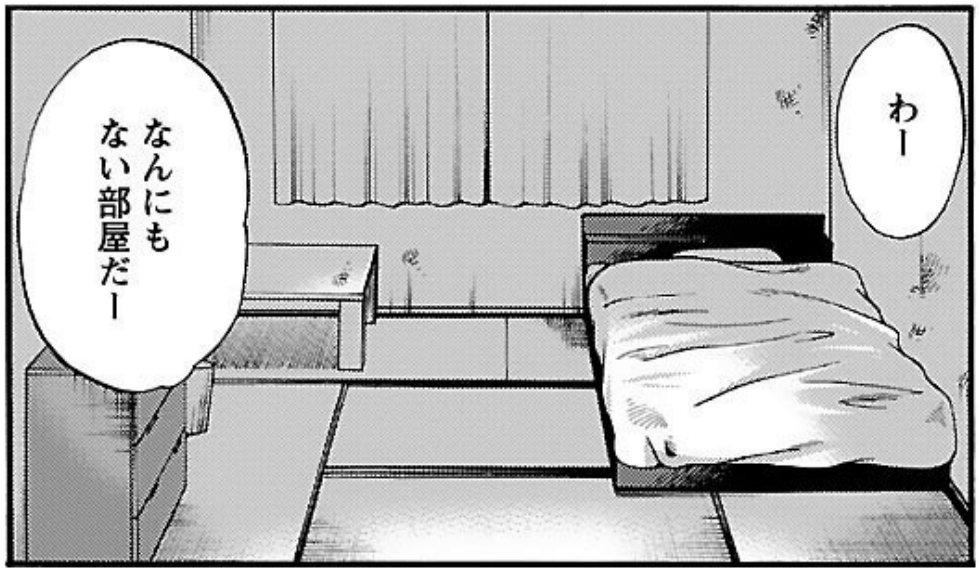
バカにされたり
蔑んだりして
くれたら
怒りだとか
そういう力で
なんか
動けたかも
しれへん
——けど…

あいつら
ほんまに
昔のまんま
やねんもん
なぁ…


——いいね
関西弁

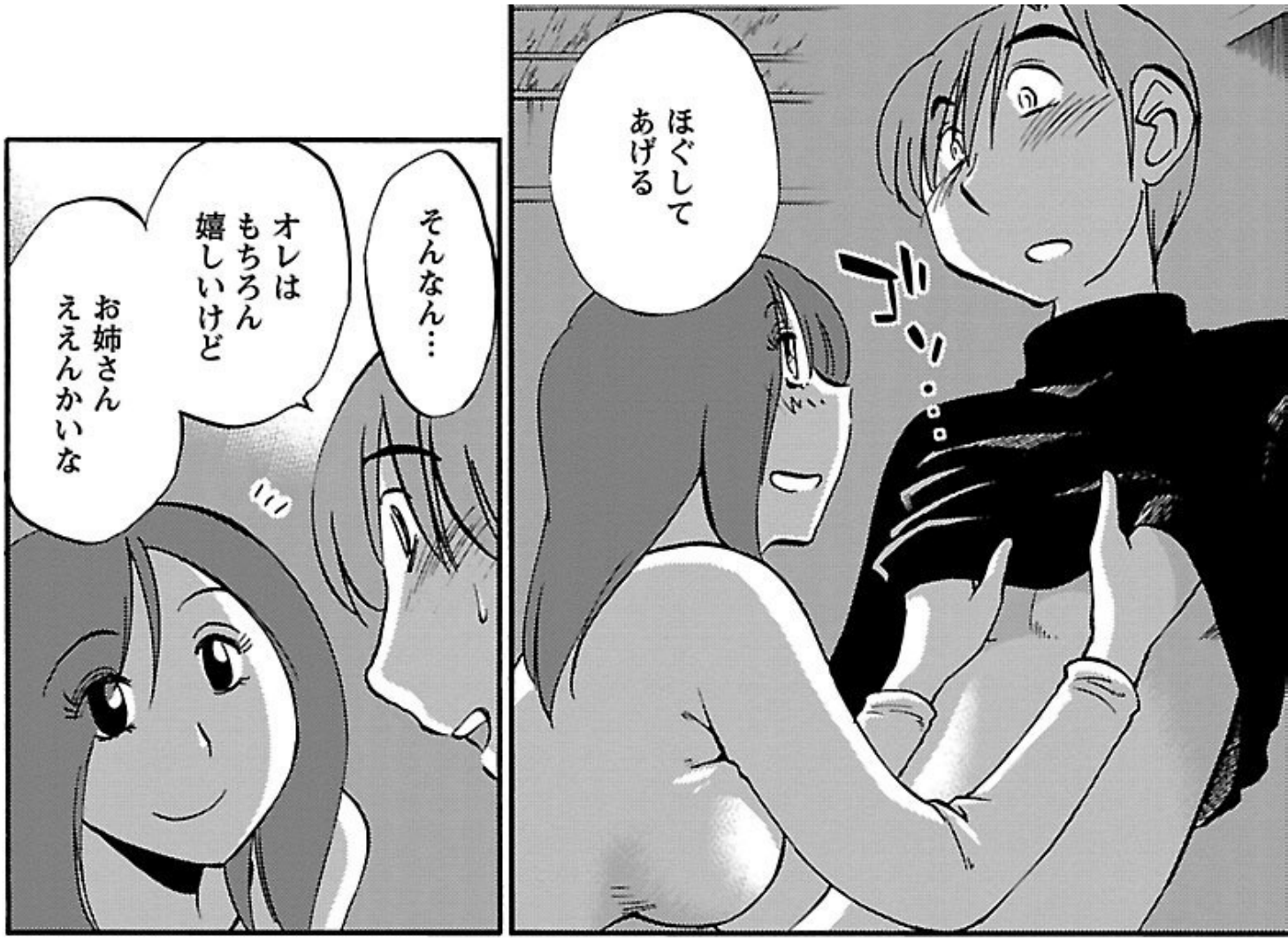

ねっ
キミの部屋
行ってもいい？

ご両親は？
うちオヤジだけでさ
今日は朝まで漁だから


わー
なんにもない部屋だー

帰ってくる気…なかったからね

身体もさ
心もガチガチにこっちゃってんだね


ほぐして
あげる
ゴッ…
そんなん…
オレは
もちろん
嬉しいけど
お姉さん
ええんかいな

ずっと
一人で旅
してるとさ
肌さみしい
ことも
あんのよ

ん…
それに
言ったでしょ？

キミ
気にいっちゃった
ズル…
はっ
はっ
あ
あっ

ふるさとの
やさしさには
――ね

手放しで
のっかれば
いいんだよ

全部が
味方
なんかじゃあ
ないかも
しれないけど

はっ

は

あ

でも

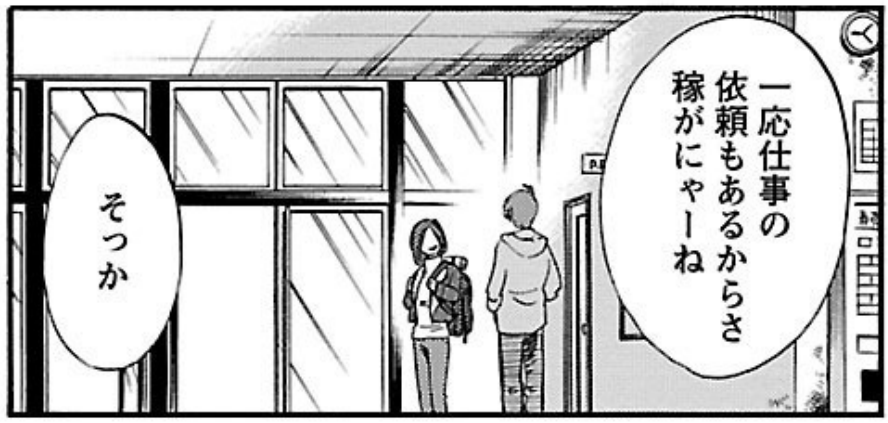
はっ

あっ

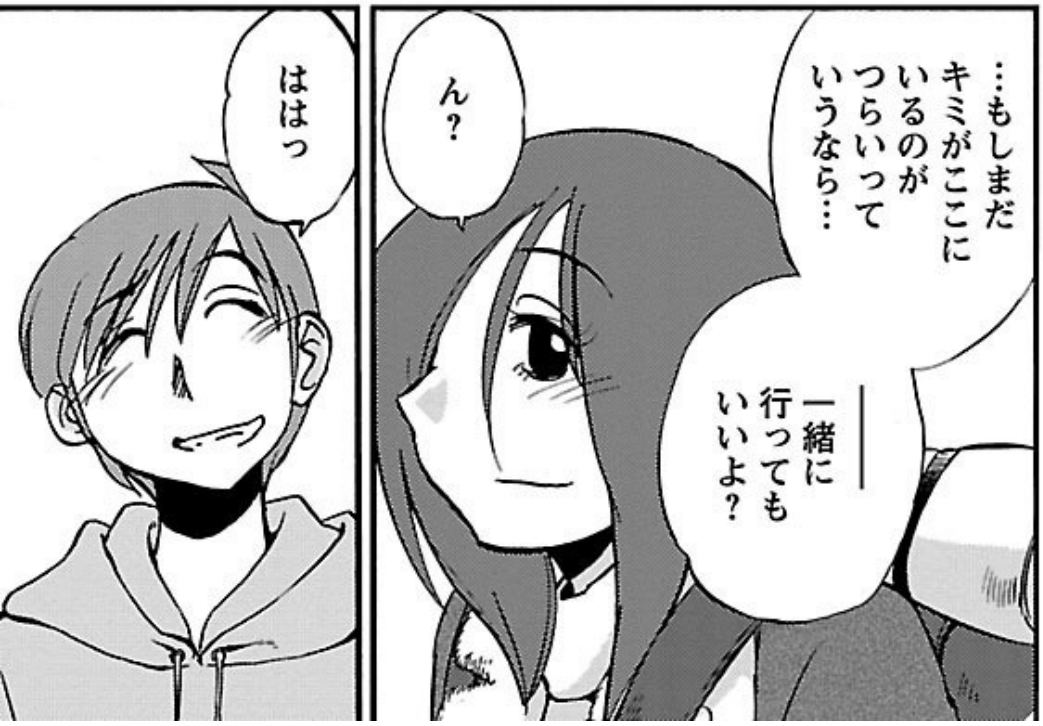
そこにしか
いない
友達だって
いるはずだから

うん…

ほんまにもう行くん？
うん


一応仕事の依頼もあるからさ稼がにゃーね
そっか

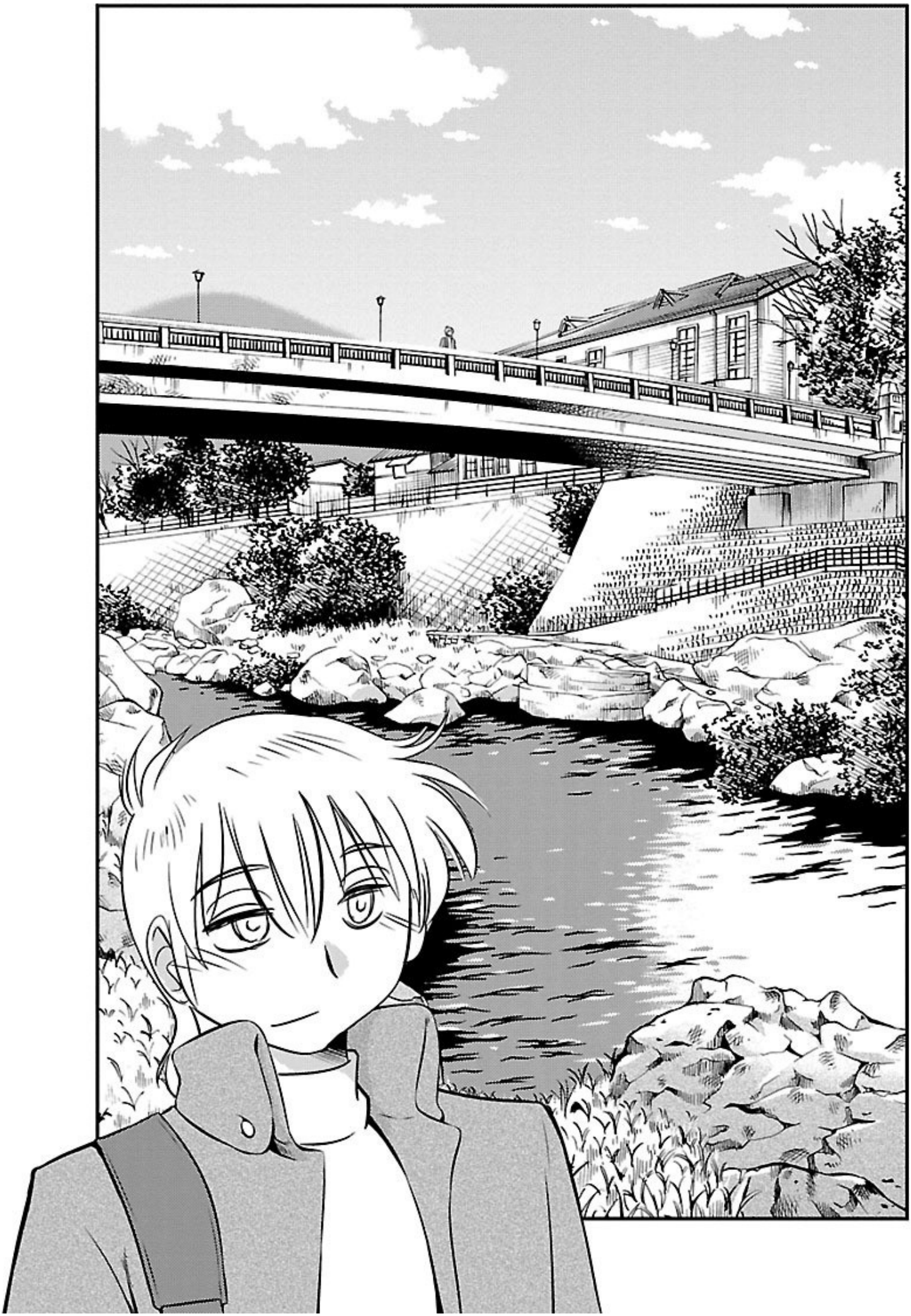
せやな…

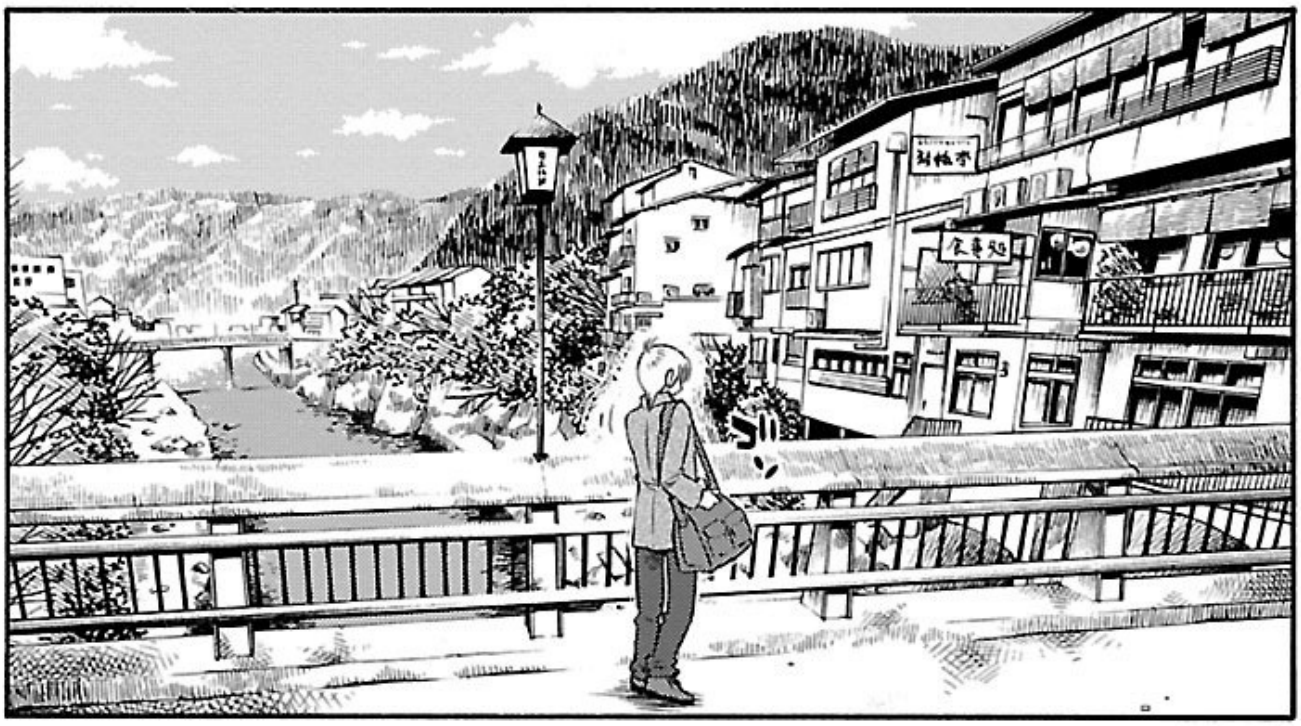

…もしまだキミがここにいるのがつらいっていうなら…
――一緒に行ってもいいよ？
ん？
ははっ

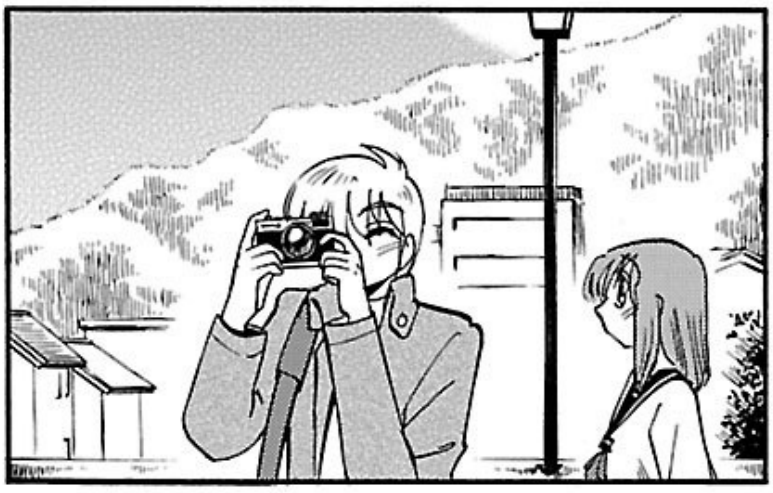
わかってる
くせに
よういうな
あっはっは

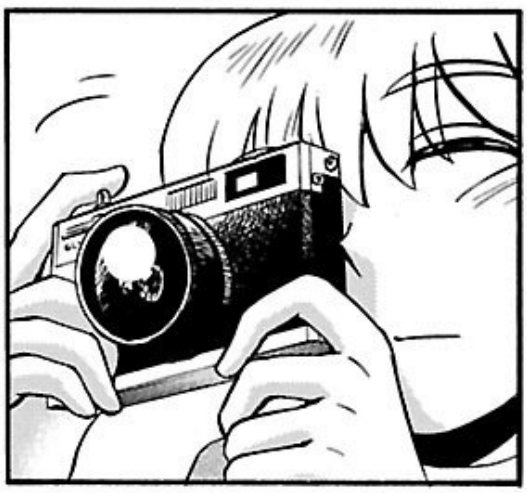
裕弥くんの関西弁
やっとなじんできたわ
乗船
またね
第六泊／完

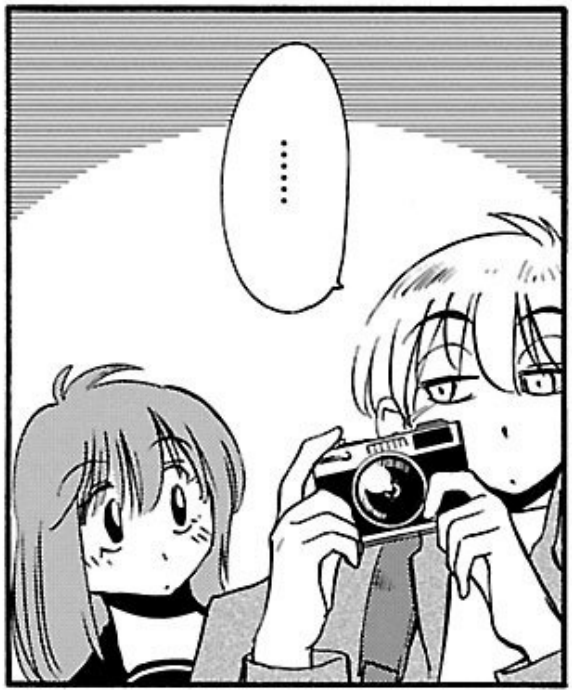
第七泊 岐阜県郡上八幡（ぎふけんぐじょうはちまん）

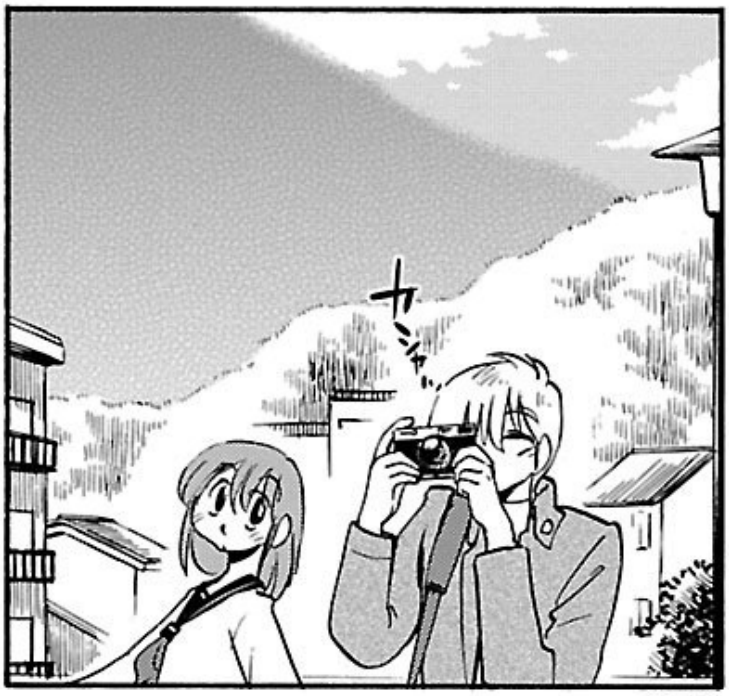









……


カシャッ

…何かな？
そのカメラ液晶ないの？

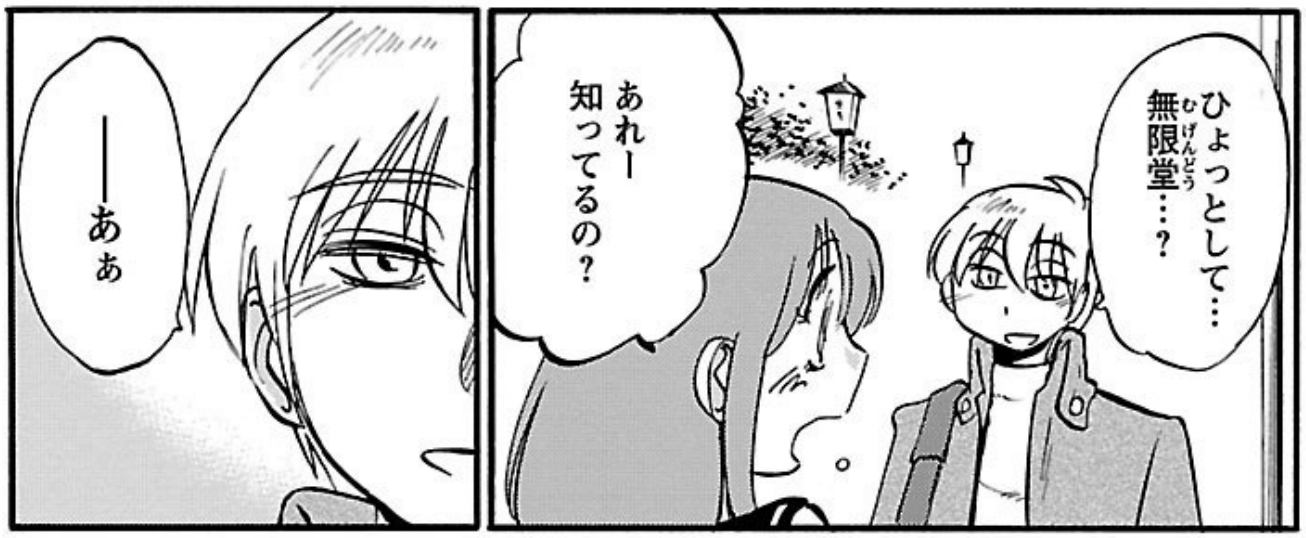
あぁデジカメじゃないからね
あぁ！やっぱりフィルムなんだ！
すごい!! 今どき！

不便じゃない？
そうだねー……

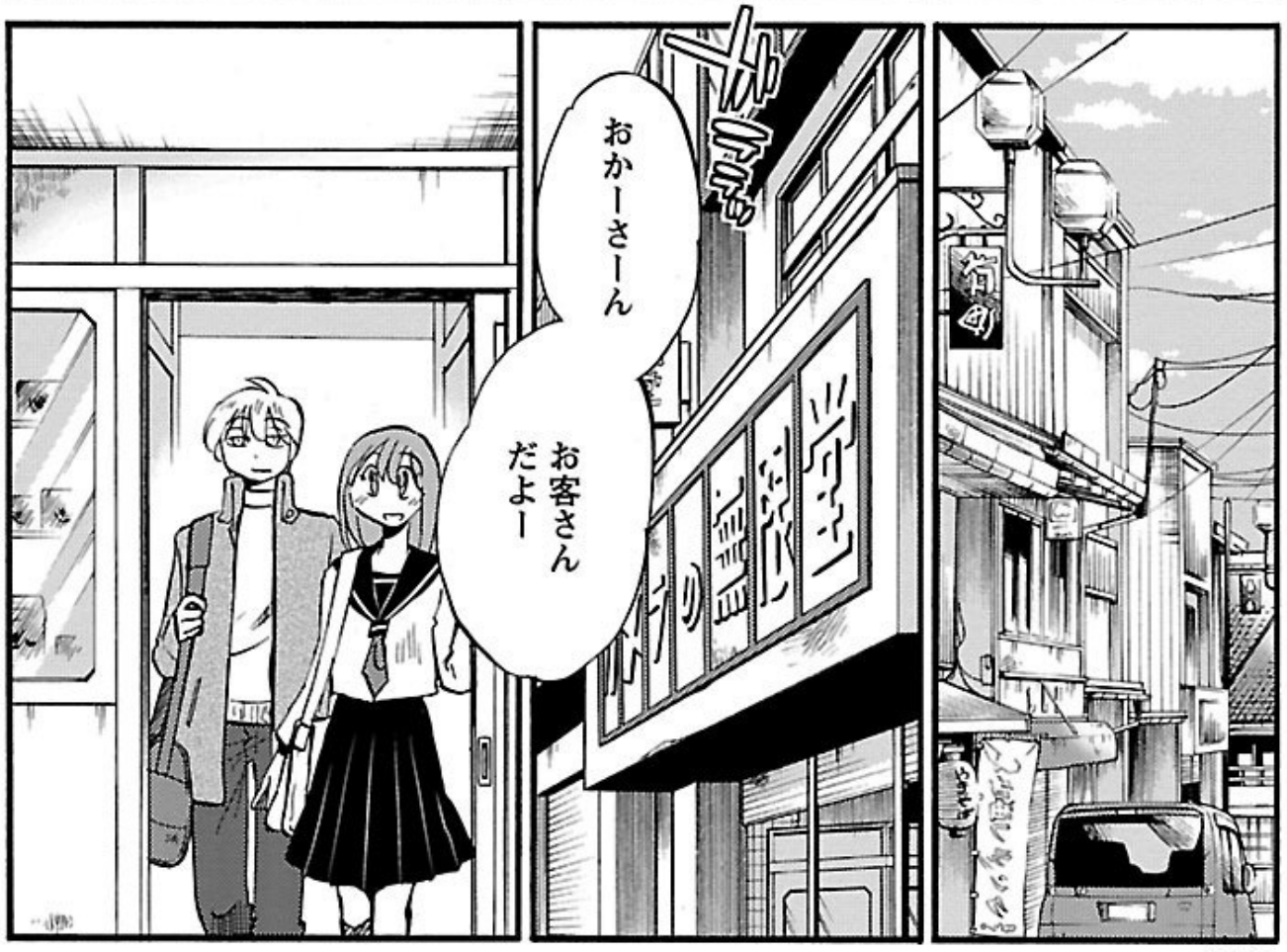
でも…カメラこれしか持ってないんだよ
ふーん

うちにもいっぱいあるんだけど
誰がこんなの使うのかなって思ってさ
お兄さんみたいな人も使うんだね
いっぱい？

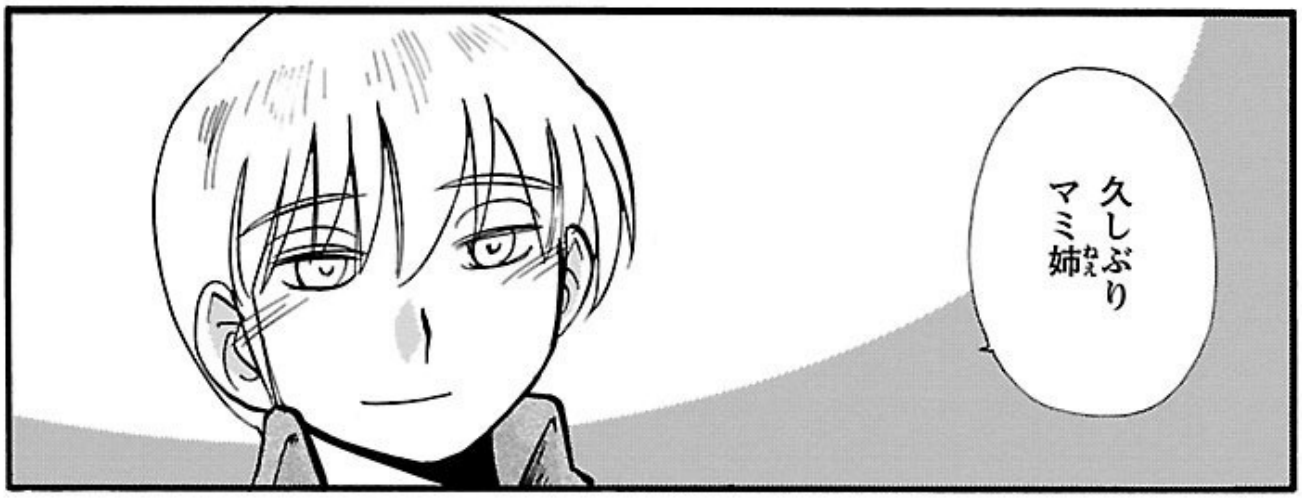
うんうち写真店だから


ひょっとして…
無限堂…？
あれー
知ってるの？
――あぁ

今から
行こうと
思ってたんだ


おかーさーん
お客さん
だよー

ガラ
はいはい
おまたせ…
この人
そこで会ったんだけどー
証明写真
えっ…


久しぶり
マミ姉

…ユキ…ト

……？
どしたの？

ん…
なんでも
ないよ
昔の
知り合い
でね
あんまし
久しぶりだし
驚いちゃって
そうなんだ

ケンカでも
すんのかと
思ってビックリ
しちゃった！

おやつもらうねー
はーい

今…中学生？
——うん二年生
プリント
早い
キレイ

あーんなちっさかった子が……なー
……

今頃帰ってきて…どうしたん？
いや…近くまで来たし
久しぶりに…会いたいな——って

よく言うわ

あん時は私を置いていったくせに

結局一人で…いっちゃって…

うん

うんじゃないよッ

…寂しかったよ俺も

わ
八幡町本町
65-2075
新橋

変わんないね
——この町は
おはらや
そうでも
ないよ

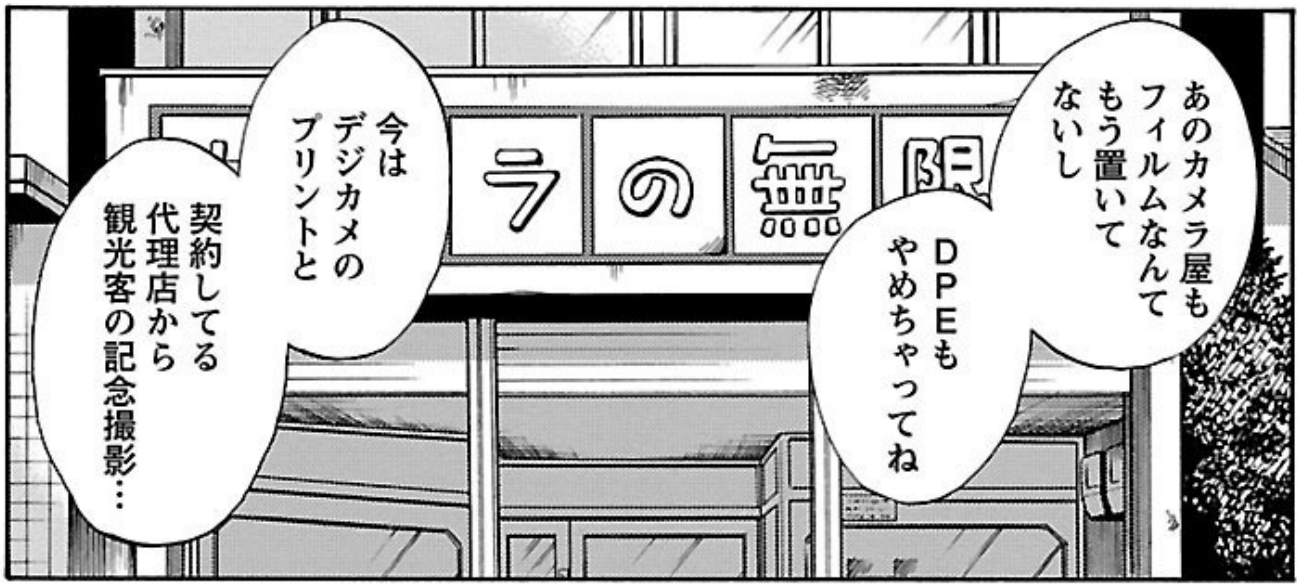
少しずつ…
変わってるし
あの新橋も
かけ変わったしね
そういや
幅が広く
なってたね

ユキトは変わんないね
あの年恰好のまま大きくなったみたいだ

マミ姉も変わってないよ
あははっありがと

でも実際は十年経ってんだもの
いろいろあったわ

結婚…とか？
んーまあね
でもやっぱダメだったなバツ二だよもう


あのカメラ屋もフィルムなんてもう置いてないし
DPEもやめちゃってね
今はデジカメのプリントと
契約してる代理店から観光客の記念撮影…

あとは学校行事の指定カメラマンでなんとかやってる感じ
そっか…

やっぱり
たくましいな

今夜どこ泊まるの？
いやまだ
じゃあうち泊まりなよ
いいの？
部屋だけはいーっぱいあるからね

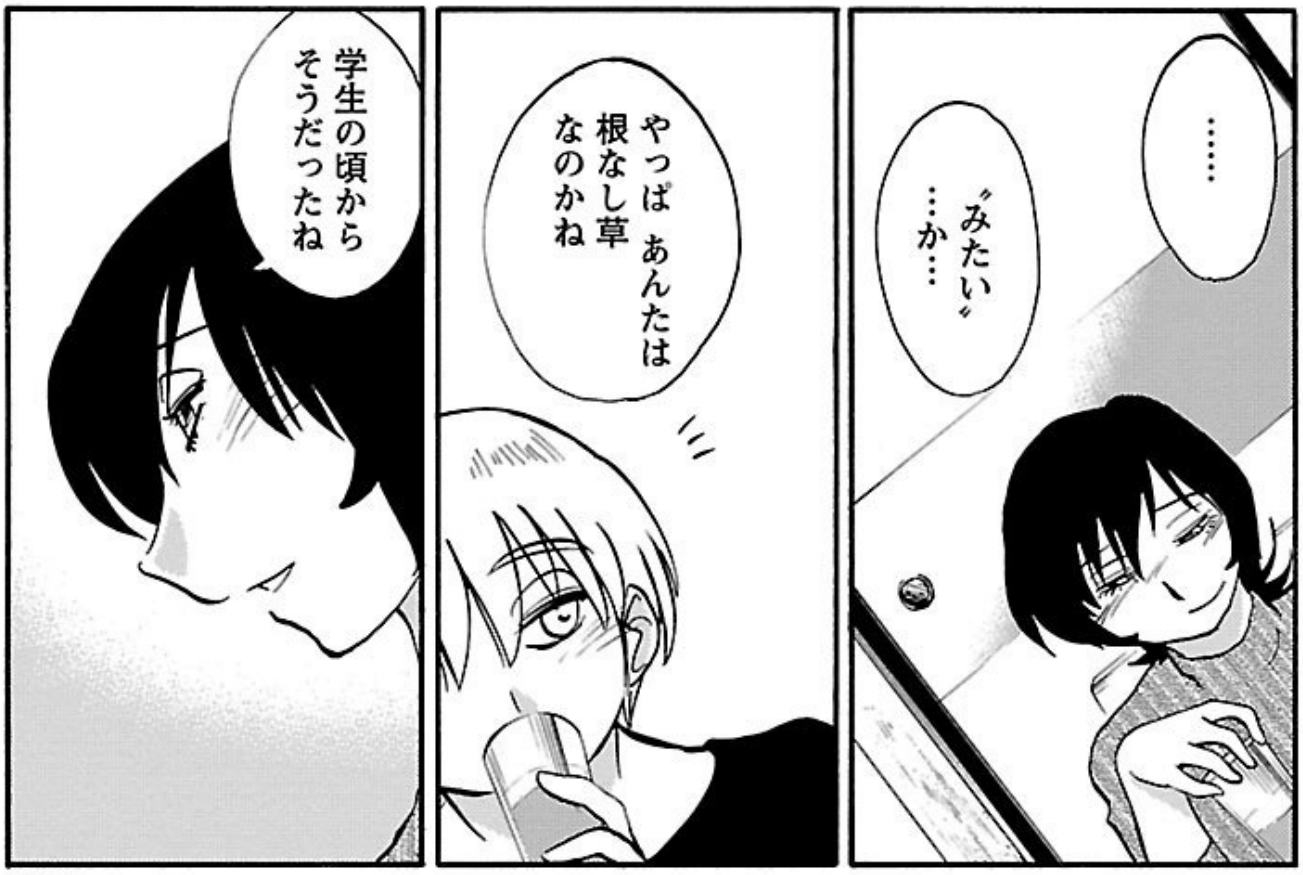
えー!?
私が赤んぼだったころ知ってるのー?
やだー
何がいやなもんかい

ユキトは高校生のころこの近所に住んでてね
私はユキトのお姉ちゃんみたいなもんでさ
お前が産まれたころにはよく面倒みてもらったもんだよ
へぇー

じゃあその新橋から飛び込んだりしてた?
してたしてた
今が夏ならやってやんのにさー
マジでー!?
あはははは

カチ
コチ
カチ
コチ
まー
久しぶりに
あの子
楽しそうで
よかったわ
ありがとね

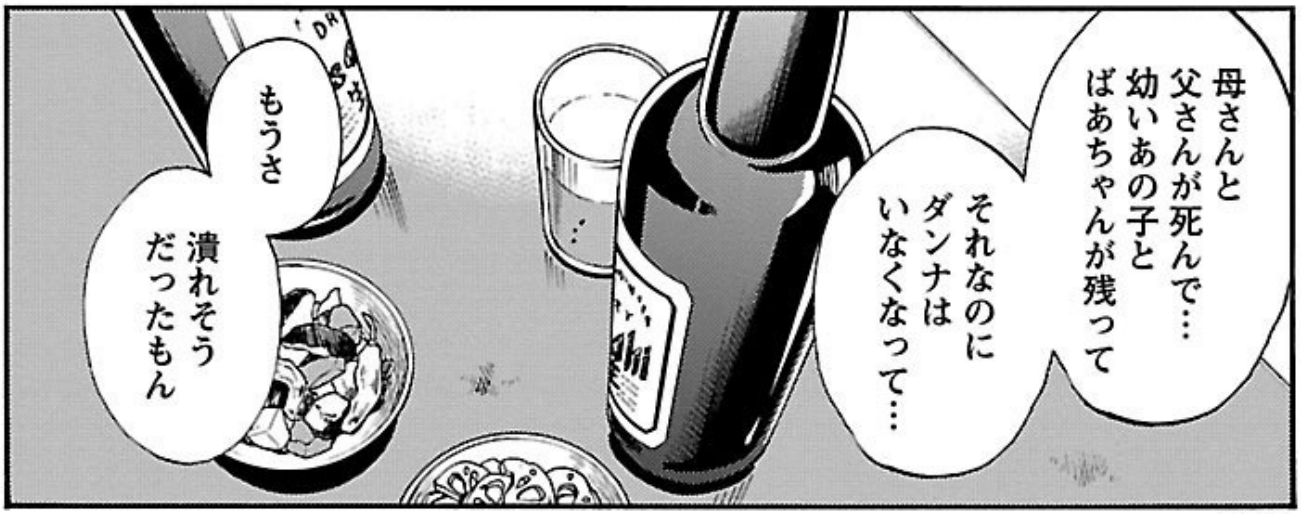
こっちこそ
久しぶりに
〝ふるさと〟に
帰ってきた
みたいで


……
〝みたい〟
…か…
やっぱ あんたは
根なし草
なのかね
学生の頃から
そうだったね

縁もゆかりもない土地でひとり
仕方なかったのかもしれないけどさ
いっつも遠くを見てた

でも…マミ姉さんのおかげで大分救われたよ

…そうね私も同じ
あのとき…あんたがいてよかった


母さんと父さんが死んで…幼いあの子とばあちゃんが残って
それなのにダンナはいなくなって…
もうさ潰れそうだったもん

あんたの肌が

救いだったよ

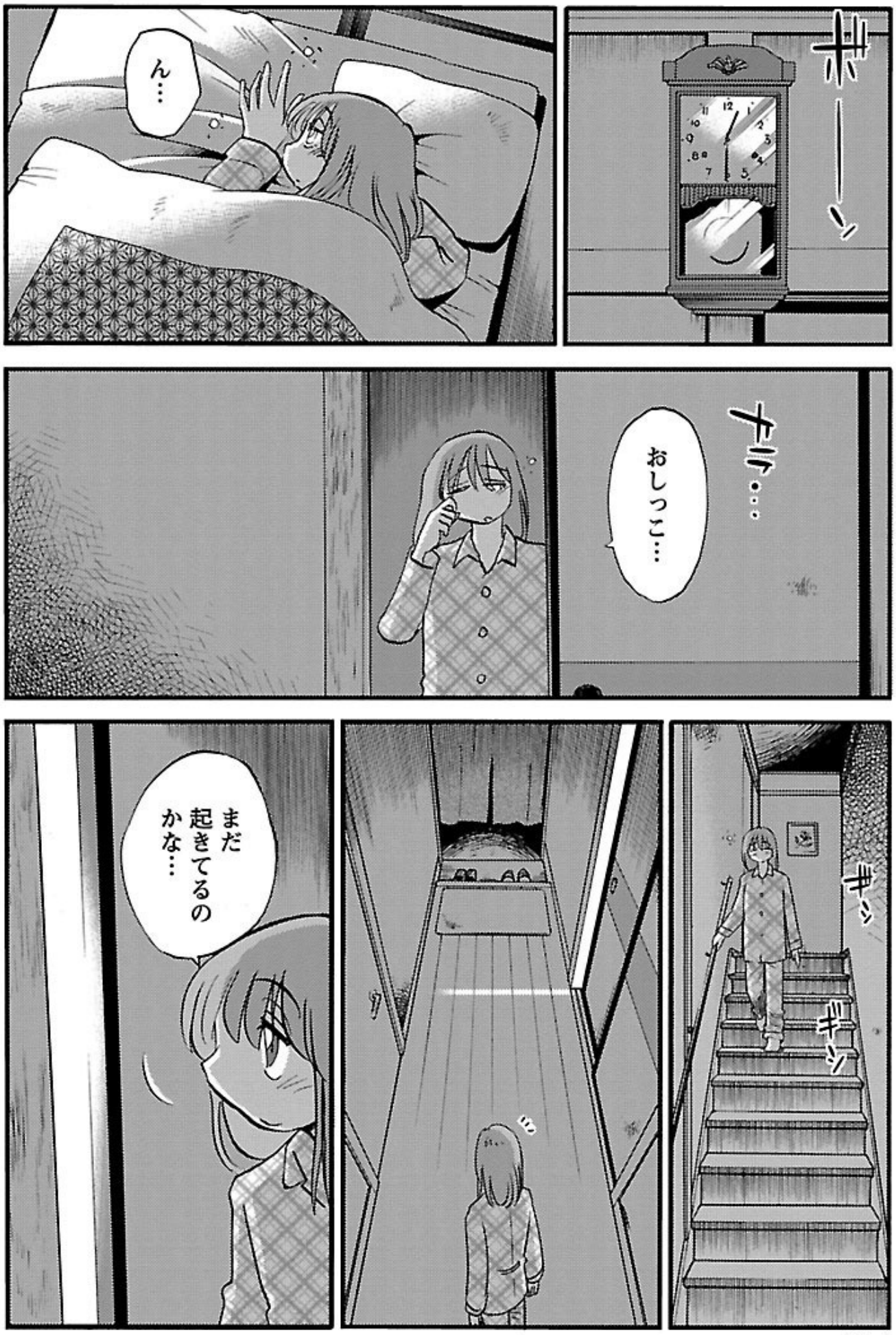
七才も下の男に——手ェ出すかね

なぁにを

手ェ出したのそっちでしょ？

ギシ

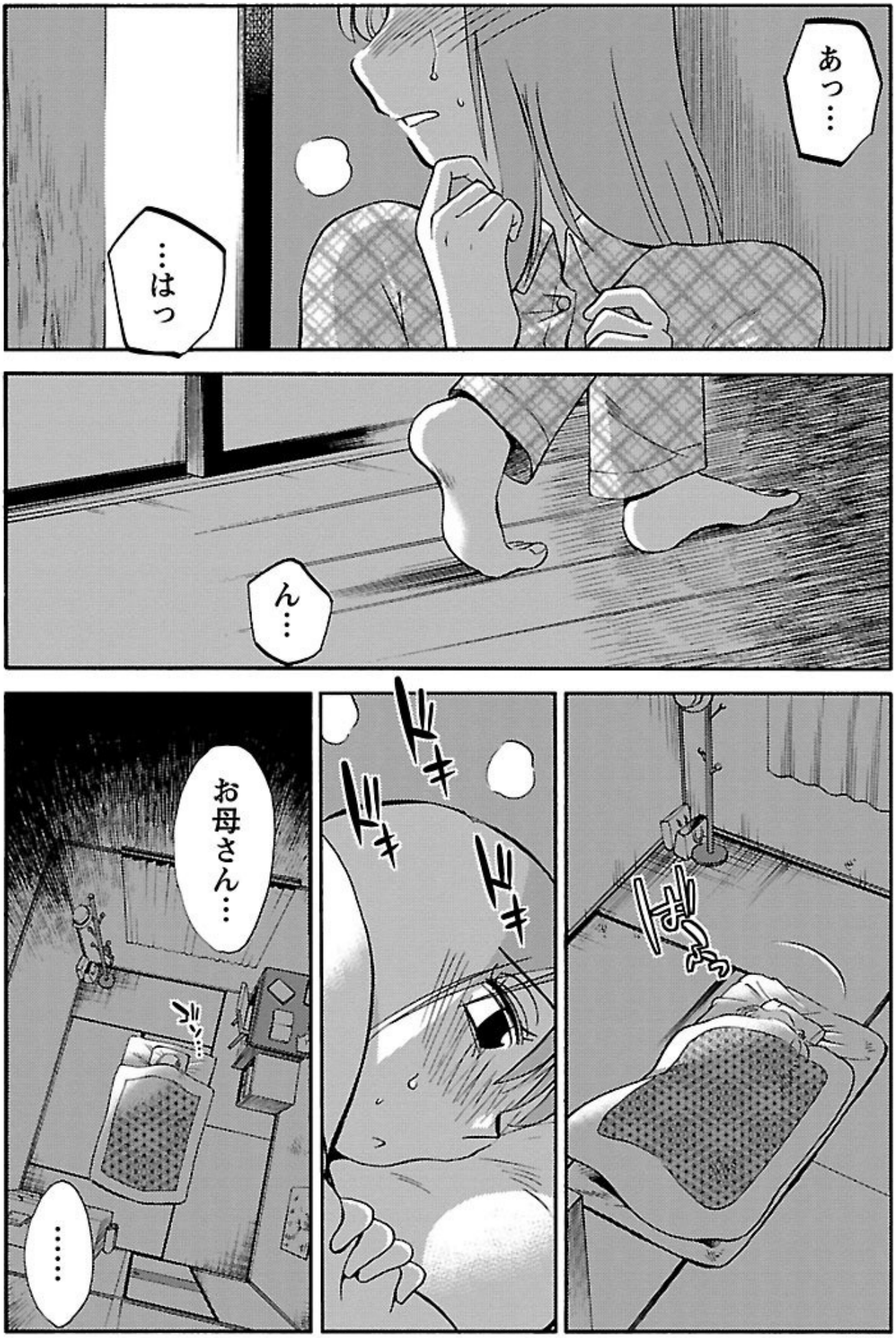
マセガキが

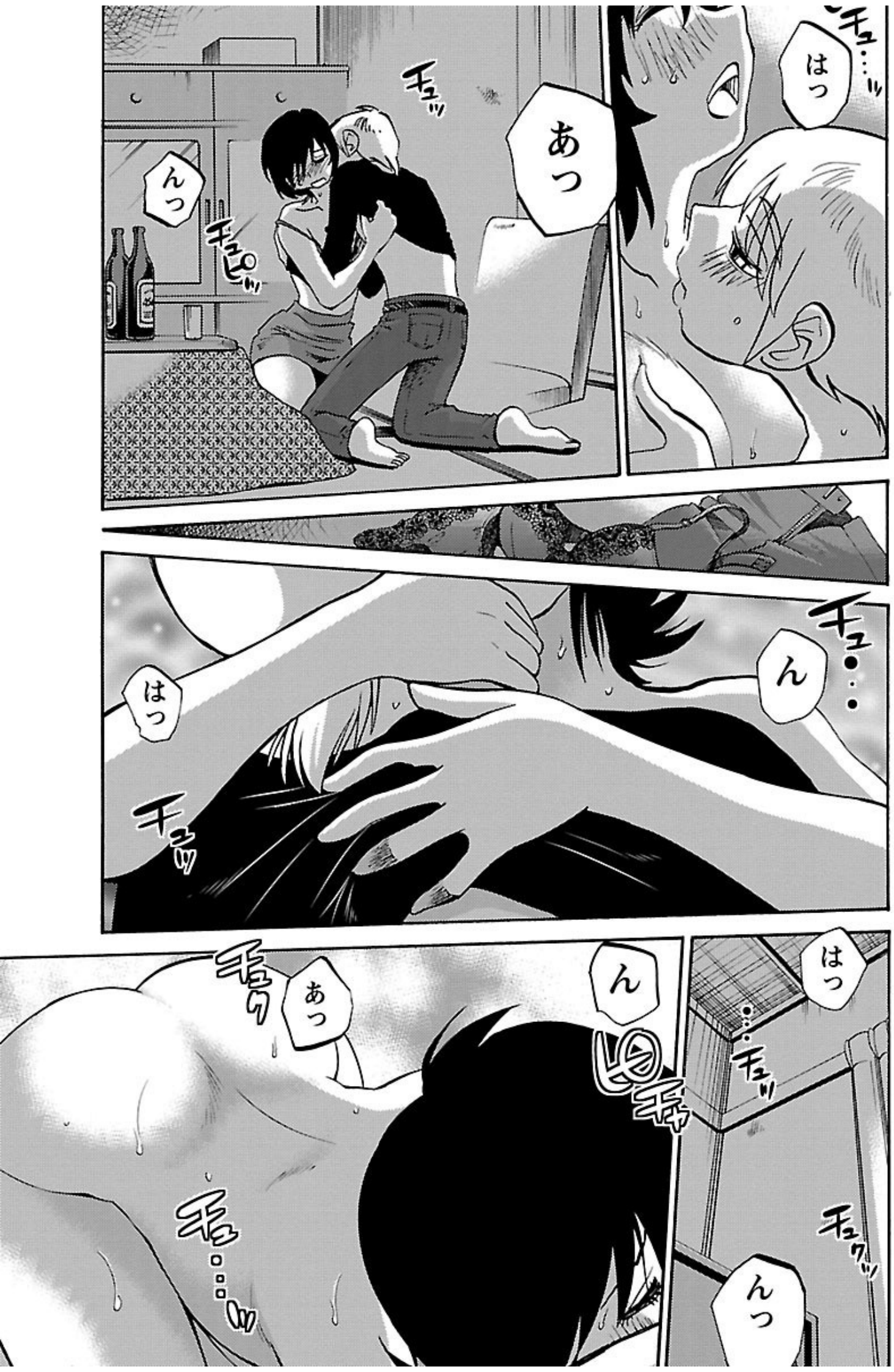

ボーン
ん…
ナニ…
おしっこ…
ギシ
ギシ
まだ起きてるのかな…

!!

ん…
……!!

あっ…
あ…
ドクン
ドクン
ドクン


あっ…
…はっ
ん…
ドキ
ドキ
ドキ
ばふっ
お母さん…
……


チュ…ッ
はっ
チュッ
あっ
んっ
チュピッ
チュ●…●
ん
はっ
チュッ
はっ
…チュッ
ん
チュクチュ
あっ
チュク
チュクッ
チュ…ッ
んっ

はっ

懐かしい…な

マミ姉の…においだ

ん…

この感じ

チュッ

はっ

どうせ あちこちで 女泣かせてんでしょ…

んあ

ん…

はっ

はっ

あっ

でも…
忘れちゃ
いやよ

あんたを
最初に
男にしたの…

わたし…
なんだから…ね

あ

あぁ

ははっ

んっ

懐かしい…話を…

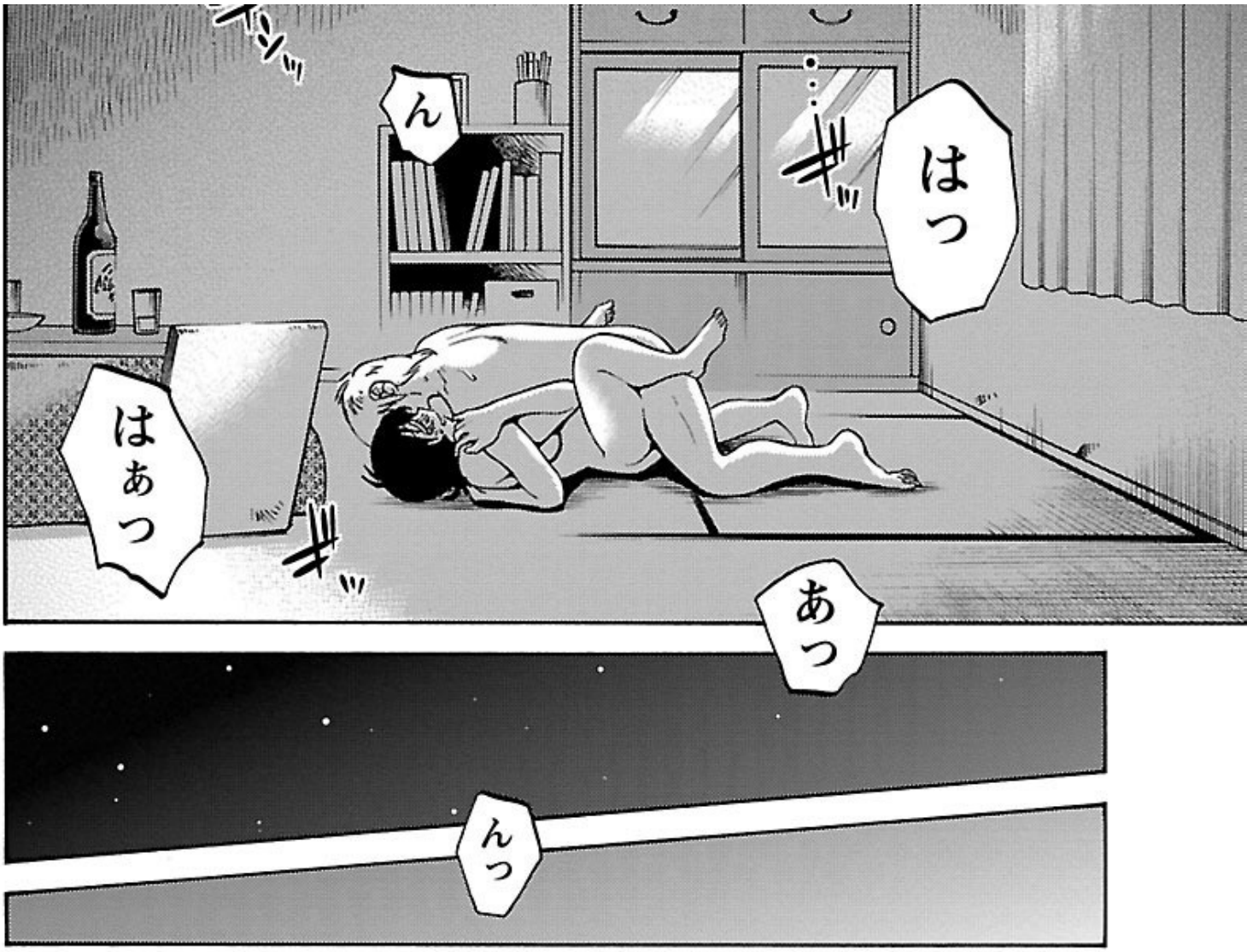
んあ…

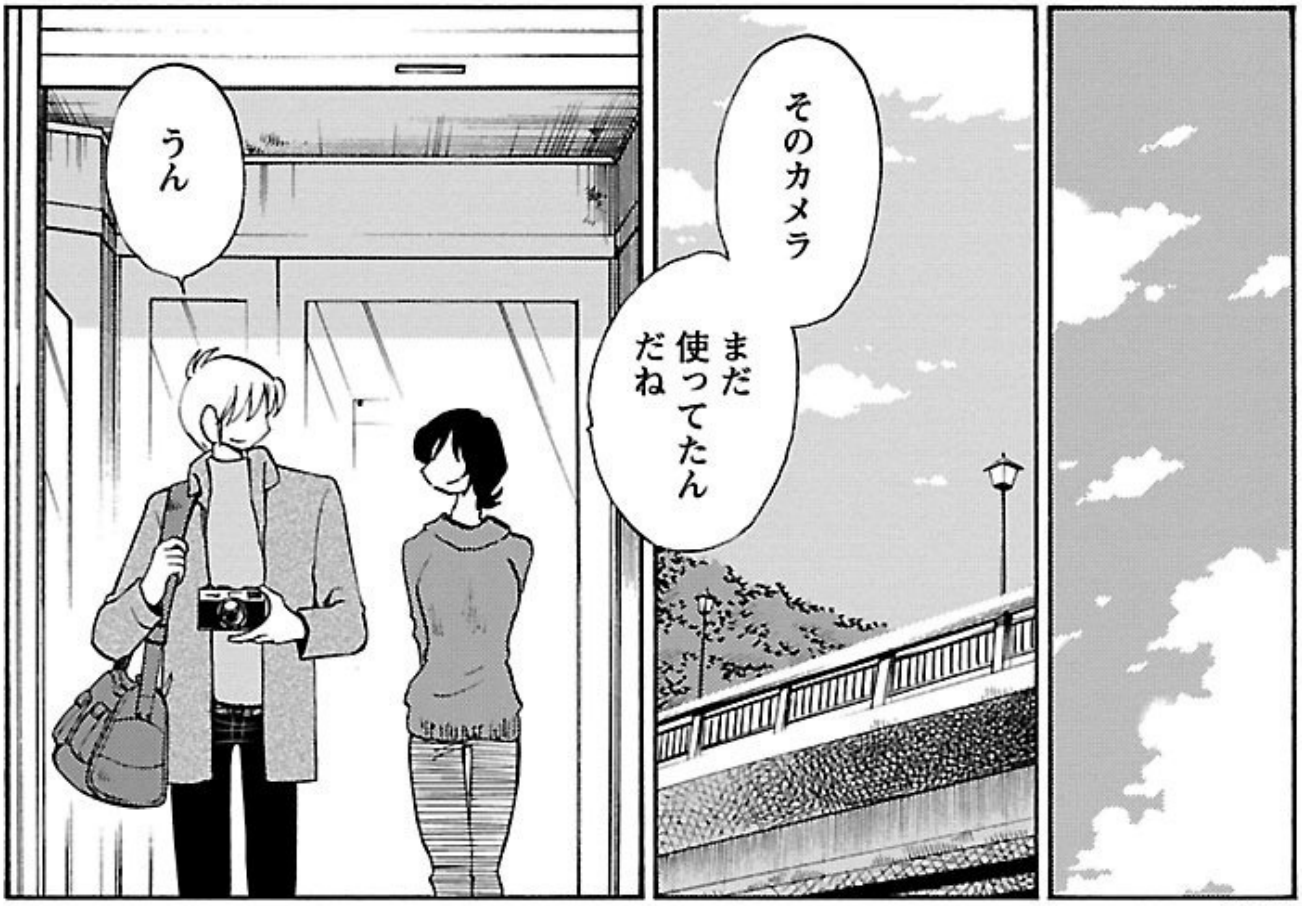
は

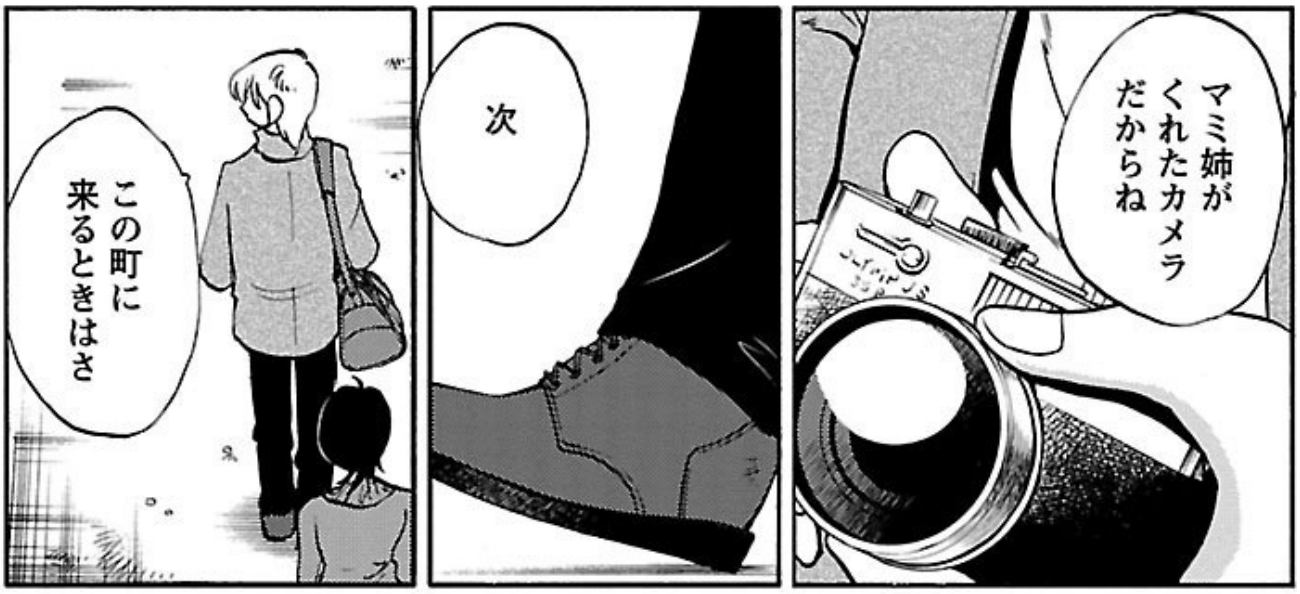
！

はっ

はっ


はっ
ん
はぁっ
あっ
んっ

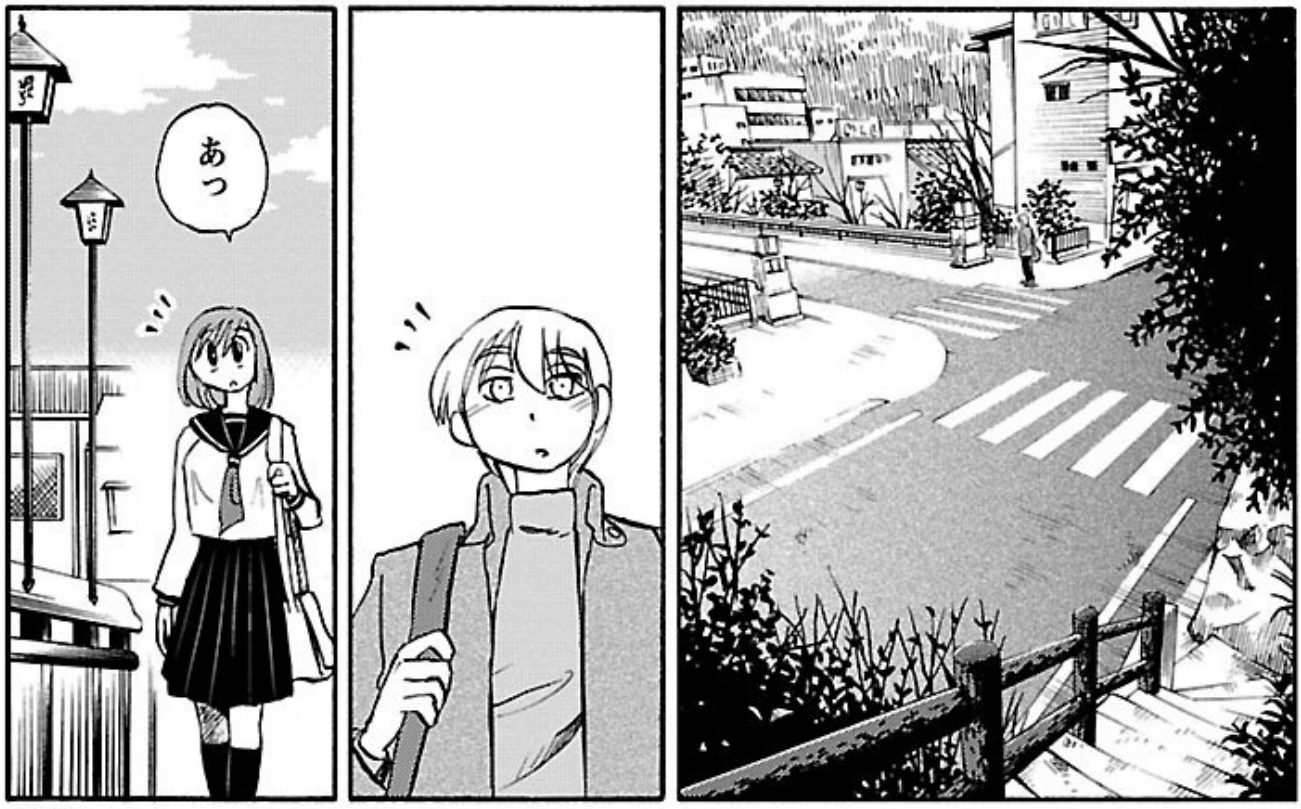

そのカメラ
まだ使ってたんだね
うん


マミ姉がくれたカメラだからね

次

この町に来るときはさ

今度はマミ姉に会うためだけに
来ると思うよ


…ん
期待しないで待ってるよ
あっ

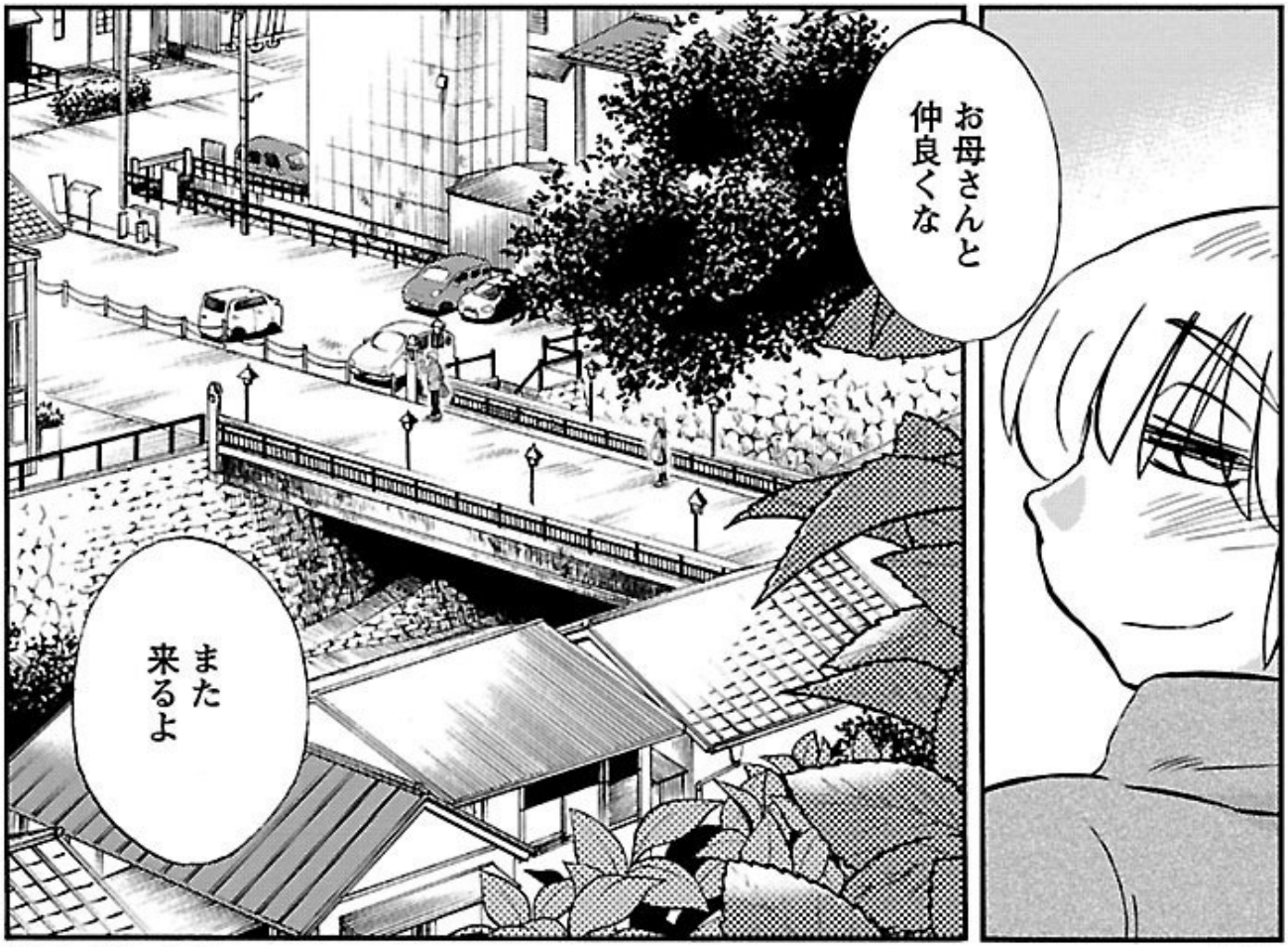
もう行くんだ？
あぁ世話んなったね

一緒に行くか？
ハハなんでさ

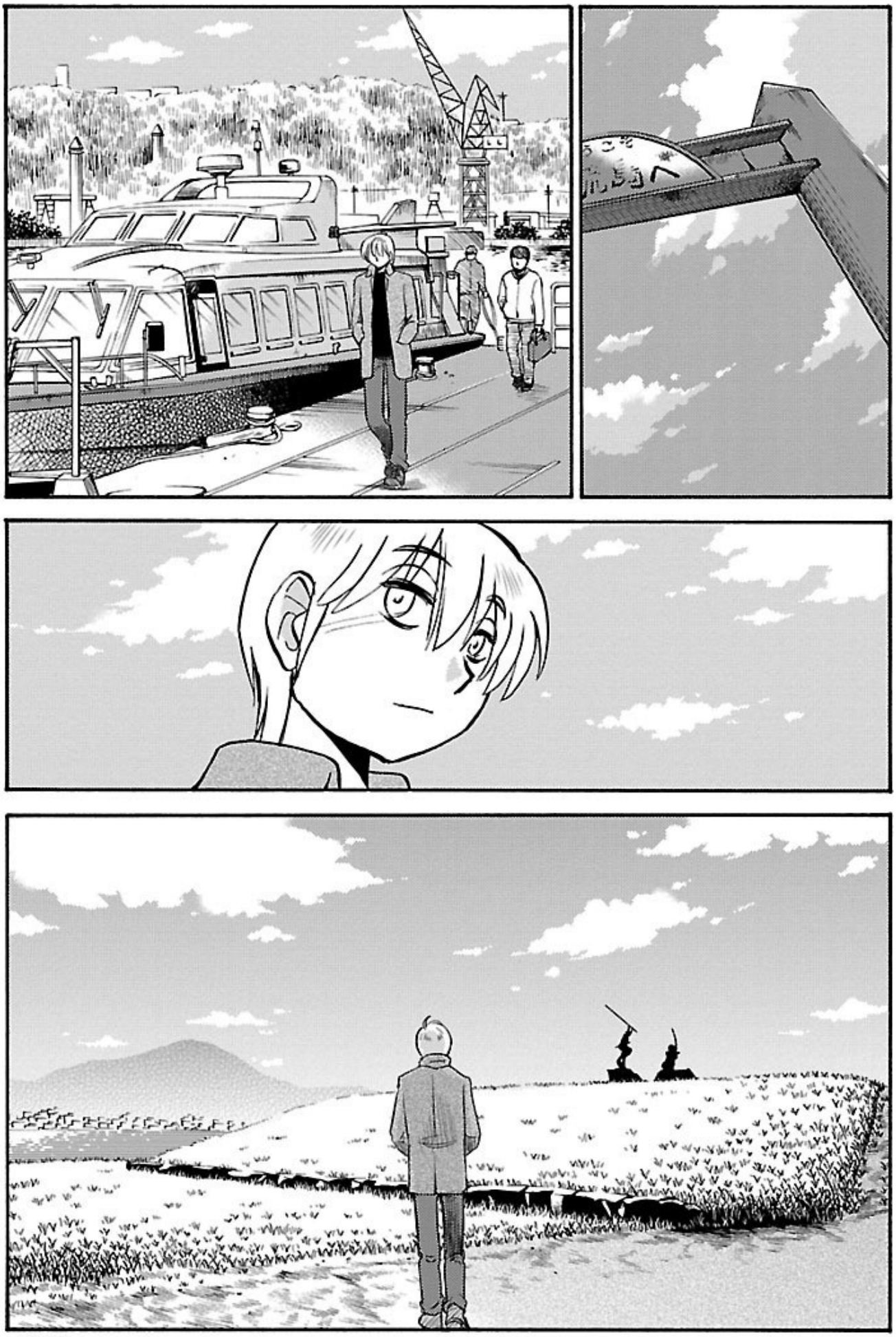
……
ね…あの…さ…

お母さん……とは…
ん？

…ん
やっぱいいや！
気を付けてね！

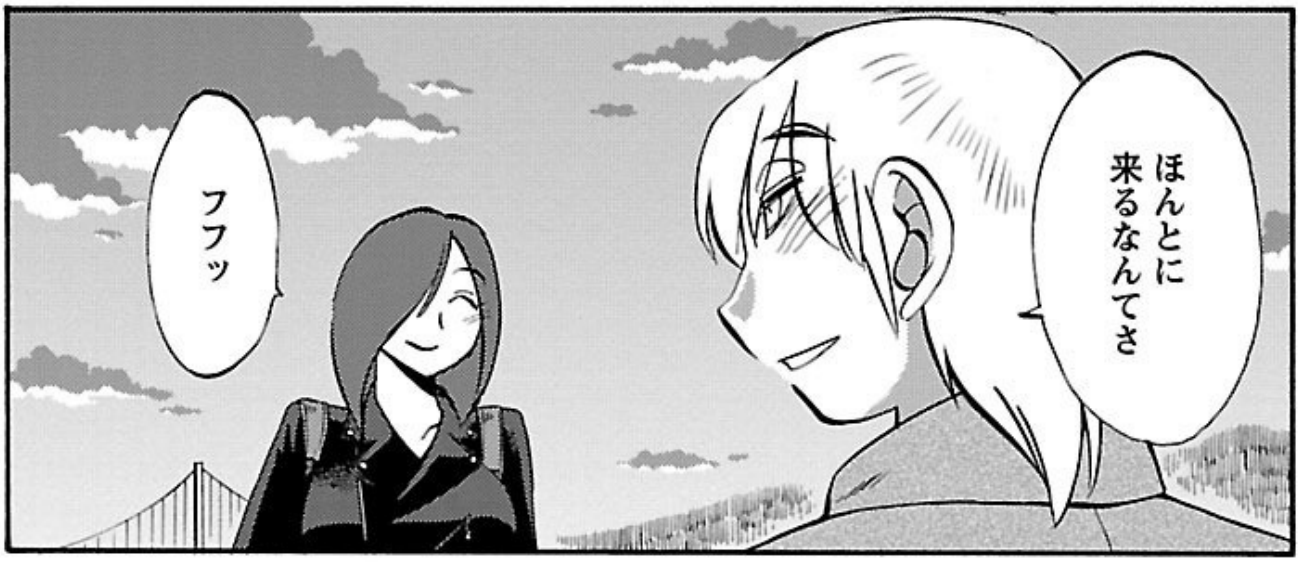

お母さんと仲良くな
また来るよ

第七泊／完



ゴゾ…

うそでしょ……？
ほんとに待ってるなんて
こっちのセリフさ


ほんとに来るなんてさ
フフッ

三年前だっけ？
あぁ

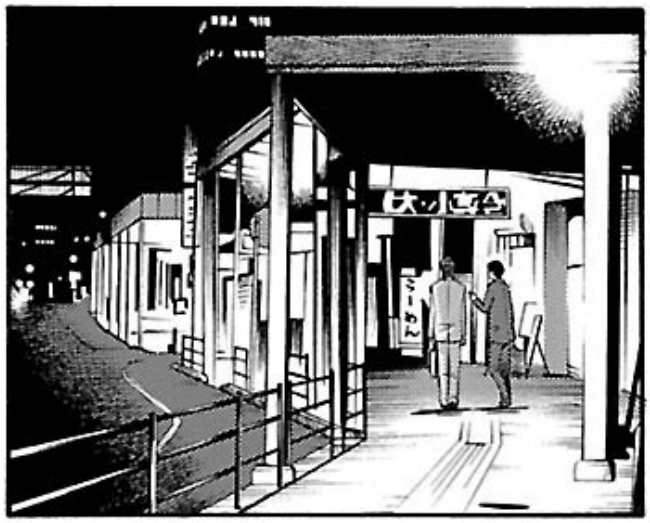
三年後のこの日にまたここで——って…
正直忘れてると思ってたわ

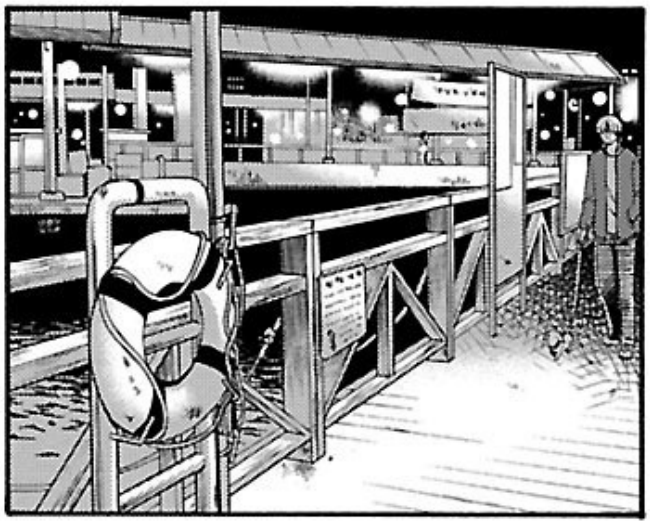
…迷ったけどねどうしようかなって
あはっ同じく
今さら会ってどうすんだろって

とっくに別れちゃったのに…さ

そうだなぁ
どうする…か

まずはメシでも喰うか
ははっそうね





ん―…北の方が多かったな
夏も…冬も
冬も！
もつ煮
ゲソの唐揚げ
ホルモン
ホタルイカ
つくね
ハイボール
ポテトサラダ
刺身盛り合

どんなとこ行った？

そういや
ユキトは
寒いとこ
出身だしなー

あっ
そうだ
あの人
には
会ってきた？

ほら
わたしと
同じ名前の

よく
覚えてたな
……

……
会ったよ

ヒュー
初恋の人
だっけー？

……

マミは…
相変わらず
島か？

んー
そうねー
やっぱ
離島好き
なのよねー

島はいいよー
でっかいのも
ちいさいのも

……

その分じゃ
恋人なんて
出来て
なさそうだな

それは
ユキトも

お互いさま
でしょ？

……
そうだな

いい想い出は
たくさん
できるけど…

そう
でも
想い出が
キレイ
すぎてさ

かえって
もう一度
行きにく
かったり…ね

なーんで
あたしら

旅してるん
だろ？

…旅が
仕事だからだろ

違うじゃん

旅を仕事に
したんじゃない

お互い
さみしがりの
くせにさ

……

宿は
どこに？

夕方
着いた
ばっかりでさ
——まだ

……
どうすんだ？

野宿は
まだキツいぞ

……

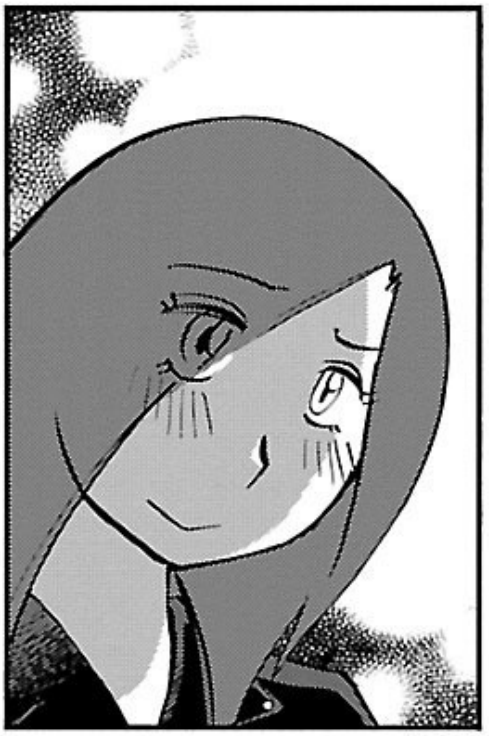
ユキトの
そういう
言いまわし
キライ

自分だって
さみしいん
でしょ？

素直に
なれば
いいじゃない

——俺の部屋来いよ

——…うん
いく



どうしてダブルなのよ？
…俺はいつだって広いベッドが好きなんだよ
あらそうだっけ
フフッ

まっ
いいけどさ

ほんと

あっ

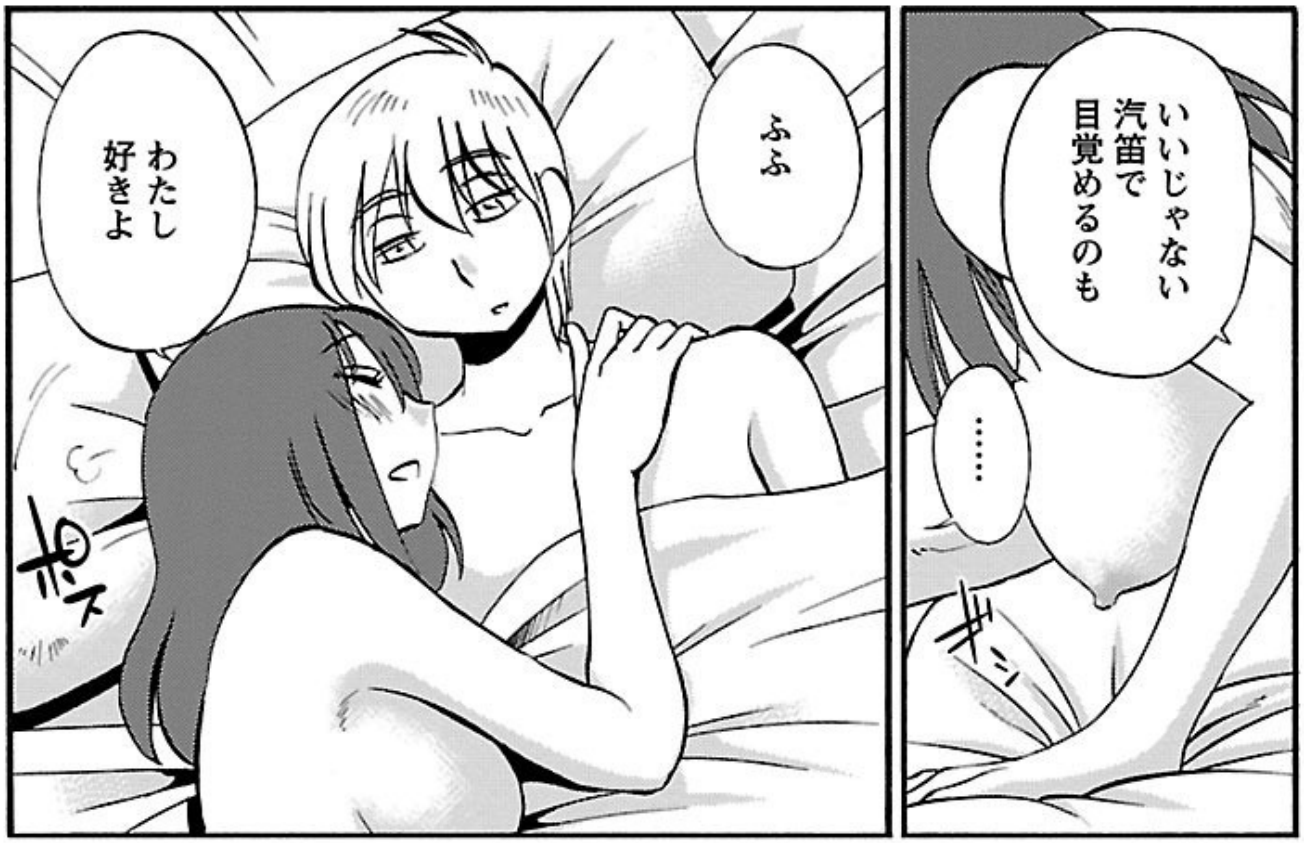
さみしがりや
さん…

はっ

はっ
んっ
あんっ
あ
はっ
ひさしぶり……だっ
んっ
ユキトの…
あっ
あっ
そりゃ…三年ぶりだからな…
あ…ははっそっか…

あっ
んっ
は
あっ
はっ
あっ
あっ
はぁ
はっ
はぁ
はっ
んっ
はっ
はぁ
はっ
あっ
はっ
ん
あっ
はっ
は

ボー
ボー
ボー
ボー
五回…
鳴った…
朝は漁船
出てる
から…
タンカーが
ときどき汽笛
鳴らすのよ
五回
鳴らすのは
警告の合図
だったかな
へぇ…
目が
覚めるな…
ユキト
三年前も
同じこと
言ってたよ
そだっけ…


いいじゃない汽笛で目覚めるのも
……
ふふ
わたし好きよ
ポス

お布団でこうしてハダカで
ユキトの肌にくっついてるの

やっぱスキだ
——オレらが旅するのってさ

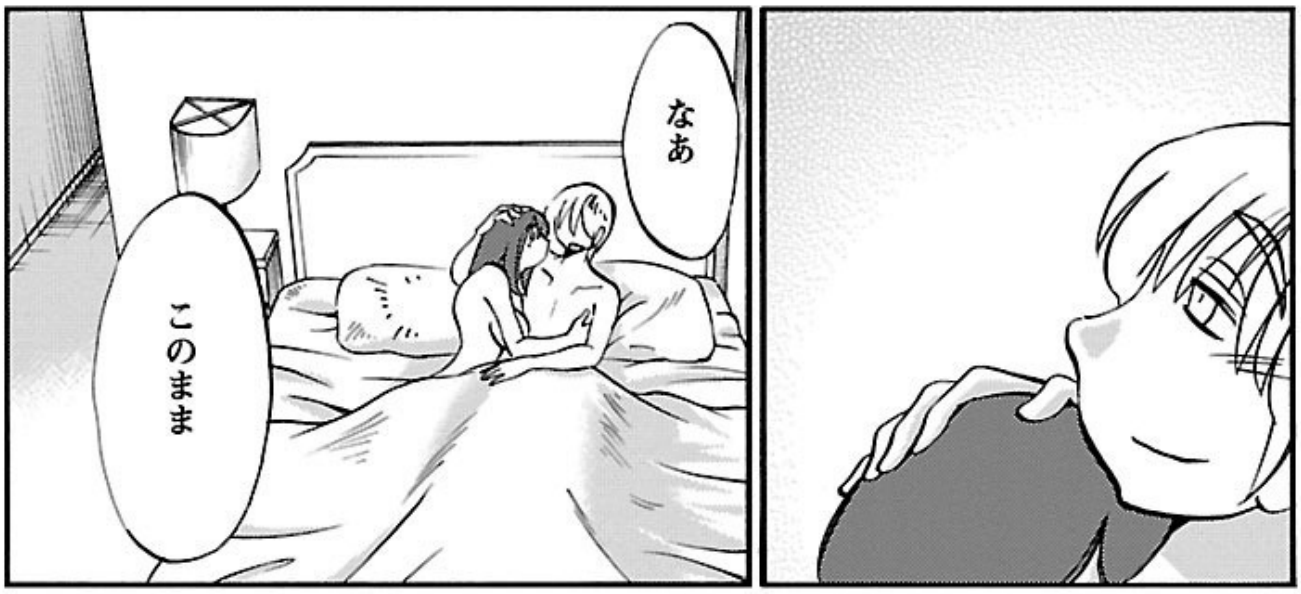
きっと
さみしいのが
好きなんだな

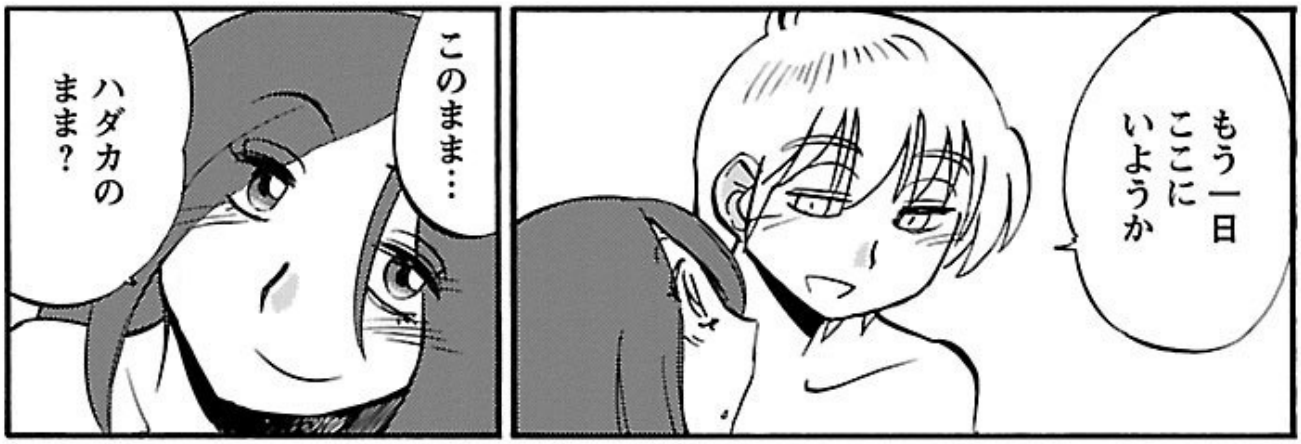
ただ
わかってくれる
相手は
少なくて

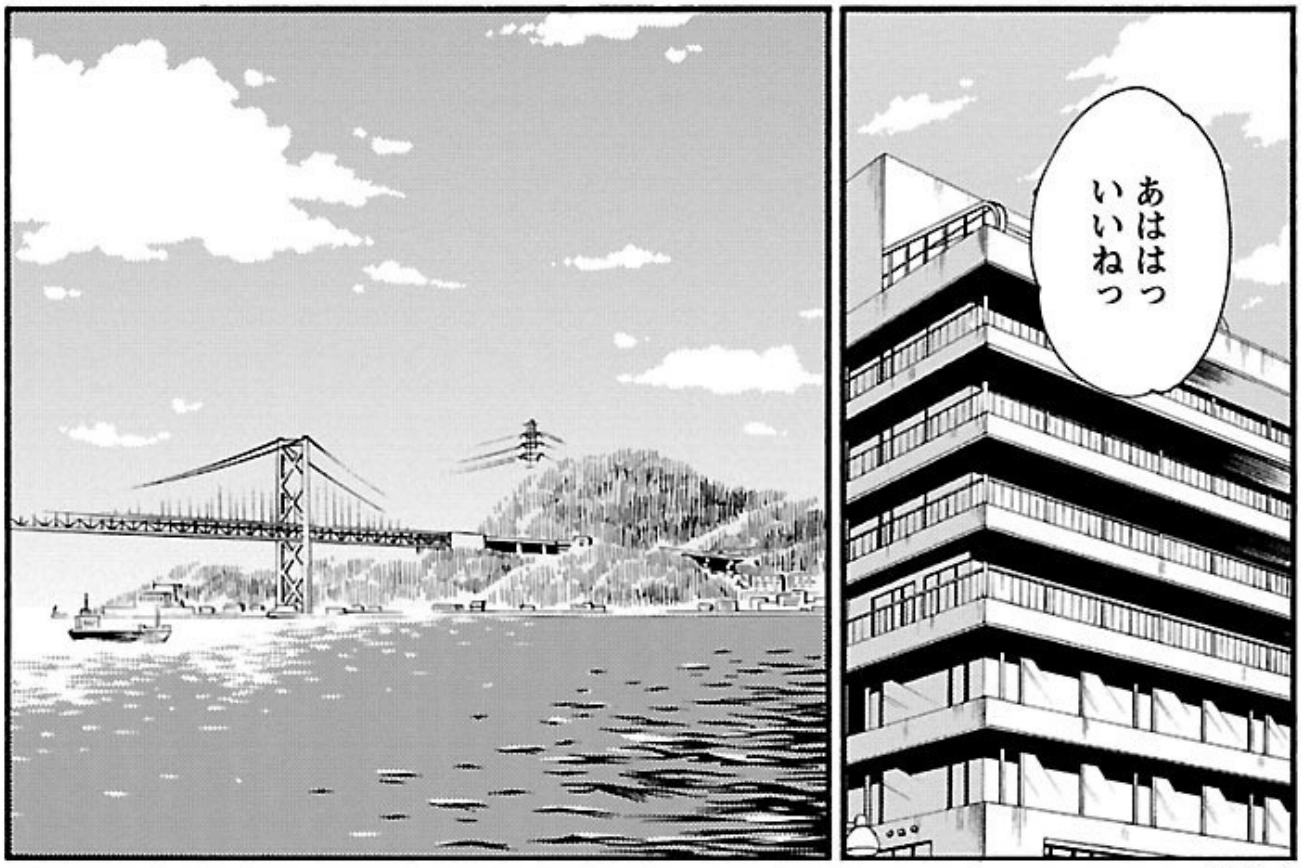
俺は…
だから
あの島で
待ってたのかも
しれない

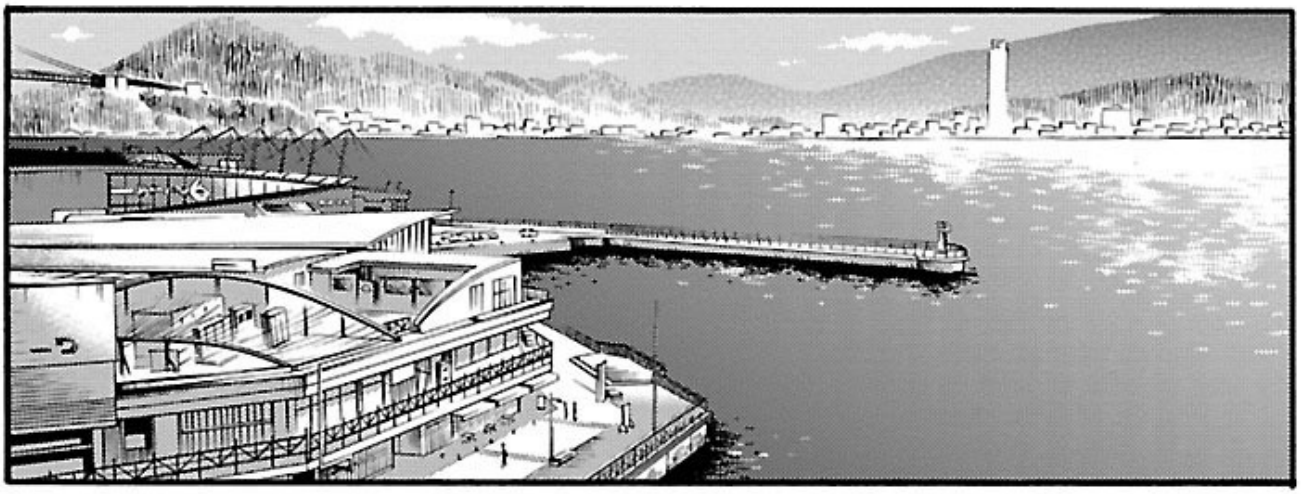
…うん

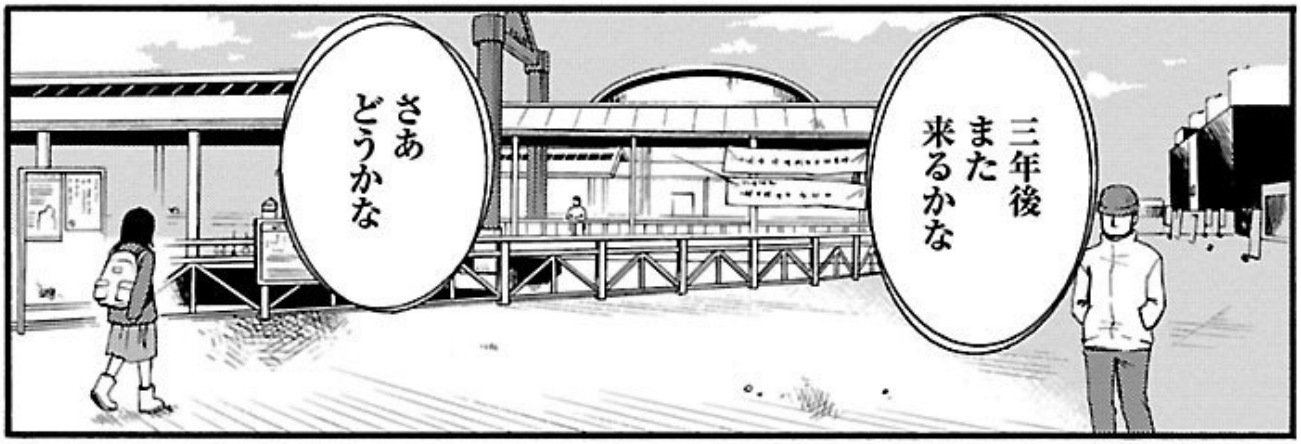
わたしも
…同じかも

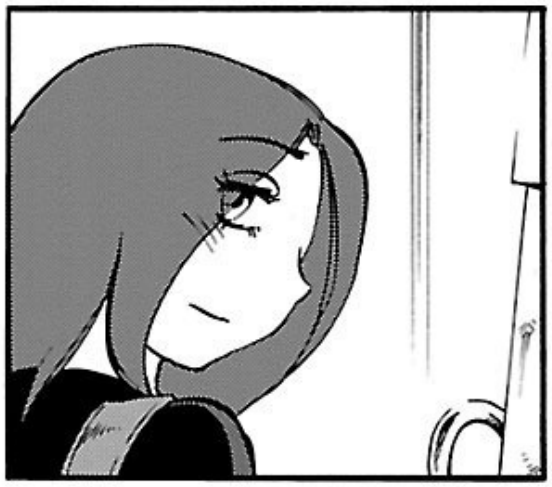


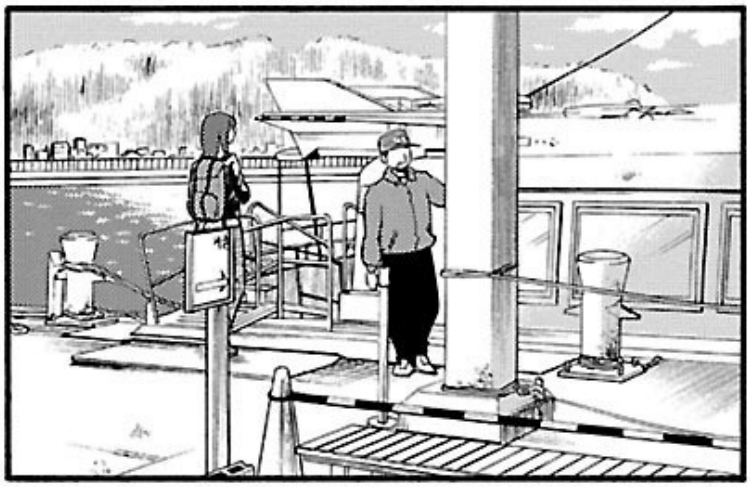

なあ
このまま


もう一日ここにいようか
このまま…
ハダカのまま？
あははっいいねっ




三年後
また
来るかな
さあ
どうかな





誰か
ドッドッ
ドッ
ドッ
ルルルルルルルル
一緒に
旅する
人がいるなら

タタン
タタン
タタン
タタン
もう
ここには
来ないかもね

— with me? —

ここではないどこかへ

・タイトルの“with me?”はイギリスのフュージョンバンド、パットメセニーグループのAre You Going With Me? という曲から取っています。
中学生の頃、ラジオから流れてきたこの曲を偶然聴いて以来、ずっと好きな曲のひとつです。ゆったりしたあのメロディになにか異国を旅するような、そんな感情を抱いた覚えがあります。

・お話の舞台になっている場所はすべて僕の訪れた場所です。
観光地もあればなにもないただの田舎町もありますが、みな風情があって良いところでした。また行きたいとおもいます。

・最初は第一話の1本だけの読み切りのつもりで描きました。
当時の担当のKさんがなんとか旅モノで読み切りを！と強引にねじ込んできたのを覚えてます。そして掲載後、そういえばこの前、夜行列車に乗ってきましたよ、なんて話をしたら、じゃあ次はそれで行きましょう！・・と(笑)
まあそんな調子でいつの間にか連載になってしまいました。なんだかんだいって楽しく描かせてもらいましたが。
Kさんも喜んでくれると良いなと思ってます。

2016年8月

少年画報社

http://shonengahosha.jp

電子書籍版

－with me?－ここではないどこかへ

艶々

©2016 艶々／少年画報社

—With me?—

ここではないどこかへ

艶々 Tsuyatsuya

You look lonely.
Are you happy?
You may find your happiness here.

…Are you going with me?

YOUNG KING COMICS

次の土地は
ココ?どこ?
雑誌の裏
なんて滅多に
来ないな

とりあえず
撮っとこう!
…適応力
高いね
カシャ
カシャ

はい
ちーず!
パシャ
パシャ

旅情溢れる
『I with me?-
ここではないどこかへ』
を読んで
あなたも
旅に出ませんか?
よろしく
お願いします
プルン